

AQUOS R

SHV39

User Guide 取扱説明書 詳細版

Android 9 Pie 対応版

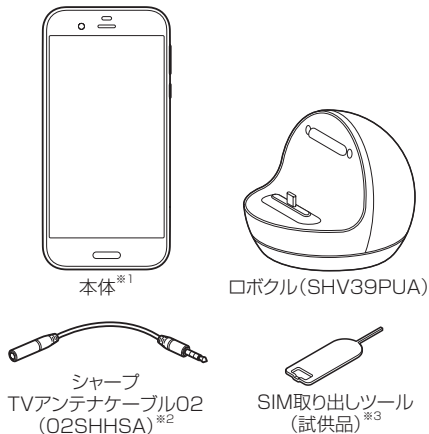


ごあいさつ

このたびは、「AQUOS R SHV39」(以下、「SHV39」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
『取扱説明書 詳細版 Android 9 Pie対応版』および『設定ガイド Android 9 Pie対応版』はAndroid™ 9 PieへのOSアップデート後の内容について記載しています。
OSアップデートをしていない場合、本製品に付属する『取扱説明書』、『設定ガイド』およびauホームページに掲載の『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



- ・取扱説明書
 - ・ご利用にあたっての注意事項
 - ・設定ガイド
- ※1 本体のみ防水/防塵性能を有しております。
- ※2 本製品でテレビを視聴するときに、接続する必要がありますので、紛失等にご注意ください(▶P.70)。
- ※3 au Nano IC Card 04およびmicroSDメモ리카ードの取り付け/取り外しに使用します。

以下のものは同梱されていません。

- ・au Nano IC Card 04
- ・microSDメモ리카ード
- ・ACアダプタ
- ・イヤホン
- ・USB Type-C™ケーブル

- ・指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『取扱説明書』『設定ガイド』

OSアップデート前の主な機能の主な操作のみ説明しています。
OSアップデート後の操作やさまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書 詳細版 Android 9 Pie対応版』および『設定ガイド Android 9 Pie対応版』をご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内でAndroid 9 PieへのOSアップデート後の操作やさまざまな機能のより詳しい説明を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「サポート」→「 取扱説明書」

- ・初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。
- Android 9 PieへのOSアップデート後、Google Play™からアプリケーションをアップデートしてください。

■『取扱説明書 詳細版』

Android 9 PieへのOSアップデート後のさまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版 Android 9 Pie対応版』は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の取扱説明書が必要な方へ

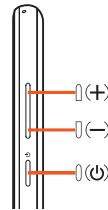
You can download the English version of the Basic Manual, Notes on Usage and Setting Guide from the au website.
『取扱説明書(英語版)』『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています。

Download URL: <https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■項目/アイコン/キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「システム」→「端末情報」	AQUOS Home画面で画面を上をスワイプ/フリックしてアプリ一覧画面に切り替え、次に「 設定」をタップします。続けて「システム」「端末情報」の順にタップします。
(2秒以上長押し)	を2秒以上長押しします。

※タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽くたたいて選択する動作です。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



- ◎ 本書では本体カラー「マッシュルームブラック」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目/アイコン/画面上のキーなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書ではAQUOS Homeでの操作を基準に記載しています。「ホーム切替」などでホームアプリを切り替えた場合は、操作が異なる場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「au Nano IC Card 04」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモ리카ード(市販品)」「microSDHC™メモ리카ード(市販品)」「microSDXC™メモ리카ード(市販品)」の名称を「microSDメモ리카ード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	1
目次	2
注意事項	5
本製品のご利用について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
取り扱い上のご注意	10
防水／防塵性能に関するご注意	12
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い	14
Bluetooth®についてのごお願い	14
無線LAN(Wi-Fi®)についてのごお願い	14
周波数帯について	14
電波障害自主規制について	14
各種暗証番号／PINコードについて	15
各種暗証番号について	15
PINコードについて	15
データ通信料についてのご注意	15
アプリケーションについて	15
マネーも携帯する	15
ご利用の準備	17
各部の名称と機能	18
au ICカードを利用する	19
au ICカードについて	19
au ICカードを取り付ける	19
au ICカードを取り外す	19
microSDメモリカードを利用する	20
microSDメモリカードについて	20
microSDメモリカードを取り付ける	20
microSDメモリカードを取り外す	20
充電する	20
充電について	20
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	21
ロボクルを使って充電する	21
パソコンを使って充電する	21
電源を入れる／切る	22
画面点灯／消灯について	22
ロック画面について	22
データを引き継ぐ	23
基本操作	25
タッチパネルの使いかた	26
タッチキーの使いかた	26
指紋認証機能を利用する	26
指紋認証機能について	26
指紋を登録する	26
指紋を管理する	27
指紋認証を行う	27
AQUOS Homeを利用する	27
AQUOS Homeについて	27
ホーム画面を編集する	27
機能のショートカットを利用する	27
壁紙を設定する	27
ホーム画面を設定する	27
アプリケーション一覧	28
ステータスバーを利用する	29
アイコンについて	29
お知らせ／ステータスパネルを利用する	30
マネーモードを設定する	30
アプリ使用履歴を利用する	31
アプリ初回起動時の確認画面から設定する	31
アプリ初回起動時の確認画面について	31
アプリの権限を設定する	31
電池の最適化	31
共通の操作を覚える	32
縦横表示を切り替える	32
利用できるメニューを表示する	32
チェックボックスを利用する	32
文字入力	33
ソフトウェアキーボードを切り替える	34
文字入力画面の見かた	34
文字の入力方法	35
文字を入力する	35
入力する文字種を切り替える	35
絵文字／記号／顔文字を入力する	35
音声で入力する	35
文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける	35

文字入力について設定する	35
S-Shoinの設定を行う	35
ユーザー辞書に登録する	36
アプリ連携・引用(マッシュルーム)を利用する	36

電話	37
電話をかける	38
電話番号を入力して電話をかける	38
通話中画面の操作	38
履歴を利用して電話をかける	39
クイックアクセスを利用する	39
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)	39
電話を受ける	40
電話に出る	40
着信に出ずに転送する	40
着信に伝言メモで応答する	40
着信を拒否する	40
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る	40
通話に関する設定をする	40
通話の設定をする	40
伝言メモを利用する	40
伝言メモ／音声メモを再生する	41
着信拒否の設定をする	41
自分の電話番号を確認する	41
電話帳	43
電話帳に登録する	44
電話帳の一覧を利用する	44
電話帳一覧画面を表示する	44
連絡先をリンクする	44
電話帳を設定する	44
電話帳の登録内容を利用する	44
メール	45
Eメールを利用する	46
Eメールについて	46
Eメールの表示モードについて	46
表示モードを切り替える	46
フォルダモードでの画面の見かた	46
会話モードでの画面の見かた	47
Eメールを送る	48
Eメールを送信する	48
送信予約をする	48
Eメールにデータを添付する	49
D絵文字を利用する	49
本文入力中にできること	49
フォルダモードで本文を装飾する	49
Eメールを受け取る	50
Eメールを受信する	50
添付データを受信・再生する	50
添付データを保存する	50
差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する	50
新着メールを問い合わせで受信する	50
Eメールを検索する	51
Eメールをフォルダモードで確認する	51
Eメールをフォルダモードで表示する	51
Eメール一覧画面のメニューを利用する	51
Eメール詳細表示画面のメニューを利用する	52
フォルダ一覧画面のメニューを利用する	52
フォルダを作成／編集する	52
Eメールを会話モードで確認する	53
Eメールを設定する	54
Eメール設定をする	54
表示に関する設定をする	54
送信・作成に関する設定をする	54
通知に関する設定をする	54
個別の通知に関する設定をする	54
Eメールアドレスを変更する	55
転送先を設定する	55
バックアップしたEメールを復元する	55
メールデータを復元する	55
まるごとバックアップデータを復元する	55
迷惑メールフィルターを設定する	56
SMSを利用する	57
SMSについて	57
SMSを送る	57
SMSを受け取る	57
SMSを確認する	57
電話番号／メールアドレス／URLを利用する	57
SMSを返信／転送する	57
SMSを保護／保護解除する	57
SMSの電話番号を電話帳に登録する	58
SMSを検索する	58
SMSを削除する	58
SMSを設定する	58

SMS設定をする	58
受信フィルターを設定する	58
PCメールを利用する	59
PCメールのアカウントを設定する	59
アカウントを登録する	59
アカウントの設定を変更する	59
PCメールを送る	59
PCメールを受け取る	60
PCメール内容表示画面の見かた	60
Gmailを利用する	60
Gmailについて	60

インターネット 61

インターネットに接続する	62
データ通信を利用する	62
Google Chromeを利用する	62
Webページを表示する	62
URL表示欄を利用する	62
Chrome画面のメニューを利用する	62
ブックマーク／履歴を利用する	62

マルチメディア 63

カメラを利用する	64
カメラをご利用になる前に	64
静止画／動画を撮影する	64
静止画を撮影する	64
動画を撮影する	64
撮影画面の見かた	64
撮影モードを切り替える	65
カメラを設定する	65
データを利用する	66
アルバムを利用する	66
データを表示／再生する	66
データを振り分ける	66
データの表示／非表示モードを利用する	67
構図補正した静止画を表示する	67
静止画を含む動画を再生する	67
ハイスピード動画を再生する	67
あとからキャプチャーを利用する	68
画像を編集する	68

フルセグ／ワンセグ 69

フルセグ／ワンセグについて	70
シャープ TVアンテナケーブル02を接続する	70
テレビの初期設定をする	70
テレビ番組を見る	71
テレビ番組を視聴する	71
データ放送を見る	71
視聴画面のメニューを利用する	71
番組表を利用する	71
視聴中のチャンネルの番組表を利用する	71
auテレビ.Gガイドを利用する	71
チャンネルリストを切り替える	72
TVリンクを利用する	72
テレビ番組を録画する	72
テレビ番組を視聴予約／録画予約する	72
録画したテレビ番組を再生する	73
テレビの設定をする	73

アプリケーション 75

おサイフケータイ®について	76
おサイフケータイ®とは	76
おサイフケータイ®のご利用にあたって	76
リーダー／ライターとデータをやりとりする	76
おサイフケータイ®を設定する	76
おサイフケータイ®の機能をロックする	77
NFCを利用する	77
Reader/Writer, P2P機能を有効にする	77
Androidビームでデータを送受信する	77
NFC／FeliCaに対応したサービスを利用する	77
タップ&ペイを利用する	77
auサービスTOPを利用する	77
auスマートパスを利用する	78
My au(auお客さまサポート)を利用する	78
auスマートサポートを利用する	78
位置検索サポートを利用する	78
位置検索サポートについて	78
位置検索をご利用いただくにあたって	78
遠隔操作サポートを利用する	78
故障紛失サポートを利用する	78
あんしんフィルター for auを利用する	79
QR・バーコードリーダーを利用する	79
au Wi-Fi接続ツールを利用する	79
Google Playを利用する	80

COCORO BOOKSを利用する	80
-------------------	----

ツール 81

モバイルライトを利用する	82
スクリーンショットを撮影する	82
長エネスイッチを利用する	82
クイック検索ボックスを利用する	82
カレンダーを利用する	82
カレンダーを表示する	82
予定を新規登録する	82
カレンダー画面のメニューを利用する	82
アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチを利用する	83
アラームで指定した時刻をお知らせする	83
世界各地の都市の時刻を確認する	83
タイマーで時間を計る	83
ストップウォッチで時間を計る	83
からだメイトを利用する	83
電卓で計算する	84

端末設定 85

設定メニューを表示する	86
au設定を表示する	86
au設定メニューを表示する	86
ネットワークとインターネットに関する設定をする	86
ネットワークとインターネットの設定をする	86
機内モードを設定する	87
接続済みの端末に関する設定をする	87
接続済みの端末の設定をする	87
接続の設定を行う	87
印刷の設定をする	87
アプリと通知の設定をする	87
電池の設定をする	87
ディスプレイに関する設定をする	88
ディスプレイの設定をする	88
ロックフォreshアップを設定する	88
ヒカリエモーションを設定する	88
音の設定をする	88
AQUOS便利機能に関する設定をする	89
AQUOS便利機能の設定をする	89
スクロールオートの設定をする	89
エモバーを設定する	89
Clip Nowの設定をする	90
セキュリティと現在地情報に関する設定をする	90
セキュリティと現在地情報の設定をする	90
位置情報の設定をする	91
アカウントに関する設定をする	91
アカウントを追加する	91
ユーザー補助の設定をする	91
システムに関する設定をする	91
システムの設定をする	91
端末情報の設定をする	92
使用する言語や文字入力の設定をする	92
Gboardの設定をする	92
Google音声入力の設定をする	92
日付と時刻の設定をする	92
本製品を初期化する	92
お困りのときは	93

ファイル管理 95

本製品の保存領域について	96
ストレージに関する設定をする	96
ストレージを確認する	96
microSDメモリカード／USBメモリをフォーマットする	96
パソコンなどと接続する	96
USBホスト機能を利用する	96

データ通信 97

無線LAN(Wi-Fi®)機能	98
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	98
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	98
無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする	98
Wi-Fi®ネットワークに接続する	98
アクセスポイントとの接続の設定を削除する	98
Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する	98
Wi-Fi Direct®を利用する	98
テザリング機能	99
テザリングについて	99
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	99
USB テザリング機能を利用する	99
Bluetooth® テザリング機能を利用する	99
Bluetooth®機能	99
Bluetooth®機能の利用について	99
Bluetooth®を利用する	99
Bluetooth®を起動する	99
Bluetooth®機器と接続する	99

Bluetooth®でデータを送受信する.....	100
Bluetooth®でデータを受信する	100
Bluetooth®でデータを送信する	100
auのネットワークサービス・海外利用	101
auのネットワークサービスを利用する.....	102
auのネットワークサービスについて	102
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	102
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	102
着信転送サービスについて	102
応答できない電話を転送する(無応答転送)	102
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	102
応答できない電話を転送する(圏外転送)	102
手動で転送する(選択転送)	102
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	102
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	102
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	103
発信番号表示サービスについて	103
電話番号を通知する	103
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	103
番号通知リクエストサービスについて	103
番号通知リクエストサービスを開始する	103
番号通知リクエストサービスを停止する	103
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	103
お留守番サービスEXについて	103
お留守番サービス総合案内(141)を利用する	103
応答できない電話を転送する(無応答転送)	103
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	104
応答できない電話を転送する(圏外転送)	104
手動で転送する(選択転送)	104
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	104
電話をかけてきた方が伝言を録音する	104
ボイスメールを録音する	104
伝言お知らせについて	104
伝言・ボイスメールを聞く	104
応答メッセージの録音/確認/変更をする	104
伝言の蓄積を停止する(不在通知)	105
伝言の蓄積停止を解除する	105
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	105
英語ガイドランスへ切り替える	105
日本語ガイドランスへ切り替える	105
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	105
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	106
割込通話サービスについて	106
割込通話サービスを開始する	106
割込通話サービスを停止する	106
割込通話を受ける	106
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	106
迷惑電話撃退サービスについて	106
撃退する電話番号を登録する	106
登録した電話番号を全件削除する	106
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	106
海外利用	107
au世界サービスについて	107
海外利用に関する設定を行う	107
渡航先で電話をかける	107
渡航先で電話を受ける	107
お問い合わせ方法	108
海外でのご利用上のご注意	108
付録・索引	109
付録	110
ソフトウェアを更新する	110
故障とお考えになる前に	110
アフターサービスについて	111
SIMロック解除について	112
周辺機器	112
主な仕様	112
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	113
Regulatory information	113
FCC Notice	114
輸出入管理規制	114
知的財産権について	114
索引	116

注意事項

本製品のご利用について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
取り扱い上のご注意	10
防水／防塵性能に関するご注意	12
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い	14
電波障害自主規制について	14
各種暗証番号／PINコードについて	15
データ通信料についてのご注意	15
アプリケーションについて	15
マナーも携帯する	15

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、「トラブル診断」を行ってください。

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「サポート」→「故障紛失サポート」→「便利な機能」→「トラブル診断を試す」

または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信の傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。（ただし、LTE/WiMAX 2+/UMTS/GSM方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています。）
- 日本国内の緊急通報受付機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用した接続はできません。
- 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましても、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）

製造元：シャープ株式会社

■ ロボクルについて

- ロボクルは、日本国内での使用を前提に作られています。海外でのご使用につきましては、お客様の責任にて行っていただきますよう、お願いいたします。
- 渡航先の国／地域の法令などに抵触する場合がありますので、よくご確認の上でご使用ください。

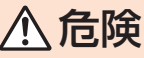
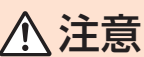
- ◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能が削除や使用不可となる場合があります。
- ◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷*2を負う可能性が想定される場合および物的損害*3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠ 危険

	高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水・防塵性能については以下をご参照ください。 ▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」
	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水性能については以下をご参照ください。 ▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」
	本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。 内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。 ※ご注意いただきたい例 ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
	分解、改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水性能については以下をご参照ください。 ▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」



水濡れ
禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ベッドの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」



指示

オプション品は、auが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などおサイフケータイ®をご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

・電源プラグをコンセントから抜く。

・本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレタ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)でたたいたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本製品内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本製品内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨けとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本製品内のau ICカード／microSDメモリカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ベッドの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、au Nano IC Card Q4やmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障がいの原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください**電子機器の例**
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、臭異がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

au ICカードやmicroSDメモ리카ードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しツール(試供品)の先端にご注意ください。
SIM取り出しツール(試供品)の先端に触れると、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(P.9)をご参照ください。



指示

本製品の受話口(レシーバー)、スピーカー、アウトカメラ部に磁気発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)やロボクルは、お風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグ、ロボクルに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)やロボクルの使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
ロボクルの材質については、「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。

■ au ICカードについて

⚠ 注意



指示

au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。



指示

au ICカードの取り付け・取り外しの際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

■ シャープ TVアンテナケーブル02について

⚠ 危険



指示

ご使用のイヤホンや周辺機器のメーカーが指示している警告・注意表示を厳守し、各取扱説明書の記載内容に従って正しくお使いください。

⚠ 警告



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
・シャープ TVアンテナケーブル02を本製品から抜く。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

シャープ TVアンテナケーブル02を本製品から抜く場合は、シャープ TVアンテナケーブル02のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、コネクタを持って抜いてください。
シャープ TVアンテナケーブル02のコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、シャープ TVアンテナケーブル02には触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

シャープ TVアンテナケーブル02の上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

本製品にシャープ TVアンテナケーブル02を抜き差しするとき、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でシャープ TVアンテナケーブル02やイヤホンマイク端子に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

シャープ TVアンテナケーブル02は防水/防塵性能を有していません。液体や粉塵などの異物が付着する場所や風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
発熱、火災、感電、傷害の原因となります。

■ SIM取り出しツール(試供品)について

⚠ 警告



禁止

SIM取り出しツール(試供品)の先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠ 注意



指示

皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ 材質一覧

■ 本体(SHV39)

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ面(ガラス部)	強化ガラス	防汚コート
ディスプレイ面(保護フィルム部)	PET樹脂	AFコート、ハードコート
ディスプレイ面の周囲	PC+ABS樹脂	ハードコート
背面	PET樹脂+PC樹脂(ガラス入り)	ハードコート
外装(金属部)	アルミニウム	アルマイト処理
外装(樹脂部)	PBT樹脂(ガラス入り)	なし
受話口(レシーバー)メッシュ(本体カラー:マークリブブラック、ライトゴールド)	ポリエステル樹脂	撥水処理
受話口(レシーバー)メッシュ(本体カラー:ジルコニアホワイト)	ポリエステル樹脂	アルミコーティング、撥水処理
指紋センサー	エポキシ樹脂	ハードコート
指紋センサー飾り	アルミニウム	アルマイト処理
音量UP/DOWNキー	アルミニウム	アルマイト処理
電源キー	アルミニウム	アルマイト処理
カメラパネル	強化ガラス	ARコート
カメラ飾り	アルミニウム	アルマイト処理
モバイルライト	PC樹脂	なし
イヤホンマイク端子の周囲	PBT樹脂(ガラス入り)	なし
外部接続端子(金属部)	銅合金+SUS	金メッキ、ニッケルメッキ
外部接続端子(樹脂部)	PA樹脂	なし
外部接続端子の周囲	SUS	銅錫合金メッキ
au ICカード/microSDメモ리카ードトレイ(外装部)	アルミニウム	アルマイト処理
au ICカード/microSDメモ리카ードトレイ	PA樹脂(ガラス入り)	なし

使用箇所	使用材質	表面処理
au ICカード／microSDメモ리카ードトレイのバックシ	シリコンゴム	なし
au ICカード／microSDメモ리카ードトレイの挿入口	アルミニウム	アルマイト処理
IMEIプレート	PET樹脂	なし

■ ロボクル

使用箇所	使用材質	表面処理
上筐体(表面)	ABS樹脂	なし
上筐体(端末設置面)	ABS樹脂	なし
下筐体	ABS樹脂	なし
可動部	ABS樹脂	なし
充電用プラグ(金属部)	SUS	ニッケルメッキ
充電用プラグ(樹脂部)	LCP樹脂	なし
電源用接続端子(金属部)	SUS	ニッケルメッキ
電源用接続端子(樹脂部)	PA樹脂	なし
ストッパー	ウレタン樹脂	なし
ネジ	鉄	三価クロメートメッキ
規格銘板	ポリエステル樹脂	なし
コーションシール	PP樹脂	なし

■ シャープ TVアンテナケーブル02

使用箇所	使用材質	表面処理
イヤホンマイク端子(樹脂部)	エラストマー樹脂	なし
イヤホンマイク端子(金属部)	ニッケル下地、真鍮	金メッキ
コード	エラストマー樹脂	なし
プラグ(樹脂部)	エラストマー樹脂、PP樹脂、POM樹脂	なし
プラグ(金属部)	ニッケル下地、真鍮	金メッキ

■ SIM取り出しツール(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	SUS	なし

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がからまないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。
- また、外部機器を外部接続端子に差し込んだ状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水／防塵性能(IPX5、IPX8、IP6X相当)を発揮するために、au ICカード／microSDメモ리카ードトレイをしっかりと閉じた状態で、ご使用ください。
- ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に液体や粉塵などの異物を入れたり、充電用機器、オプション品に液体や粉塵などの異物を付着させたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでもau ICカード／microSDメモ리카ードトレイの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
- 調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - SHV39本体
 - au ICカード(SHV39本体装着状態)
 お風呂場等のご使用については、「お風呂場でお使いいただく際の注意」(▶P.12)をご参照ください。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。

- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などでおおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
- 使用中、本製品が温かくなった場合、画面の明るさや一部機能を制限する場合があります。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
- 本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号含む)は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[認証]
- 本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「[技術マーク]」が本製品内で確認できるようになっております。認証情報については、本製品内の電子認証内容でご確認いただけますよう、お願いいたします。
- 本製品の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部分に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモ리카ードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れしないでください。手や指を傷つける場合があります。
- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し発信中や通話中にディスプレイの表示が常にか消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 受話口(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカー、サブマイクをシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが誤動作することがあります。ディスプレイが点灯されたままと誤ってディスプレイに触れると、通話が切れる場合がありますのでご注意ください。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。

- 本製品に磁気を帯びたものを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- au ICカード／microSDメモリーカードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- 通常はau ICカード／microSDメモリーカードトレイを閉めた状態で使用してください。トレイを開めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカード／microSDメモリーカードトレイの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に置いて置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部、イヤホンマイク端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ボケッとかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。

■ 内蔵電池について



(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)
 - ・ 電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程度消費している状態)
 - ・ 高温多湿の状態
- 内蔵電池はご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器(別売)のケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。
- ロボクルに無理な力を加えて回したりしないでください。故障の原因となります。

■ au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- au ICカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ シャープ TVアンテナケーブル02について

- テレビ視聴中や充電中、温くなる場合がありますが異常ではありません。
- シャープ TVアンテナケーブル02を本製品に巻きつけないでください。感電、発火、火災、故障、傷害の原因となります。
- ケーブルを持って本製品をぶら下げたり、引っ張ったり、振り回したりしないでください。断線や故障の原因となります。
- シャープ TVアンテナケーブル02を本製品に接続するときは、奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、発熱、発火、感電、火災、傷害の原因となります。また、イヤホンマイク端子／プラグに対して平行になるように抜き差ししてください。故障や動作不具合の原因となります。

- 持ち運び際や保管するときは袋などに入れて、イヤホンマイク端子／プラグへのゴミの付着やイヤホンマイク端子／プラグの変形にご注意ください。
- ご使用にならないときは、シャープ TVアンテナケーブル02を本製品から抜いてください。

■ SIM取り出しツール(試供品)について

- SIM取り出しツール(試供品)を、au ICカード／microSDメモリーカードトレイ取り出し用の穴以外の穴などに挿入しないでください。故障、破損の原因となります。
- 無理な力がかからないように使用してください。故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出しツール(試供品)は本書に記載の使用目的以外では使用しないでください。故障、破損の原因となります。
- SIM取り出しツール(試供品)は他の携帯端末には使用しないでください。携帯端末の故障、破損の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラのレンズが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- 大切な撮影などををするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

防水／防塵性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水／防塵性能に関するご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、液体や粉塵が入る原因となり、発熱・発火・感電・傷害、故障の原因となります。

すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水／防塵性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

■ 本製品の防水／防塵性能

本製品はau ICカード／microSDメモリーカードトレイをしっかりと閉じた状態で保護等級（JIS C 0920）IPX5相当※¹、IPX8相当※²の防水性能およびIP6X相当※³の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れておくはみさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

■ 本製品が有する防水／防塵性能でできること

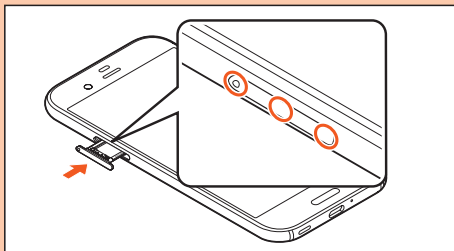
- ・プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- ・弱めの水流（6リットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使って本製品を洗うことができます。

■ 本製品のお取り扱いについて

- ・au ICカード／microSDメモリーカードトレイをしっかりと閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。接触面に微細なゴミ（髪の毛、砂粒、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- ・au ICカード／microSDメモリーカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのauショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ・本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- ・手や本製品が濡れているときや異物がついているときには、au ICカード／microSDメモリーカードトレイの開閉は絶対にしないでください。
- ・常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。
- ・イヤホンマイク端子、外部接続端子は、濡れていたり、砂やほごりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる火災、やけど、故障の原因となります。

■ au ICカード／microSDメモリーカードトレイの開閉方法

- ・au ICカード／microSDメモリーカードトレイを本体に水平に奥までしっかり差し込んでください。
- ・○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。



■ 本製品の防塵性能について

- ・本製品の防塵性能はIP6X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜などの砂の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。
- ・塵埃が本製品に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

■ 使用時のご注意

- ・水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ベットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
- ・かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- ・万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
- ・乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・砂や泥がきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- ・湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。（キー操作を含む。）
- ・本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- ・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。本製品は耐熱設計ではありません。
- ・急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取るまで常温で放置してください。
- ・お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- ・本製品は水に浮きません。
- ・強い雨の中では使用しないでください。
- ・濡れたまま放置しないでください。寒冷地では凍結するなど、故障の原因となります。
- ・受話口、送話口、スピーカーの穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなる場合があります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。
- ・砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- ・au ICカード／microSDメモリーカードトレイに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。
- ・本製品は耐衝撃性能を有していません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口、送話口、スピーカーなどをとがったものでつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、防水／防塵性能が損なわれる原因となります。

■ お風呂場でお使いいただく際の注意

- ・湯船や温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水に浸けたり、かけたりしないでください。
- ・故障の原因となります。
- ・万が一、水道水以外が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流して、水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
- ・お風呂場では、室温は40℃以下、湿度は99%以下、連続2時間以内の範囲でご使用ください。
- ・その後、必ず所定の方法で水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
- ・なお、全ての機能の連続動作を保証するものではありません。
- ・高温のお湯がかからないようにご注意ください。
- ・急激な温度変化は、結露の原因となります。
- ・寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ・また、お風呂場で暖まった本製品に冷たい水をかけないでください。
- ・浸水や故障の原因となります。
- ・カメラのレンズやディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- ・お風呂場で、イヤホンマイクや外部機器を接続して使用しないでください。
- ・お風呂場では、充電を行わないでください。
- ・お風呂場では、「グローブモード」をOFFにしてご利用ください。
- ・ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「ディスプレイ」→「詳細設定」→「グローブモード」と操作して、設定を変更することができます。

■ 防水／防塵性能を維持するために

■ ゴムパッキンについて

au ICカード／microSDメモ리카ードトレイのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷付けたりしないでください。
 - au ICカード／microSDメモ리카ードトレイを閉めるときは、ゴムパッキンを挟まないように注意してください。また、au ICカード／microSDメモ리카ードトレイの隙間、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
- ゴムパッキンが傷付き、液体や粉塵が入る原因となることがあります。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします（有償）。部品の交換につきましては、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 充電時のご注意

ロボクル、指定の充電用機器（別売）やオプション品は、防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本製品に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にUSB Type-Cプラグを差し込んでください。
 - 本製品または充電用機器（別売）に水滴や異物が付着している状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。
- 本製品は防水／防塵性能を有しておりますが、ロボクル、指定の充電用機器（別売）およびオプション品は防水／防塵性能を有しておりません。濡れたり汚れたりしている状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、本製品やUSB Type-Cプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱、焼損、火災、やけど、故障の原因となります。
- 濡れた手でロボクルや指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
 - ロボクル、指定の充電用機器（別売）およびオプション品は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。

■ 本製品の洗いかた

本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流（6リットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。

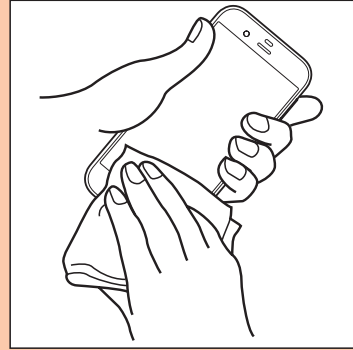
au ICカード／microSDメモ리카ードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。

- au ICカード／microSDメモ리카ードトレイがきちんと閉まっていることを確認してから、洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど火災、やけど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本製品の変形・変色・故障などの原因となります。

■ 水抜きのしかた

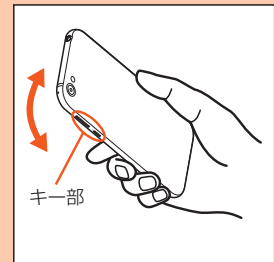
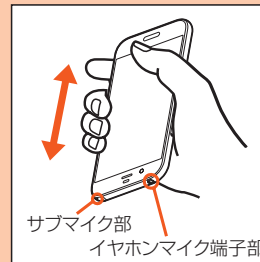
水に濡れた後は、必ずイヤホンマイク端子部、外部接続端子部、受話口（レシーバー）部、送話口（マイク）部、スピーカー部、キー部、サブマイク部などの水抜きをしてください。

1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



2 本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかりと握って振ってください。



3 各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■ 水抜き後のご注意

水滴が付着したままで使用しないでください。

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートし、火災、故障の原因となるおそれがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

Bluetooth®についてのお願い

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報をご確認いただくことができます。

ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→【設定】→【システム】→【詳細設定】→【認証】

・Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX4

2.4FH1/XX4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

・無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で使用できるチャンネルは、1～13です。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■ 2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯、5GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■ 5GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能ご使用上の注意

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯(W52／W53／W56)の3種類のチャンネルを使用することができます。

- ・W52(5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
- ・W53(5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
- ・W56(5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

5.2GHz／5.3GHz帯(W52／W53)を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

電波障害自主規制について

本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。
電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→【設定】→【システム】→【詳細設定】→【認証】

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客様さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ ロックNo. (NFC／おサイフケータイ ロック)

使用例	NFC／おサイフケータイ ロックを利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力が必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。
・お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は「入力必要」に変更できます。
「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。
・PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
・PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
・PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPiItもしくはお客様さまセンターまでお問い合わせください。
・「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

データ通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ・本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※ 無線LAN(Wi-Fi®)の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- ・アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリケーションによっては、microSDメモリーカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- ・アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- ・本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、「取扱説明書」「ご利用にあたっての注意事項」「設定ガイド Android 9 Pie対応版」「取扱説明書 詳細版 Android 9 Pie対応版」に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

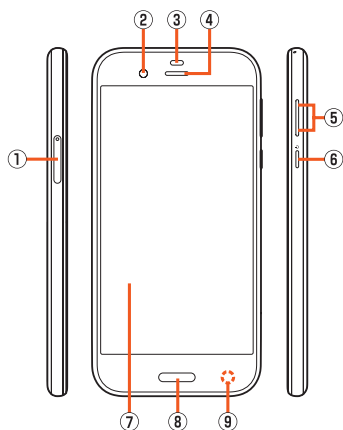
- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まった通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

各部の名称と機能	18
au ICカードを利用する	19
microSDメモ리카ードを利用する	20
充電する	20
電源を入れる／切る	22
画面点灯／消灯について	22
ロック画面について	22
データを引き継ぐ	23

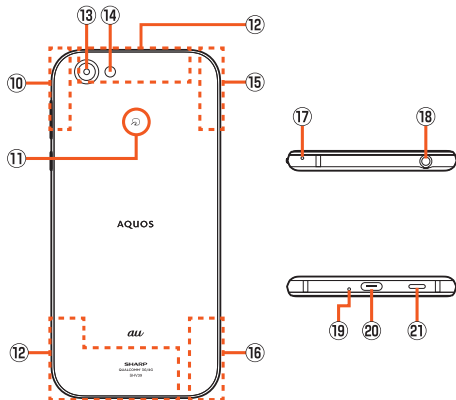
各部の名称と機能

■ 正面／左右側面



- ① au ICカード／microSDメモ리카ードトレイ
- ② インカメラ(レンズ部)
- ③ 近接センサー／光センサー
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを調整します。
- ④ 受話口(レシーバー)
通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
- ⑤ ④(+)④(=)音量UP／DOWNキー
音量を調節します。
ロック画面で④(=)を長押しすると、マナーモードの設定／解除を切り替えます。
- ⑥ ④(=)電源キー
画面を点灯／消灯します。
長押しすると、電源ON／OFFや再起動ができます。
- ⑦ ディスプレイ(タッチパネル)
ディスプレイの表面には保護フィルムが貼られています。市販の保護フィルムをご利用の場合は、保護フィルムをはがしてください。
- ⑧ 指紋センサー
指紋認証による、ロック画面の解除などに利用します。また、ホームキーとして利用するように設定することもできます。
・詳しくは「AQUOS便利機能の設定をする」(▶P.89)の「ホームキーとして使う」をご参照ください。
- ⑨ 充電／着信ランプ
充電中は電池残量によって赤色／緑色で点灯します。
メール受信時や新着通知受信時は設定内容に従って点滅します。

■ 背面／上下側面



- ⑩ Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ
- ⑪ ㇿマーク
おサイフケータイ®やNFC機能利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
- ⑫ 内蔵アンテナ
通話時、インターネット利用時、4G(LTE／WiMAX 2+)／UMTS利用時に使用します。
- ⑬ アウトカメラ(レンズ部)
- ⑭ モバイルライト
- ⑮ GPS／内蔵アンテナ
- ⑯ Wi-Fi®アンテナ
- ⑰ サブマイク
ハンズフリー通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。動画撮影時の録音やくっきりトーク利用時のノイズ測定にも使用します。
- ⑱ イヤホンマイク端子
テレビを利用(視聴／録画)する場合は、シャープ TVアンテナケーブル02をイヤホンマイク端子に接続します(▶P.70)。

⑲ 送話口(マイク)

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。動画撮影時の録音やエモバー利用時の音声認識にも使用します。

⑳ 外部接続端子

ロボクルやTypeC共通ACアダプタ01(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。
ロボクルやTypeC共通ACアダプタ01(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)などを接続すると、接続機器の磁気が影響し、本体の地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。地磁気センサーを利用する機能やアプリケーションを使用する場合はケーブル類を取り外してください。

㉑ スピーカー

着信音やアラーム音などが聞こえます。

◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切る」(▶P.22)をご参照ください。

au ICカード／microSDメモ리카ードトレイについて

◎ au ICカード／microSDメモ리카ードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

近接センサー／光センサー、受話口(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカー、サブマイクについて

◎ 近接センサー／光センサーの上にシールなどを貼ると、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

◎ 受話口(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカー、サブマイクをシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。

内蔵アンテナ、Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ、GPS／内蔵アンテナ、Wi-Fi®アンテナについて

◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。通話／通信品質が悪くなる場合があります。

イヤホンマイク端子について

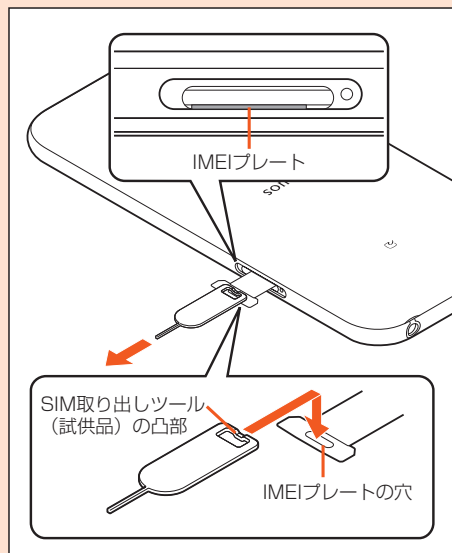
◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

IMEIプレートについて

◎ au ICカード／microSDメモ리카ードトレイの挿入口付近には、IMEI情報(端末識別番号)、CEマークなどを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となる場合を除き、プレートを引き出さないでください。また、シールをはがしたりしないでください。

IMEIプレートを引き出すには

- ① ディスプレイ面を上にして、au ICカード／microSDメモ리카ードトレイを引き出す。
(au ICカード／microSDメモ리카ードトレイの引き出し方については、「au ICカードを取り付ける」(▶P.19)手順①②をご参照ください。)
- ② ディスプレイ面を下にして、付属のSIM取り出しツール(試供品)の凸部をプレートの穴にかけ、IMEIプレートを引き出す。(IMEIプレートは引き抜かないでください。)



◎ IMEIプレートを引き出す時は、付属のSIM取り出しツール(試供品)を使用してください。
SIM取り出しツール以外を使用すると、破損や故障などの原因となる場合があります。

◎ IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。

◎ IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと押し込んでください。

◎ 本製品を操作してIMEIを確認することもできます。

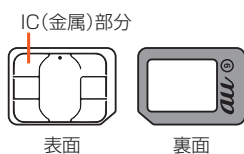
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[端末情報]→[IMEI]

au ICカードを利用する

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。

au Nano IC Card 04



- ◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au ICカードを正しく取り付けしていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- ◎ au ICカード着脱時は、必ずTypeC共通ACアダプタ01(別売)などのUSB Type-Cプラグを本製品から抜いてください。
- ◎ au ICカードの取り付け/取り外しには、付属のSIM取り出しツール(試供品)が必要です。

au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

- ・ 電話をかける* / 受ける
- ・ SMSの送受信
- ・ Eメール(@au.com / @ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- ・ SIMカードロック設定
- ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

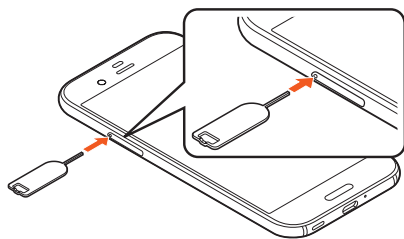
上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

※ 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、GSM / UMTS / LTEローミング中で電波の強さが■(圏外)以外の場合は、発信可能です(緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります)。

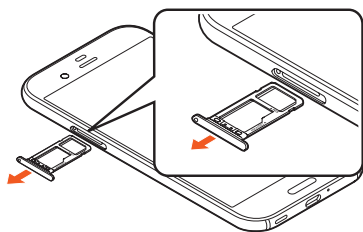
au ICカードを取り付ける

au ICカードの取り付けは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。
また、ディスプレイ面を上にして行ってください。

- 1 SIM取り出しツール(試供品)の先端をau ICカード／microSDメモ리카ードトレイ取り出し用の穴に差し込む**
カードトレイが出てくるまで、しっかりと水平に差し込んでください。
水平に差し込まないと破損や故障の原因となります。

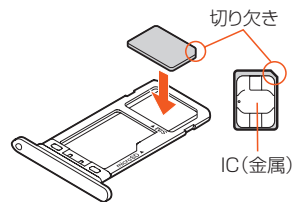


- 2 au ICカード／microSDメモ리카ードトレイを引き出す**



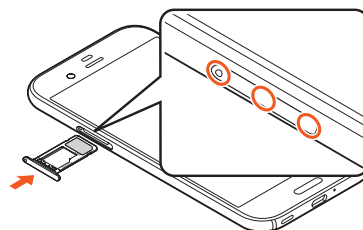
- 3 au ICカードのIC(金属)面を下にして、au ICカード／microSDメモ리카ードトレイに取り付ける**

au ICカードの向きに注意して、確実にトレイに取り付けてください。
au ICカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



- 4 au ICカード／microSDメモ리카ードトレイを本体に対して水平に、奥までしっかり差し込む**

◎部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。



au ICカード／microSDメモ리카ードトレイの着脱について

- ◎ 取り外したau ICカード／microSDメモ리카ードトレイは紛失・破損しないようにご注意ください。
- ◎ カードトレイを本体から引き出すときは、ディスプレイ面を上にしてゆっくりと水平に引き出してください。
 - ・ カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
 - ・ ディスプレイ面を下にしたり、本体を立てた状態でカードトレイを引き出すと、カードトレイに取り付けられているau ICカードやmicroSDメモ리카ードが外れ、紛失する可能性があります。
- ◎ カードトレイを本体に取り付けるときは、ディスプレイ面を上にしてゆっくり差し込み、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
 - ・ カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
 - ・ カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水 / 防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。
 - ・ カードトレイの閉じかたについて詳しくは、「au ICカード／microSDメモ리카ードトレイの閉じかた」(▶P.12)をご参照ください。

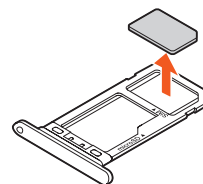
au ICカードを取り外す

au ICカードの取り外しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。
また、ディスプレイ面を上にして行ってください。

- ・ au ICカード／microSDメモ리카ードトレイの着脱について詳しくは、「au ICカードを取り付ける」(▶P.19)をご参照ください。

- 1 SIM取り出しツール(試供品)を利用してau ICカード／microSDメモ리카ードトレイを引き出す**

- 2 au ICカードをau ICカード／microSDメモ리카ードトレイから取り外す**



- 3 au ICカード／microSDメモ리카ードトレイを本体に対して水平に、奥までしっかり差し込む**

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

- ◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは、「microSDメモリカード/USBメモリをフォーマットする」(▶P.96)をご参照ください。
- ◎ microSDメモリカード内のデータは「ストレージ」の「microSD」(▶P.96)から確認できます。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。
- ◎ microSDXCメモリカードは、SDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。
- ◎ microSDメモリカードの取り付け/取り外しには、付属のSIM取り出しツール(試供品)が必要です。

取扱上のご注意

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご確認ください。

microSDメモリカードを取り付ける

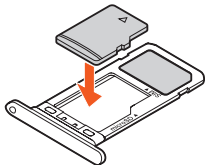
microSDメモリカードの取り付けは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。

また、ディスプレイ面を上にして行ってください。

- ・ au ICカード/microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「au ICカードを取り付ける」(▶P.19)をご参照ください。

1 SIM取り出しツール(試供品)を利用してau ICカード/microSDメモリカードトレイを引き出す

- #### 2 microSDメモリカードの端子(金属)面を下にして、au ICカード/microSDメモリカードトレイに取り付ける
- microSDメモリカードの向きに注意して、確実にトレイに取り付けてください。
- microSDメモリカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
- 浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



3 au ICカード/microSDメモリカードトレイを本体に対して水平に、奥までしっかり差し込む

- ◎ microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に取り付けると、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

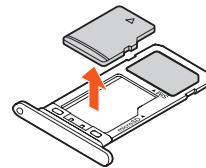
microSDメモリカードの取り外しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。

また、ディスプレイ面を上にして行ってください。

- ・ au ICカード/microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「au ICカードを取り付ける」(▶P.19)をご参照ください。

1 SIM取り出しツール(試供品)を利用してau ICカード/microSDメモリカードトレイを引き出す

2 microSDメモリカードをau ICカード/microSDメモリカードトレイから取り外す



3 au ICカード/microSDメモリカードトレイを本体に対して水平に、奥までしっかり差し込む

- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

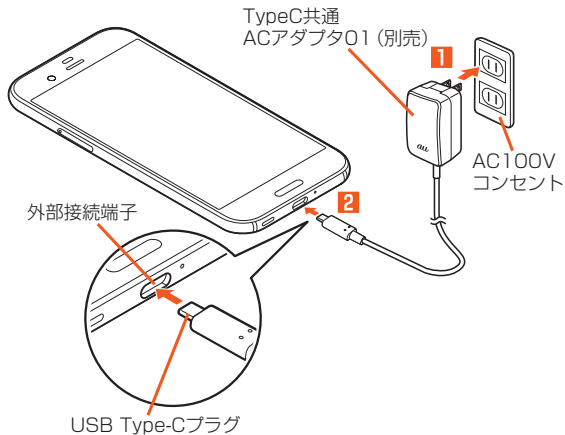
- ・ 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性がります。ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[端末情報]→[電池の状態]と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。
- ・ 充電中は充電/着信ランプが赤色に点灯し、電池マークに⚡が重なって表示されます。約95%まで充電されると充電/着信ランプが緑色に点灯します。充電が完了すると、充電/着信ランプが消灯します。

- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電/着信ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。
- ◎ 充電/着信ランプが赤色に点滅したときは、強制的に電源を切り(▶P.22)、電源を入れ直してください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 連続通話時間および連続待受時間(▶P.112)は、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
 - ・  (圏外)が表示される場所での使用が多い場合
 - ・ Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、テレビ機能、位置情報などの使用
 - ・ アプリケーションなどで画面が消灯しないように設定されている場合
 - ・ バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合
- ◎ 充電中、充電/着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

TypeC共通ACアダプタ01(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.112)をご参照ください。

- 1 TypeC共通ACアダプタ01(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む
- 2 TypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグを、本製品の外部接続端子に矢印の方向に差し込む



- 3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く
- 4 TypeC共通ACアダプタ01(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

ロボクルを使って充電する

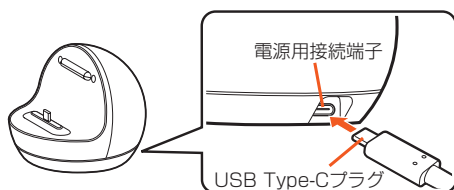
ロボクルとTypeC共通ACアダプタ01(別売)を使って充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.112)をご参照ください。

ロボクルに本製品を接続すると、画面点灯時や充電開始、着信、アラームなどに合わせてロボクルが回転し、お客様の方を向きます。また、状況に合わせてエモバーがお話します。ロボクルはエモバーと連動し、エモバー動作時にはお客様の方を向いてお話します。

・エモバーをONにすると、より多くの場面でエモバーに連動してロボクルが動作します。

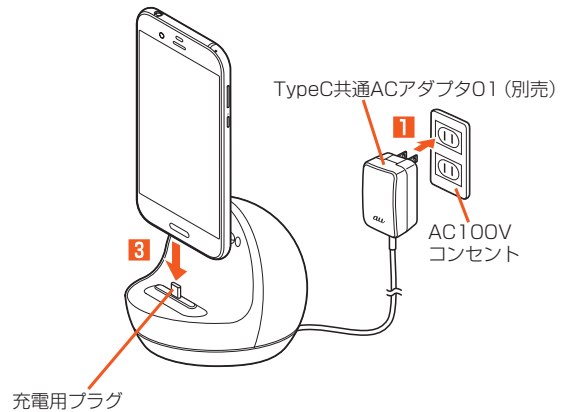
※ 充電完了後もロボクルを動作させる場合は、下記操作手順4・5は行わないでください。

- 1 TypeC共通ACアダプタ01(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む
- 2 TypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグを、ロボクルの電源用接続端子にまっすぐに差し込む



- 3 本製品の外部接続端子をロボクルの充電用プラグにまっすぐに奥まで差し込み、本製品を取り付ける

差し込む際は、本製品を傷つけないようご注意ください。
本製品をゆっくり後ろへ倒し、安定していることを確かめてください。充電用プラグ部分を動かす際は、無理な力を加えないようご注意ください。



- 4 充電が終わったら、ロボクルを押さながら本製品を上方向にまっすぐに持ち上げて取り外す
- 5 TypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグをロボクルからまっすぐ抜き、電源プラグをコンセントから抜く

◎ ロボクルをご利用の際は、必ず指定の充電用機器(別売)を接続してください。パソコンやポータブル充電器など、指定以外のものをロボクルに接続すると故障の原因になりますので、接続しないでください。

◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

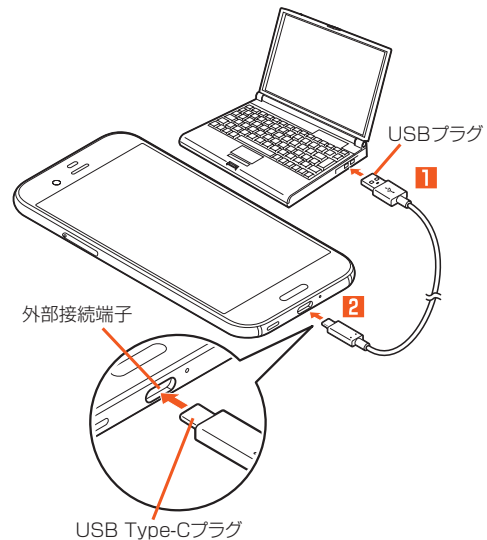
◎ ロボクルはファームウェア更新に対応しています。ロボクルのファームウェア更新について詳しくは、「AQUOS便利機能の設定をする」(▶P.89)の「ロボクルのファームウェア更新について」をご参照ください。

ロボクルに関する最新の情報については、下記サイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/dash/roboqul/index.html>

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続
- 2 USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続



◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ(別売)での充電と比べて時間が長くなる場合があります。

◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電/着信ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ(別売)を使用して充電してください。

接続した機器がロールスワップ機能に対応している機器の場合

ロールスワップ機能に対応している機器同士で接続すると、電力を供給する役割と受給する役割を入れ替えることができます。

◎ USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続したときに表示されるUSBの設定画面で「接続端末の充電」をONに設定すると、本製品が給電する役割となり接続した機器を充電することができます。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 電源が切れた状態で $\text{〇}(\text{〇})$ (3秒以上長押し)

- 電源を入れてから「AQUOS」の表示が終了するまでの間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- 初期状態で、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。初期設定について詳しくは、『設定ガイド Android 9 Pie 対応版』をご参照ください。

■ 電源を切る

1 $\text{〇}(\text{〇})$ (2秒以上長押し)

2 「電源を切る」

■ 再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

1 $\text{〇}(\text{〇})$ (2秒以上長押し)

2 「再起動」

■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

1 $\text{〇}(\text{〇})$ (8秒以上長押し)

バイブレータが振動した後、手を離すと電源が切れます。

- 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■ セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、OSアップデート直後に近い状態で起動します。本製品の動作が不安定になった場合、インストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善される場合があります。

1 $\text{〇}(\text{〇})$ (2秒以上長押し)

2 「電源を切る」をロングタッチ→[OK]

セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了するには再起動してください。

- 電源が切れているときは、 $\text{〇}(\text{〇})$ (3秒以上長押し)で電源を入れ、AQUOSロゴが表示された後からロック画面が表示されるまで $\text{〇}(\text{〇})$ を押し続けると、セーフモードで起動することができます。
- セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

画面点灯／消灯について

$\text{〇}(\text{〇})$ を押すか、一定時間操作しないと画面が消灯します。

■ 画面を点灯する

1 画面消灯中に $\text{〇}(\text{〇})$

- 利用中のアプリケーションによっては、画面を点灯した際に、消灯する前の画面が表示されることがあります。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、画面を消灯してください。画面を点灯させたまま入ると、誤動作の原因となります。

■ 持つと画面点灯について

「持つと画面点灯」が設定されている場合は、本製品を持ち上げて静止すると、画面が点灯します。(初期状態では、この機能は有効になっています。)

設定方法については、「AQUOS便利機能の設定をする」(▶P.89)の「持つと画面点灯」をご参照ください。

- 次の場合などでは、点灯しないことがあります。
 - ・ 本製品を持ったまま動いている(歩行中や乗車中などの)場合
 - ・ 持ち上げる前やその後に本製品を動かし続けている場合
 - ・ 垂直または水平に持ち上げた場合

ロック画面について

画面を点灯するとロック画面が表示されます。

指紋を登録している場合は、指紋センサーにタッチするだけで画面ロックを解除することができます。



《ロック画面》

① 壁紙

「ディスプレイ」の「壁紙」で変更することができます。

- ・ 「ロックフォトシャッフル」をONに設定している場合、ロック画面を表示するたびにロック画面の壁紙がランダムで切り替わります。詳しくは、「ロックフォトシャッフルを設定する」(▶P.88)を参照してください。

② お知らせエリア

不在着信／新着Eメール／新着SMSなどの通知がポップアップ表示されます。通知をダブルタップすると対応した画面が表示されます。

お知らせエリアを下にドラッグすると、通知の一覧が表示され、通知をタップすると対応した画面が表示されます。

音楽や動画再生中は、メディア操作キーが表示されます。

- ・ メディア操作キーは音楽や動画を再生するアプリケーションを起動中に表示されます。アプリケーションによっては表示されない場合もあります。

③ 音声検索起動

$\text{〇}(\text{〇})$ を画面上部にスライドするとGoogle 音声検索™を起動します。

④ 時計

現在の時刻と日付が表示されます。

「画面ロック」の「ロック画面メッセージ」を設定している場合は設定したテキストも表示します。

⑤ エモバーエリア

「エモバー」をONに設定している場合、エモバーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。

- ・ 左右にフリックすると情報が切り替わります。
- ・ 情報によってはダブルタップすると、関連情報や詳細を確認できます。

⑥ 画面ロック

$\text{〇}(\text{〇})$ を画面上部にスライドすると画面ロックを解除できます。

- ・ 「画面ロック」にパスワードなどを設定しているときは $\text{〇}(\text{〇})$ が表示されます。指紋を設定している場合、指紋認証ができないときは、 $\text{〇}(\text{〇})$ を画面上部にスライドすると「画面ロック」で設定した方法でロックを解除できます。

⑦ カメラ起動

$\text{〇}(\text{〇})$ を画面上部にスライドすると「カメラ」アプリを起動します。

- 「エモバーメモ」がONのときは、ロック画面でエモバーメモが利用できません。エモバーについて詳しくは、「エモバーを設定する」(▶P.89)をご参照ください。

データを引き継ぐ

microSDメモリカードを利用して、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンのバックアップデータを本製品の本体メモリに取り込んだり、本製品の本体メモリのデータをバックアップしたりすることができます。本製品にデータを引き継ぐ場合は、あらかじめ、バックアップデータを保存したmicroSDメモリカードを本体に取り付けておいてください。また、これまでお使いのスマートフォンがBluetooth®対応の場合は、Bluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込むこともできます。

- 電話帳、スケジュール、メモ帳※、ユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)、エモバーの登録内容を引き継ぎ／バックアップできます。
※別途アプリをダウンロードする必要があります。
- これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの操作については、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[データ引継]
データ引継画面が表示されます。
「ヘルプ」をタップすると、ヘルプを表示します。

2 データ取り込み	取り込む ▶P.23「microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む」 スマートフォンから電話帳データを取り込む ▶P.23「スマートフォンからBluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込む」
SDカードにデータ保存	本体メモリ内のデータをバックアップします。
機能紹介	シャープのサイトに接続し、データ引継の使いかたを動画で確認することができます。

microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む

- 1 データ引継画面→[データ取り込み]
microSDメモリカードが挿入されていないか、microSDメモリカードにバックアップデータがない場合は、取り込み元の携帯電話の選択画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 2 [取り込む]
取り込むことができるデータカテゴリが一覧表示されます。
- 3 取り込むデータカテゴリを選択
バックアップデータが一覧表示されます。
すべてのカテゴリを選択／解除したい場合、「全選択」／「全解除」をタップします。バックアップデータは最新のものが選択されます。
- 4 取り込むバックアップデータを選択
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 5 [追加登録]／[削除して登録]
機内モードが無効になっている場合は、機内モードが有効になり、登録が開始されます。アカウントを設定している場合、連絡先の登録先を選択してください。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 6 [完了]

- ◎ 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ◎ 取り込みが完了しても「機内モード」が元に戻らない場合は、手動で戻してください。
- ◎ バックアップデータを削除して登録中に操作がキャンセルされた場合は、処理中の本体メモリ内のデータは削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されます。
- ◎ ユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)、エモバーは追加登録を行った場合でも削除して登録されます。

スマートフォンからBluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込む

- 1 データ引継画面→[データ取り込み]
microSDメモリカードが挿入されていないか、microSDメモリカードにバックアップデータがない場合は、取り込み元の携帯電話の選択画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 2 [スマートフォンから電話帳データを取り込む]
- 3 [次へ]
- 4 これまでお使いのスマートフォンのBluetooth®機能を有効にする→[次へ]
- 5 これまでお使いのスマートフォンを選択→[開始]
リクエスト画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
「連絡先の共有」を有効に設定するなど、相手側の機器で操作が必要な場合は行ってください。
- 6 [次へ]
- 7 [追加登録]／[削除して登録]→[OK]
アカウントを設定している場合、連絡先の登録先を選択してください。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 8 [OK]

microSDにデータをバックアップする

- 1 データ引継画面→[SDカードにデータ保存]
保存できるデータカテゴリが一覧表示されます。
- 2 保存するデータカテゴリを選択
前回バックアップ時と同じ項目を選択したい場合、[[:]]→[前回選択項目のチェック]と操作します。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 3 [保存]
機内モードが無効になっている場合は、機内モードが有効になり、バックアップが開始されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 4 [完了]

- ◎ 電池残量が少ないときはバックアップできません。
- ◎ 本体メモリの空き容量が11MB未満の場合は、microSDバックアップを利用できません。
- ◎ バックアップが完了しても「機内モード」が元に戻らない場合は、手動で戻してください。
- ◎ バックアップデータは最大1,000件まで保存できます。

基本操作

タッチパネルの使いかた.....	26
タッチキーの使いかた.....	26
指紋認証機能を利用する.....	26
AQUOS Homeを利用する.....	27
ステータスバーを利用する.....	29
アプリ使用履歴を利用する.....	31
アプリ初回起動時の確認画面から設定する.....	31
共通の操作を覚える.....	32

タッチパネルの使いかた

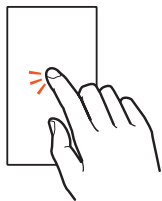
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- ・ 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作*
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 市販の保護フィルムやシールなどを貼った操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・ 水中での操作
- *「グローブモード」がONの場合、手袋を装着したまま使用できます。

■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

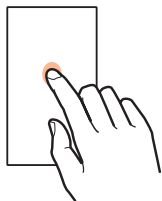
- ・ 画面に表示された項目やアイコンを選択します。静止画表示中やWebページ閲覧中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。



■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

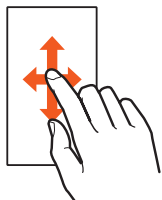
- ・ 項目によっては、利用できるメニューが表示されます。



■ スライド／スワイプ／ドラッグ

画面に軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

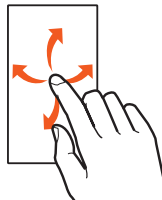
- ・ 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にゲージやバーの操作に使用します(スライド／スワイプ)。
- ・ 項目やアイコンを目的の位置まで移動します(ドラッグ)。



■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

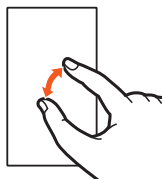
- ・ ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。



■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。

- ・ Webページなどで画面を拡大／縮小します。



タッチキーの使いかた

画面下部に表示されるナビゲーションバーに次のアイコンが表示され、タッチキーとして使用します。

- ・ 表示されている画面によっては、次のアイコン以外のタッチキーが表示される場合があります。

アイコン	概要
	1つ前の画面に戻ります。
	表示中のソフトウェアキーボードを閉じます。
	ホーム画面を表示します。 ロングタッチするとGoogle™アプリが起動し、本体メモリ内やウェブサイトの情報を検索できます。
	アプリ使用履歴画面を表示します。 アプリ使用履歴画面でタップすると1つ前に使用していたアプリに切り替わります。

アイコン	概要
分割画面キー	アプリケーション表示中に、タップすると画面下部にアプリ使用履歴を表示します。 アプリ使用履歴表示中にタップすると画面下部のアプリが1つ前に使用していたアプリに切り替わります。

- ◎ 次の操作で「」をロングタッチして起動するアプリを変更できます。
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]→[デフォルトアプリ]→[アシストと音声入力]→[アシストアプリ]→起動するアプリを選択

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能について

■ 指紋認証利用時のご注意

指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。

認証性能(指紋センサーを正しく指でタップした際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。

- ・ お風呂上がりなどで指がふやけている
- ・ 指が乾燥している
- ・ 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
- ・ 指が泥や油で汚れている
- ・ 指が汗などで濡れている
- ・ 手荒れや、指に損傷(切傷やたれなど)がある
- ・ 指の表面が磨耗して指紋が薄い
- ・ 太ったりやせたりして指紋が変化した
- ・ 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本製品を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ・ ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- ・ 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ・ ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- ・ 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されてから、指を離してください。
- ・ 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

指紋を登録する

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- ・ 指紋は5件まで登録できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティと現在地情報]→[指紋]

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]→[指紋センサー]→[指紋設定]と操作しても指紋設定を起動できます。

2 [次へ]

3 予備のロック解除方法／起動時の保護／通知を設定

「画面ロック」を「なし」/「スワイプ」以外に設定している場合は、設定している方法でロックを解除します。

4 [次へ]→指紋センサーに指の腹で触れる

指を指紋センサーに当て、振動したら離します。指紋の登録が完了するまで繰り返し行ってください。

5 [完了]

続けて別の指紋を登録する場合は、「別の指紋を登録」を選択してください。

- ◎ 「画面ロック」を「なし」/「スワイプ」に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

指紋を管理する

指紋の追加や削除、登録名の変更ができます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティと現在地情報]→[指紋]
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]→[指紋センサー]→[指紋設定]と操作しても指紋設定を起動できます。

2 ロックを解除

■ 指紋を追加登録する場合

3 [指紋を追加]→画面の指示に従って操作

指紋の登録について詳しくは、「指紋を登録する」(▶P.26)をご参照ください。

■ 登録した指紋の名前を変更する場合

3 登録済みの指紋を選択

4 名前を入力→[OK]

■ 登録した指紋を削除する場合

3 登録済みの指紋の[⊞]

4 [削除]

指紋認証を行う

1 画面消灯中／ロック画面表示中／指紋認証画面表示中に、指紋センサーを指の腹で触れる

画面消灯中に操作すると、画面のロックが解除され、画面が点灯します。正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

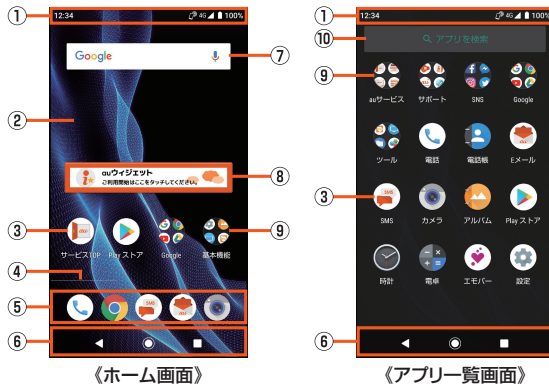
AQUOS Homeを利用する

AQUOS Homeについて

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート／お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。
ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ／機能のショートカット／ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ／機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリが表示されます。

■ AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上からスワイプ／フリックすると、アプリ一覧画面に切り替わります。アプリ一覧画面で一番上を表示した状態で下からスワイプ／フリックすると、ホーム画面に切り替わります。



- 1 ステータスバー
- 2 デスクトップシート
左右にフリックするとページを切り替えることができます。
- 3 アプリ
- 4 ページインジケータ
デスクトップシートのページを切り替えたときに、現在の表示位置を表示します。
- 5 お気に入りトレイ
お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。
- 6 ナビゲーションバー
- 7 検索
クイック検索ボックスを利用できます。
・詳しくは、「クイック検索ボックスを利用する」(▶P.82)をご参照ください。
- 8 ウィジェット
- 9 フォルダ
フォルダをタップ→フォルダ名を選択すると、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、「名前のないフォルダ」と表示されます。フォルダをタップしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。
- 10 アプリを検索
インストールされているアプリの検索などができます。
・「他のアプリを検索」をタップすると、Google Playで検索できます。
詳しくは、「Google Playを利用する」(▶P.80)をご参照ください。

ホーム画面を編集する

■ アプリ／ウィジェット／フォルダを移動する

1 ホーム画面／アプリ一覧画面→アプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。

ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを「削除」までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを「アンインストール」までドラッグするとアンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチして「ホーム画面に追加」までドラッグすると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットを登録する

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[ウィジェット]

2 追加するウィジェットをロングタッチ

ホーム画面が表示されます。

3 追加する位置にドラッグして、指を離す

- 機能のショートカットも同様の操作で登録することができます。

auウィジェットについて

- より便利にauスマートフォンをご利用いただけるように、ホーム画面上で最新ニュースと天気をお届けします。あわせてクーポン、音楽、動画、本、人気アプリなどの情報も一緒にお楽しみください。

機能のショートカットを利用する

1 ホーム画面／アプリ一覧画面→アプリをロングタッチして、指を離す

2 機能のショートカットを選択

利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
機能のショートカットをロングタッチ→移動する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙を設定する

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[壁紙]

2 アプリを選択する

3 設定する壁紙を選択

ホーム画面を設定する

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[ホームの設定]

2	通知ドット	通知に関する設定ができます。 ・詳しくは、「アプリと通知の設定をする」(▶P.87)の「通知」をご参照ください。
	通知ドットに件数表示	通知ドットを利用している場合に件数を表示するかどうかを設定します。
	ホーム画面にアイコンを追加	新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するかどうかを設定します。
	ホーム画面の回転を許可	AQUOS Homeを横表示でも利用するかどうかを設定します。

アプリケーション一覧

アプリケーションを名前順(数字／アルファベット→五十音順)に記載しています。

アプリケーション	概要
au ID 設定	au IDを設定します。 au ID 設定について詳しくは、『設定ガイド Android 9 Pie対応版』をご参照ください。
au Market	auスマートバスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。
au WALLET	au WALLETをより便利に使いこなすためのアプリです。 au WALLET プリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au WALLET クレジットカードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高、お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。
au WALLET Market	日々の生活に役立つ‘ちょっといいもの’を、誰でも気軽に買える新感覚のショッピングサービスです。 auショップ店頭で購入した商品の確認や注文変更もご利用いただけます。
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの自宅Wi-Fi®機器サービス「Wi-Fi HOMESPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。(▶P.79)
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
auスマートバス	「auスマートバスプレミアム」/「auスマートバス」を最大限活用するためのアプリです。 お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。(▶P.78)
auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにテレビ連携や遠隔録画予約機能をご利用いただけます。(▶P.71)
Chrome	Google Chrome™を利用して、Webページを閲覧できます。(▶P.62)
COCORO BOOKS	新聞や雑誌、書籍などの電子書籍を購入、閲覧できます。(▶P.80)
Disney pass	ディズニー公式の壁紙、きせかえ、動画などが使い放題の月額サービス。au限定のコンテンツや、映画観賞券、グッズのプレゼントなど、お得な会員特典もあります。その他にも、au限定デザインのカバースもご用意。カバースに同梱のディズニーバス・カードからご登録いただくと、ディズニーバスが無料で楽しめます。 © Disney
Duo	ビデオ通話を利用します。
Eメール	Eメール(@au.com/@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.46)
Facebook	友達の近況チェックや写真・動画のアップロード、知り合いやグループとのメッセージのやりとりができる無料の「実名制」コミュニケーションアプリです。
Gmail	Gmail™やGmail以外のPCメールを利用できます。(▶P.60)
Google	本体メモリ内やウェブサイトの情報を検索できます。(▶P.82)
Instagram	写真や動画を自由に編集・投稿し、ビジュアルを通して家族や友達、そして世界中の利用者と簡単につながる事ができるアプリです。
Lookout for au	本製品を紛失したり、盗難にあったときにKDDIオペレーターがリモートで端末の位置検索やロックをかけることができるアプリです。
Messenger	友達や知り合いとリアルタイムにメッセージのやりとりやグループチャット・ビデオチャットができる無料アプリです。
My au	auのご請求金額、データ通信量(ギガ)、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。(▶P.78)
OfficeSuite	パソコンなどで作成されたMicrosoft Word/Excel/PowerPointやPDFのファイルを表示することに対応したアプリケーションです。 対象ファイルを閲覧・確認したいときに、手軽に利用することができます。
PCメール	普段パソコンなどで利用しているメールアカウントでメールを送受信できます。(▶P.59)
Play Music	音楽を再生します。
Play ストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード・インストールして利用できます。(▶P.80)
Playムービー&TV	Google Playから動画をレンタルしたり、ダウンロード・インストールした動画を視聴できます。
SATCCH	QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画やCGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの案内に沿ってお楽しみください。(▶P.79)

アプリケーション	概要
SHSHOW	AQUOSスマートフォン/タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリケーションです。
SMS	電話番号を宛先としてメールの送受信ができます。(▶P.57)
Twitter	Twitterは多くの人々となつなったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです。
Wowma! for au	日用品・スマートフォングッズ・グルメ・ファッションなど、お買いもの楽しめるau公式のショッピングアプリです。
YouTube	YouTube™を利用できます。
アルバム	画像や動画をイベントごと、場所ごとに振り分けて整理することができます。(▶P.66)
あんしんフィルター for au	お子さまがスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.79)
エモバー	あらかじめ登録したお客様の情報やエモバーの設定に合わせ、ロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えします。(▶P.89)
うたパス	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など3,000以上のプレイリストが聴ける「聴き放題」と、楽曲を購入してダウンロードし再生できる「音楽プレイヤー」を持ったアプリです。
遠隔操作サポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.78)
おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。(▶P.76)
カメラ	静止画/動画を撮影できます。(▶P.64)
からだメイト	からだメイトを利用できます。(▶P.83)
カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.82)
ゲームギフト	大人気ゲームのギフト配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報、先行プレイなど、様々なお得を提供するアプリです。
故障紛失サポート	スマートフォンの調子が悪いときのクイック診断、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートするアプリです。(▶P.78)
コンテンツマネージャー	本体メモリやmicroSDメモリーカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。
サービスTOP	ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、auのスマートフォンを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。(▶P.77)
スポーツブル	話題のスポーツコンテンツをスマホでさくさく見れるアプリです。
世界データ定額	世界各国で使えるデータ定額サービスの初期設定が安心、簡単にできます。
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.86)
データお預かり	写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されている様々なデータをauサーバーに預けたり、microSDメモリーカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
デジラアプリ	データ通信の残データ容量を手軽に確認できるアプリです。 データチャージ・データギフトを利用したり、ご家族へデータギフトをおねだりすることもできます。
テレビ	地上デジタルテレビ放送サービスを見ることが出来ます。(▶P.70)
電卓	電卓を利用できます。(▶P.84)
電話	電話をかけたり、履歴を確認できます。(▶P.38)
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.44)
時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。(▶P.83)
ドライブ	ファイルをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
取扱説明書	「取扱説明書 詳細版 Android 9 Pie対応版」に記載されている内容を確認することができます。目次、索引、検索機能を利用して、使いたい機能の説明を探すことができます。また、よく確認する説明にしおりを付けて検索しやすくなることもできます。
ナビウォーク	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートナビゲーションするアプリです。

アプリケーション	概要
 ニュースパス	たくさんの新聞・雑誌・テレビ・ネットのニュース記事の中から、旬なニュースや、あなたの興味や関心にあった記事を読むことができるニュースアプリです。
 ビデオパス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。
 フォト	撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。
 ブックパス	雑誌・コミック・小説など多くの電子書籍を楽しむことができます。
 マップ	Google マップ™を利用して、現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。

※1 利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

※2 本製品はハイレゾオーディオの再生に対応しています。

ハイレゾ音源を再生するには、ハイレゾに対応した市販のヘッドホンやスピーカーが必要です。(イヤホンマイク端子からの出力に対応しています。)
再生できる音楽データは、サンプリング周波数: 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz、量子化ビット数: 24bit、ファイル形式: FLAC、WAVです。Qualcomm® aptX™ HD audio対応機器と接続した場合は48kHz／24bitにコンバートして出力します。

- ◎ アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

■ なめらかハイスピード表示を利用する

「なめらかハイスピード表示」をONにすると、画面表示をなめらかにすることができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ディスプレイ]→[詳細設定]→[なめらかハイスピード表示]

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]→[なめらかハイスピード表示]でも同様に操作できます。
最近使用したアプリケーションの一覧が表示されます。
[最近使用したアプリ]→[すべてのアプリ]と操作すると、すべてのアプリケーションが表示されます。

2 /

アプリケーションごとに、「なめらかハイスピード表示」のON/OFFを切り替えられます。

- ◎ アプリケーションによっては効果が得られないことがあります。その場合は、「なめらかハイスピード表示」をOFFにしてください。また、電池残量や端末温度によっても、効果が得られない場合があります。
- ◎ アプリケーションを起動したまま「なめらかハイスピード表示」の設定を変更すると、正常に動作しなくなることがあります。その場合は、一度アプリケーションを終了してください。

ステータスバーを利用する

■ アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	時刻
	不在着信あり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
	アラーム情報あり
	カレンダーの予定通知あり
	フルセグ／ワンセグの電波の強さ  ～  : レベル表示
	テレビ情報あり  : 予約情報あり  : 録画情報あり
	音楽再生中
	発信中、通話中、着信中
	保留中
	伝言メモ情報あり
	本体メモリの空き容量低下
	USB テザリング利用中
	Wi-Fi®テザリング利用中
	Bluetooth®ファイル受信リクエストあり
	データのアップロード／ダウンロード、送受信など  : データのアップロード・送信時  : データのダウンロード・受信時
	利用可能なアップデートあり
	アプリケーションのインストール完了
	ソフトウェア更新情報あり
	「グループモード」をONに設定中
	まとめられたアイコンあり

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	アラーム設定あり
	電池レベル状態  ～  : 残量表示  : 残量なし ・充電中は電池マークに  が重なって表示されます。 ・電池マークの右に電池残量を%で表示することができます。 (P.87)
	機内モード設定中
	電波の強さ (受信電界)  ～  : レベル表示  : 圏外 ・ネットワークを示すアイコンが左に表示されます。  : LTE / WiMAX 2+使用可能* ・通信中は  が重なって表示されます。
	ローミング中
	マナーモード状態  : マナーモード(パイプ)  : マナーモード(ミュート)
	高度なマナーモード設定中
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「消音」に設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ  ～  : レベル表示 ・通信中は  が重なって表示されます。
	Bluetooth®利用中  : 待機中  : 接続中
	伝言メモ設定中  : 伝言メモなし  : 伝言メモあり (1～9件)  : 伝言メモが10件
	位置情報をGPSで測位中
	NFC / おサイフケータイ®機能をロック中
	「Reader/Writer, P2P」を有効に設定中

※ [LTE] [WiMAX 2+] の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードや機内モードなどを設定できます。

■ お知らせパネルを表示する場合

1 ステータスバーを下にスライド

■ ステータスパネルを表示する場合

1 ステータスバーを2本の指で下にスライド

■ お知らせ／ステータスパネルの見かた



- ① 機能ボタン
よく使う機能の設定を変更することができます。操作方法は機能によって異なります。
 - ステータスパネルでは、左右にフリックすると、ページを切り替えることができます。
- ② お知らせ
本製品の状態や通知の内容を確認できます。通知をタップすると対応するアプリケーションを起動できます。
 - 通知を左右にフリックすると削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。
 - 表示範囲を上をスライドすると、隠れているお知らせを表示できます。
 - 通知を2本の指で上下にスライドまたはピンチイン／ピンチアウトすると詳細表示と簡易表示を切り替えられます。詳細表示では、表示されるメニューから直接メッセージの返信などを行うことができます。
 - 通知をロングタッチすると、アプリの通知を設定できます。
- ③ 通知を管理する
通知を表示するアプリが表示されます。
アプリごとに通知を許可するかどうかを設定します。
- ④ すべて消去
タップすると通知がすべて消去されます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。
- ⑤ 明るさ調整バー
バーを左右にスライドして明るさを設定します。
- ⑥ 設定
タップすると本製品について、各種設定を行います。
 - 詳しくは、「設定メニューを表示する」(P.86)をご参照ください。
- ⑦ 編集
表示する機能ボタンを変更したり並べ替えたりできます。

◎ 画面を上下にスライドすると、お知らせパネル／ステータスパネルを切り替えられます。

■ 表示する機能ボタンを変更する

1 ステータスパネルを表示→[設定]

2 機能ボタンをロングタッチ→ドラッグして指を離す

機能ボタンを並べ替えます。
「タイルを追加するには押し続けながらドラッグ」より下にドラッグすると非表示に、上にドラッグするとお知らせ／ステータスパネルに表示できます。

3 「[設定]」をタップ

編集が確定します。

マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。
設定できるモードは次の通りです。

バイブ	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。アラーム音、メディア音は設定されている音量で鳴ります。
ミュート	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音は設定されている音量で鳴ります。
高度なマナーモード	マナーモードを設定した場合の通知動作や、特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 詳しくは、「マナーモードの高度な設定について」(P.30)をご参照ください。

1 ステータスパネルを表示→「マナーモード」

- ◎ 伝言メモ設定が「マナーモード連動」に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。
- ◎ マナーモードを設定すると、機能ボタンの表示が変更されます。
- ◎ 音量バーを押して音量バーを表示させた後、「マナーOFF」／「バイブ」／「ミュート」をタップしてもマナーモードを設定できます。
 - 高度なマナーモードの設定を行う場合は「高度なマナーモード」と操作します。
- ◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や撮影開始／終了音は鳴動します。また、「タップ操作時のバイブ」の設定によっては、バイブレータが振動します。

■ マナーモードの高度な設定について

1 ステータスパネルを表示→「マナーモード」をロングタッチ

2 「高度なマナーモード」

着信音とバイブレーション	マナーモードを設定した場合に「アラーム」／「メディア」／「タッチ操作音」のそれぞれに着信音などの音やバイブレータを鳴動させるかどうかを設定します。
通知	マナーモード設定中に通知が届いた場合の動作を設定します。
通話	マナーモード設定中に着信した場合の例外動作を設定します。
メッセージ、予定、リマインダー	マナーモード設定中にメッセージ／予定／リマインダーの通知が届いた場合の例外動作を設定します。
期間	マナーモードが解除されるまでの期間を設定します。 「自動的に ON」でマナーモードが設定された場合は「自動的に ON」の設定に従います。
自動的に ON	マナーモードが自動設定されるように設定します。

4 「今すぐONにする」

設定した項目の内容に合わせて、マナーモードが動作します。「高度なマナーモード」がONに設定されている状態で「今すぐOFFにする」をタップすると解除されます。

アプリ使用履歴を利用する

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 [□]

■ アプリ使用履歴画面の見かた



《アプリ使用履歴画面》

① アプリの使用履歴

アプリを起動できます。

- 上にフリックすると使用履歴を削除できます。

② すべてクリア

使用履歴をすべて消去します。

③ お気に入りトレイ

お気に入りトレイに登録したアプリや機能のショートカットを起動できます。

- 詳しくは、「AQUOS Homeについて」(P.27)をご参照ください。
- お気に入りトレイを上フリックするとアプリ一覧画面を表示できます。

④ アプリアイコン

アプリ情報の確認と分割画面でのアプリ起動ができます。

◎ アプリによっては履歴に表示されない場合があります。

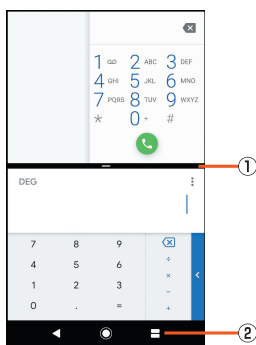
■ 2つのアプリを同時に表示する(分割画面)

2つのアプリをそれぞれ操作することができます。

1 [□]→画面上部に表示するアプリのアイコンをタップ→[分割画面]

画面下部にアプリ使用履歴画面が表示されます。

2 画面下部に表示するアプリの使用履歴をタップ



《分割画面》

① セパレータ

上下にフリックすると、画面上部/下部のアプリを通常表示します。

② 分割画面キー

分割画面表示中は、「□」が「■」に切り替わります。

- タップすると画面下部にアプリの使用履歴が表示され、画面下部で使用するアプリを切り替えることができます。

3 表示されたアプリを利用

4 セパレータを上下にフリック

通常表示に戻ります。

◎ 利用するアプリケーションによっては、分割画面表示に切り替わらない場合や通常表示に切り替わる場合があります。

◎ 利用するアプリケーションによっては、分割画面表示では利用できない機能などがあります。

◎ 分割画面表示中の「■」のタップは、最後に使用したアプリに対して動作します。

◎ 「■」が表示されている場合は、ホーム画面などからアプリを起動しても分割画面表示になります。

アプリ初回起動時の確認画面から設定する

■ アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリ/機能を初めて起動したときは、「アクセス権限の許可」「電池の最適化」の確認画面が表示され、動作について設定を行います。

- アプリ/機能によって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。

■ アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ/機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

例: アルバムを起動した場合

1 「アプリに必要な許可」の確認画面→[次へ]

2 [許可しない]/[許可]

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定する

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

■ アプリごとに利用する機能を設定する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]

2 [XX個のアプリをすべて表示]→アプリを選択→[権限]

3 機能を選択

■ 機能ごとに利用するアプリを設定する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]→[詳細設定*]→[アプリの権限]

※条件によっては表示されない場合があります。

2 機能を選択

3 アプリを選択

◎ 許可をしないとアプリ/機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。

◎ アプリ/機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

■ 電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。

- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ/機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

例: テレビを起動した場合

1 「電池の最適化」の確認画面→[次へ]

2 [いいえ]/[はい]

テレビを起動する場合は、「いいえ」をタップするとアプリが終了します。

通常は「はい」をタップし、電池の最適化は行わないでください。

■ 電池の最適化の設定をする

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]→[詳細設定*]→[特別なアプリアクセス]→[電池の最適化]

※条件によっては表示されない場合があります。

最適化していないアプリの一覧が表示されます。

[最適化していないアプリ]→[すべてのアプリ]と操作すると、すべてのアプリが表示されます。

2 アプリを選択→[最適化する]/[最適化しない]→[完了]

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦(横)表示から左(右)に回転した場合

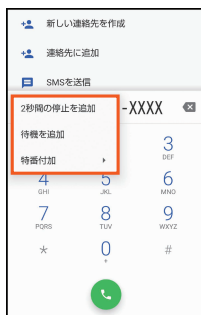


- ◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- ◎ 縦横表示を切り替えるかどうかは、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「ディスプレイ」→「詳細設定」→「画面の自動回転」で設定できます。
 - ・「画面の自動回転」が無効に設定されていてもアプリケーションによっては、端末が回転するとナビゲーションバーにが表示され、タップすると画面表示を本製品の向きに合わせて回転させることができます。
- ◎ アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

利用できるメニューを表示する

- ◎ などをタップすると、メニューを表示することができます。

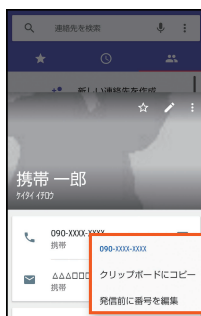
例：ダイヤル画面の場合



各項目やデータのメニューについて

各項目やデータをロングタッチすると利用できるメニューが表示されます。

例：連絡先詳細画面の場合



チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
☒	設定が有効／項目が選択されている状態です。
☐	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

文字入力

ソフトウェアキーボードを切り替える.....	34
文字入力画面の見かた.....	34
文字の入力方法	35
文字入力について設定する	35

ソフトウェアキーボードを切り替える

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄を選択すると表示されます。
本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

12キー	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーを繰り返しタップして文字を切り替え、文字を入力します。
QWERTY	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。

1 文字入力画面→[✳]→[入力方式]→[QWERTYキーボード]／[12キーボード]

フリック入力について

複数の文字や機能が割り当てられたキーの場合、上下左右にフリックすることで、文字や機能を選択することができます。
キーに触れると、フリック入力で選択できる候補が表示されます。選択したい文字や機能が表示されている方向にフリックすると、文字入力や機能選択ができます。例えば「12キー」で「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。



文字入力画面の見かた



《文字入力画面(12キー)》



《文字入力画面(QWERTY)》

① 文字入力エリア

② 入力候補リスト

文字を入力すると予測変換候補リストが表示されます。予測変換候補リストで「✳」→「[変換]」と操作すると、入力した文字に該当する変換候補だけを表示できます。つながり予測を有効に設定している場合は、入力が確定するとつながり予測候補リストが表示されます。
「✳」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「✳」をタップします。

③ 設定キー

S-Shoinメニューを表示します。

④ 文字入力キー

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑤ カーソルキー

タップするとカーソルが左／右に移動します。フリックするとカーソルが上／下／左／右に移動します。
文末で右に移動すると、スペースを入力します。文字入力中は、文字の区切りを変更します。

⑥ 絵文字・記号・顔文字キー

絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。

⑦ 文字種キー

文字種を切り替えると、選択した文字種に応じて、次の文字が青く表示されます。

あ：ひらがな漢字入力

A：半角英字入力

1：半角数字入力

A：全角英字入力

1：全角数字入力

区：区点コード入力

⑧ 削除キー

文字を削除します。

⑨ 確定キー／改行キー／スペースキー

確定：入力中の文字を確定します。

改行：カーソルの位置で改行します。

スペース：スペースを入力します。英字入力時に表示されます。

アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑩ 大文字・小文字キー／スペースキー

大文字：入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。

小文字：入力した英字を大文字／小文字に切り替えたり、上にフリックしてアポストロフィを入力したりします。

スペース：スペースを入力します。ひらがな漢字入力時に表示されます。

⑪ シフトキー

タップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。

小文字入力

大文字入力

大文字入力ロック

また、数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えます。

⑫ スペースキー／変換キー

スペース：スペースを入力します。

変換：変換候補リストを表示します。元の表示に戻すには、「✳」をタップします。

⑬ 確定キー／改行キー

確定：入力中の文字を確定します。

改行：カーソルの位置で改行します。

◎ 「[✳]」をタップすると、表示中のソフトウェアキーボードを閉じることができます。

フリック操作について

◎ 絵文字・記号・顔文字キーを右にフリックすると、連携・引用アプリ一覧が表示されます。アプリケーションを選択すると起動することができます。

◎ 文字種キーに触れて、「あ」「A」「1」が表示されている方向にフリックすると「ひらがな漢字」「半角英字」「半角数字」を切り替えることができます。上にフリックすると「ひらがな漢字」「半角英字」「半角数字」以外の文字種も選択できます。

◎ 設定キーをフリックすると、次の機能を利用できます。

QWERTYキーボードに切替／12キーボードに切替

音声入力

文字の入力方法

文字を入力する

ソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。ワイルドカード予測／予測変換／つながり予測の機能を利用して入力することもできます。

例: 「大阪」と入力する場合

1 文字入力画面→「おおさか」と入力

2 変換候補から「大阪」をタップ

予測変換について

- 予測変換候補リストで「**ネット変換**」をタップすると、インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を取得し、予測変換候補リストに表示します。
- 予測変換候補リストで学習した変換候補をロングタッチ→[学習クリア]と操作すると、学習した変換候補を削除できます。
- ひらがな入力中に予測変換候補リストで「**変換**」／「**変換**」／「**カナ変換**」／「**カナ変換**」をタップすると、予測変換候補リスト／通常変換候補リスト／カナ英変換候補リスト／カナ英字変換候補リストを切り替えられます。「**変換**」をタップしたときは、「**変換**」／「**変換**」をタップすると、変換するひらがなの文節を変えることができます。

ワイルドカード予測を利用する

読みの文字数から変換候補を表示し、入力できます。

例: 「テレビ」と入力する場合

1 文字入力画面→「て」と入力

2 「」→「」

「」をタップするたびに「*」が入力され、文字数に合わせた変換候補が予測変換候補リストに表示されます。

3 変換候補から「テレビ」をタップ

入力する文字種を切り替える

1 文字入力画面→文字種キーを上フリック

2 文字種を選択

- 操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

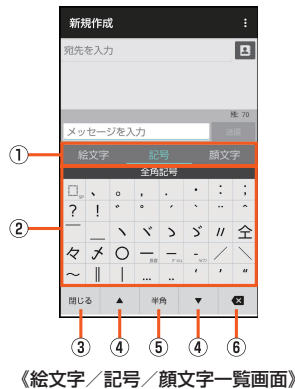
絵文字／記号／顔文字を入力する

1 文字入力画面→「☺」

2 絵文字／記号／顔文字を選択

- 操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／記号／顔文字があります。

絵文字／記号／顔文字一覧画面の見かた



《絵文字／記号／顔文字一覧画面》

- 1 文字切替
絵文字／記号／顔文字を切り替えます。
- 2 絵文字／記号／顔文字リスト
絵文字／記号／顔文字をカテゴリごとに一覧表示します。
 - ・ リストから顔文字をロングタッチすると、顔文字を編集することができます。ただし、「履歴」欄の顔文字は編集できません。
- 3 閉じるキー
文字入力画面に戻ります。
- 4 ページ切替キー
前／次のカテゴリやページを表示します。
- 5 文字切替キー
前／次のカテゴリやページを表示します。
 - 半角 : 半角記号を表示します。
 - 全角 : 全角記号を表示します。
- 6 削除キー
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

音声で入力する

1 文字入力画面→[]→[入力方式]→[音声入力]

2 送話口(マイク)に向かって話す

- : 音声入力を受け付けています。認識が完了すると文字が入力されます。タップすると音声入力を一時停止します。
- : 音声入力を一時停止しています。タップすると音声入力を開始します。
- ✕ : タップするとソフトウェアキーボードに切り替えます。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ

「**コピー**」／「**貼り付け**」をドラッグして範囲を選択してください。
[**コピー**]→[すべて選択]と操作すると、すべての文字を選択できます。

2 [切り取り]／[コピー]

3 貼り付ける位置をタップ→[]→[貼り付け]

「**貼り付け**」をドラッグしてカーソルの位置を移動することができます。

- [**履歴**]→[履歴から]と操作すると、切り取り／コピーした履歴を選択して貼り付けることができます。
- アプリケーションにより表示されるアイコンなどが異なる場合があります。

文字入力について設定する

S-Shoinの設定を行う

S-Shoinでのキー操作時の操作音やバイブレーションなどを設定できます。

1 文字入力画面→[]

表示・キーボード設定	一括シンプル切替
	見やすい色と形のソフトウェアキーボードを使用するかどうかを設定します。
	詳細設定
	ソフトウェアキーボードのサイズや入力候補リストの行数、横幅などを変更します。
	・ 「幅寄せ」を設定した場合、12キーボードを利用中に「 幅寄せ 」／「 幅寄せ 」をタップすると、キーボードや入力候補リストを左右に移動できます。
	カナ英数キー表示
	「カナ英数」／「カナ英数キー」を表示するかどうかを設定します。
	変換キー表示(12キーボード)
	12キーボード利用中に変換候補欄に通常変換候補を表示する「変換キー」を表示させるかどうかを設定します。
	数字キー表示(QWERTYキーボード)
	縦表示QWERTYキーボード利用中に文字種を半角数字／全角数字以外に切り替えた場合でも数字キーを表示させるかどうかを設定します。
	ツールバー
	キーボード上部のツールバーを表示させるかどうかを設定します。
	・ ツールバーは「入力補助用」と「表示切替用」から選択することができます。
	絵文字・記号リスト列数
	絵文字／記号リストの列数を変更します。
	キー入力ガイド表示
	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。
	ソフトキーボード表示
	市販のキーボードを接続して文字入力するときに文字入力画面を表示させるかどうかを設定します。

フリック設定・入力補助	フリック感度 フリック入力の感度を設定します。 ガイドの表示速度 キーをタップした後、フリックガイドを表示するまでの速度を設定します。 トグル入力 フリック入力が有効のときに、キーを繰り返しタップしても文字を入力できるようにするかどうかを設定します。 キー操作音 キーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。 キー操作バيب キーをタップしたときに振動で知らせるかどうかを設定します。 キー操作バيب時間 キーをタップしたときに振動で知らせる時間を設定します。 文字削除キー動作 削除キーの動作を設定します。 ローマ字キーボード補助 QWERTYキーボードで日本語を入力するときに、不要キーをタップできなくて誤入力を防止するかどうかを設定します。 自動カーソル移動 文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 絵・記・顔の連続入力 絵文字／記号／顔文字リストから候補を選択した後、リスト表示を維持するかどうかを設定します。
その他の設定	変換機能 つながり予測やワイルドカード予測など、入力候補リストに表示する内容について設定します。 また半角英字入力時に自動的に文頭の文字を大文字にしたり、半角スペースを挿入するかどうかを設定します。 ・ワイルドカード予測について詳しくは、「ワイルドカード予測を利用する」(▶P.35)をご参照ください。 辞書 ユーザー辞書やダウンロード辞書の設定や削除などを行います。また、変換辞書の更新や電話帳名前データと連携を設定します。 ・ユーザー辞書について詳しくは、「ユーザー辞書に登録する」(▶P.36)をご参照ください。 スライド切替 ソフトウェアキーボード上でスライド操作を行った際の動作を、上下左右それぞれ設定します。 各種リセット S-Shoinの設定や学習辞書、顔文字リストをリセットします。
入力方式	QWERTYキーボード／12キーボード ▶P.34「ソフトウェアキーボードを切り替える」 音声入力 ▶P.35「音声で入力する」
ユーザー辞書登録(日)／ユーザー辞書登録(英)	ユーザー辞書に単語に登録します。 ・詳しくは、「ユーザー辞書に登録する」(▶P.36)をご参照ください。
アプリ連携・引用(マッシュルーム)	▶P.36「アプリ連携・引用(マッシュルーム)を利用する」

自動カーソル移動について

◎ カーソル移動後でも、°(濁点)／^ (半濁点)の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 文字入力画面→[]→[その他の設定]→[辞書]→[ユーザー辞書]

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

「日本語用」／「英語用」をタップすると、日本語／英語ユーザー辞書を切り替えることができます。

2 []

文字入力画面→[]→[ユーザー辞書登録(日)]／[ユーザー辞書登録(英)]でも同様に操作できます。

3 読み／単語を入力→[登録]

ユーザー辞書単語一覧画面のメニューを利用する

1 ユーザー辞書単語一覧画面→[]

2 新規登録	単語をユーザー辞書に登録します。
編集	選択している単語を編集します。
1件削除	選択している単語を削除します。
全件削除	登録した単語をすべて削除します。

アプリ連携・引用(マッシュルーム)を利用する

アプリ連携・引用(マッシュルーム)を利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面→[]→[アプリ連携・引用(マッシュルーム)]

アプリ連携・引用のヒント画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 アプリケーションを選択

◎ アプリ連携・引用(マッシュルーム)は、アプリケーションをインストールして利用することもできます。アプリケーションのインストール方法について詳しくは、「Google Playを利用する」(▶P.80)をご参照ください。

◎ 入力候補リストの変換候補をロングタッチ→[アプリ連携・引用]と操作し、アプリケーションを選択しても同様に操作できます。

電話をかける.....	38
電話を受ける.....	40
自分の電話番号を確認する.....	41

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 ホーム画面→[電話]→[発信]

ダイヤル画面が表示されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [通話]→通話

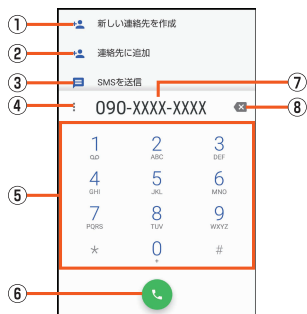
通話中画面が表示されます。

通話中に[+] / [v] を押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

4 [通話]

- お知らせ / ステータスパネルの通知に「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。
- 発信中 / 通話中に顔などによって近接センサーをおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- 送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。
- 通話中に他のアプリケーションを起動した場合に、通話中画面を表示したいときは、ステータスバーを下にスライドして「通話中」をタップしてください。

■ ダイヤル画面の見かた



《ダイヤル画面》

① 新しい連絡先を作成

入力した電話番号を電話帳に新規登録します。

② 連絡先に追加

入力した電話番号を電話帳に追加登録します。

③ SMSを送信

入力した電話番号を宛先にしてSMSを作成します。

④ メニュー

2秒間の停止や待機、特番を追加できます。

⑤ キーボード

⑥ 発信

電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力の際にタップすると最新の発信履歴が入力されます。

⑦ 電話番号入力欄

⑧ 削除

最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。
・電話番号入力欄を選択してカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。

- 入力した電話番号が電話帳に登録されている番号と一致する場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。タップすると発信します。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

- 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- 日本国内の緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用した接続はできません。
- GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に約2時間解除されます。緊急通報後、次の操作で解除された着信拒否設定を元に戻すことができます。ステータスバーを下にスライド→[緊急通報後のため着信拒否解除]→[着信拒否設定を元に戻す]→[はい]

■ 通話中画面の操作

・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ミュート	相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。タップするたびにミュート([M]) / ミュート解除([M])が切り替わります。
キーボード	キーボードを表示します。プッシュ信号の送信ができます。
スピーカー	ハンズフリーで通話するかどうかを設定します。タップするたびにスピーカーON([S]) / OFF([S])が切り替わります。
音声	音声の出力先を設定します。 ・ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。ヘッドセットとの接続について詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.99)をご参照ください。
通話を追加	通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。
統合	三者通話を行います。 ・詳しくは、「三者通話サービスを利用する(オプションサービス)」(▶P.105)をご参照ください。
管理	三者通話を行っている相手の方を確認します。
切り替え	グループ通話を管理します。
保留	通話を保留します。保留を解除するには通話中画面で「[U]」をタップします。

■ 通話中画面のメニューを利用する

1 通話中画面→[メニュー]

2	くっきりトーク	くっきりトークを有効にするかどうかを設定します。 ・有効にした場合は、周囲の雑音を低減し、通話相手が音声を聞き取りやすくなります。
	スロートーク	スロートークを有効にするかどうかを設定します。 ・有効にした場合は、通話相手の声がゆっくり聞こえるようになります。
	音声メモ	通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。 ・録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件を超えると古いものから順に削除されますが、すべて保護されている場合は録音できません。 ・録音した音声メモの再生について詳しくは、「伝言メモ / 音声メモを再生する」(▶P.41)をご参照ください。

履歴を利用して電話をかける

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]
通話履歴一覧画面が表示されます。
- 2 電話をかける履歴の「📞」をタップ

◎ 通話履歴は最大500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

通話履歴一覧画面の見かた



《通話履歴一覧画面》

- 1 検索欄
連絡先を検索できます。
・「🔍」をタップすると、音声検索もできます。
- 2 クイックアクセス
タップするとクイックアクセス一覧画面を表示します。
- 3 電話番号／名前／非通知着信の理由／ネットワークサービスの内容
タップすると、電話帳への登録やSMSの送信、通話履歴の詳細の確認などを行うことができます。
ロングタッチすると、番号のコピーや番号を編集して発信することができます。
- 4 電話帳に登録している写真
タップすると電話帳に登録している内容の一部が表示されます。
・上にスライドすると登録内容を確認できます。
- 5 発信信状態アイコン
👉 : 発信
👌 : 着信
👎 : 不在着信
- 6 連絡先
タップすると連絡先一覧画面を表示します。
- 7 発信日時
- 8 発信アイコン
タップすると発信します。
- 9 ダイヤルアイコン
ダイヤル画面を表示します。

通話履歴一覧画面のメニューを利用する

- 1 通話履歴一覧画面→[⋮]
- 2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

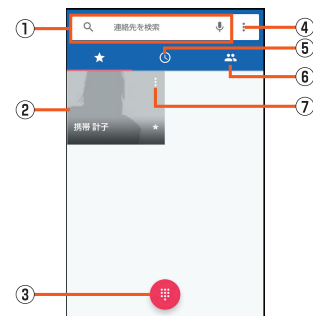
通話履歴	通話履歴の詳細画面を表示します。 ・通話履歴の削除や、不在着信の確認などを行うことができます。
よく使う連絡先のクリア	クイックアクセス一覧画面から、よく使う連絡先の表示を削除します。
設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話に関する設定をする」(▶P.40)をご参照ください。

クイックアクセスを利用する

電話帳でお気に入り登録した連絡先や、よく使う連絡先を一覧表示して利用できます。

- 1 ホーム画面→[📞]→[★]

クイックアクセス一覧画面の見かた



《クイックアクセス一覧画面》

- 1 検索欄
連絡先を検索できます。
・「🔍」をタップすると、音声検索もできます。
- 2 電話帳に登録している写真
タップすると発信します。
・ロングタッチして「削除」までドラッグすると、電話帳のお気に入りの解除またはよく使う連絡先を非表示にできます。
- 3 ダイヤルアイコン
ダイヤル画面を表示します。
- 4 メニュー
通話履歴一覧画面と同じメニューが利用できます。
詳しくは、「通話履歴一覧画面のメニューを利用する」(▶P.39)を参照してください。
- 5 通話履歴
タップすると通話履歴一覧画面を表示します。
- 6 連絡先
タップすると連絡先一覧画面を表示します。
- 7 連絡先のメニュー
タップすると電話帳に登録している内容の一部が表示されます。
・上にスライドすると登録内容を確認できます。

au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例: 本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

- 1 ホーム画面→[📞]→[🌐]

国際アクセスコード「010」を入力

「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

アメリカの国番号「1」を入力

市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→[📞]

- ◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。
auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- ◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの) 157番 (通話料無料)
一般電話から ☎ 0077-7-111 (通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

電話に出る

着信すると次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前と電話番号が表示されます。
 - 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「不明※」
- ※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

1 着信中に「」を上にはスワイプ

バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、「電話に出る」をタップします。

2 通話→「」

- LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「ネットワークとインターネット」→「データ使用量」と操作し、「モバイルデータ」を無効にしてご利用ください。
- かかってきた電話に出なかった場合はステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライドしてお知らせパネルを開くと、着信のあった電話番号、または電話帳に登録されている名前などが表示されます。
- 着信音が鳴っているときに/を押すと、着信音が消音になり、バイブレータを停止することができます。

着信に出ずに転送する

かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号、またはお留守番サービスへ転送します。

- あらかじめ、「選択転送」で転送先を設定しておいてください。

1 着信中に「」を上にはスワイプ→「着信転送」

バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、画面上部の連絡先をタップ→「」を上にはスワイプ→「着信転送」と操作します。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。

1 着信中に「」を上にはスワイプ→「伝言メモ」

バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、画面上部の連絡先をタップ→「」を上にはスワイプ→「伝言メモ」と操作します。

- 伝言メモ録音中に「受話音声」をタップすると、相手の方の音声のON/OFFを切り替えられます。

着信を拒否する

着信を拒否すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に「」を下にはスワイプ

バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、「拒否」をタップします。

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る

クイック返信すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせし、メッセージを送信します。

1 着信中に「」を上にはスワイプ

バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、画面上部の連絡先をタップ→「」を上にはスワイプと操作します。

2 送信するメッセージを選択

- 送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」をタップすると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
- 送信するメッセージを、あらかじめ「通話に関する設定をする」(▶P.40)の「クイック返信」で編集することができます。
- 相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
- 送信するメッセージを選択するまでは、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に伝言メモが応答する場合があります。

通話に関する設定をする

1 ホーム画面→「」→「」→「設定」

音とバイブレーション	着信時の音やバイブレーションなどについて設定します。 本製品の音やバイブレーションについては、「音の設定をする」(▶P.88)でも設定できます。
クイック返信	着信画面で送信するSMSのメッセージを編集します。 編集するメッセージを選択→メッセージを編集→[OK]と操作すると、メッセージを編集できます。
通話	▶P.40「通話の設定をする」
ボイスメール	ボイスメールについて設定します。
電話アプリについて	電話アプリのバージョンやオープンソース ライセンスなどを表示します。

通話の設定をする

1 ホーム画面→「」→「」→「設定」→「通話」

音声・伝言メモ	伝言メモ／音声メモの再生や、伝言メモの設定を行います。 - 録音した伝言メモ／音声メモの再生について詳しくは、「伝言メモ／音声メモを再生する」(▶P.41)をご参照ください。 - 伝言メモの設定について詳しくは、「伝言メモを利用する」(▶P.40)をご参照ください。
国際発信設定	国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。 国名を選択して編集／削除することができます。
au通話設定	発信者番号通知 ▶P.103「電話番号を通知する」 着信転送・お留守番サービス 着信転送サービス、お留守番サービスについて設定します。 - 詳しくは、「着信転送サービスについて」(▶P.102)、「割込通話サービスについて」(▶P.106)をご参照ください。 ガイド言語設定 ガイダンスの言語を切り替えます。 - 詳しくは、「英語ガイダンスへ切り替える」(▶P.105)、「日本語ガイダンスへ切り替える」(▶P.105)をご参照ください。 割込通話設定 割込通話サービスについて設定します。 - 詳しくは、「割込通話サービスについて」(▶P.106)をご参照ください。 着信拒否 着信拒否について設定します。 - 詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.41)、「番号通知リクエストサービスについて」(▶P.103)、「迷惑電話撃退サービスについて」(▶P.106)をご参照ください。 - 迷惑電話撃退サービスで、登録した指定の電話番号を編集する操作については非対応となります。編集する場合は削除して、指定の電話番号を登録してください。 オプションサービス申込 オプションサービスの申し込みを行います。

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に回答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。

1 ホーム画面→「」→「」→「設定」

2 「通話」→「音声・伝言メモ」→「伝言メモ設定」

3 「マナーモード連動」／[ON]

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライドし、伝言メモの通知をタップすると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
- 録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモが、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、伝言メモで応答しません。
- 録音した伝言メモの再生や削除について詳しくは、「伝言メモ／音声メモを再生する」(▶P.41)をご参照ください。

■ 応答メッセージを設定する

伝言メモで応答したときに流れるメッセージを設定します。

1 ホーム画面→[📶]→[⋮]→[設定]

2 [通話]→[音声・伝言メモ]→[応答メッセージ設定]

3 応答メッセージを選択

項目をロングタッチ→[再生]と操作すると、メッセージを再生します。

■ 応答時間を設定する

伝言メモで応答するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面→[📶]→[⋮]→[設定]

2 [通話]→[音声・伝言メモ]→[応答時間設定]

3 応答時間を設定→[設定]

■ 伝言メモ／音声メモを再生する

1 ホーム画面→[📶]→[⋮]→[設定]

2 [通話]→[音声・伝言メモ]→[伝言メモリスト]／[音声メモリスト]

伝言メモリスト画面／音声メモリスト画面が表示されます。

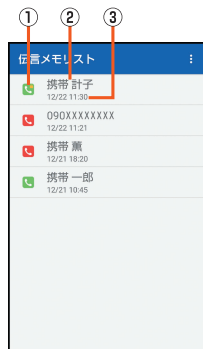
3 再生する伝言メモ／音声メモを選択

伝言メモ／音声メモが再生されます。

停止	再生を停止します。
保護／解除	伝言メモ／音声メモが自動的に削除されないように保護を設定／解除します。
削除	再生中の伝言メモ／音声メモを削除します。
スピーカーON／スピーカーOFF	スピーカー／受話口で聞くことができます。

◎ 伝言メモ／音声メモが複数ある場合、再生中に「▶」／「◀」をタップすると次／前の伝言メモ／音声メモを再生できます。

■ 伝言メモリスト画面の見かた



《伝言メモリスト画面》

① 伝言メモの再生状態を示すアイコン

🔴: 未再生の伝言メモ (赤色)

🟢: 再生済みの伝言メモ (緑色)

保護された伝言メモのアイコンには🔒が付きます。

② 相手の方の名前／電話番号／非通知設定の着信

③ 伝言メモが録音された日時

■ 着信拒否の設定をする

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 ホーム画面→[📶]→[⋮]→[設定]→[通話]

2 [au通話設定]→[着信拒否]

3 [着信拒否設定]

4 指定番号	指定した電話番号からの着信を拒否します。 ・「番号を追加」をタップすると、着信を拒否する番号を登録できます。 ・登録済みの番号の[×]→[ブロックを解除]と操作すると、登録済みの番号を解除できます。
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。

■ 自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]

「電話番号」の下部に自分の電話番号が表示されます。

電話帳に登録する44

電話帳の一覧を利用する44

電話帳の登録内容を利用する44

電話帳に登録する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「電話帳」

2 [●]

連絡先についての確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

- ・アカウントを設定している場合、アカウントに登録されます。
- ・複数のアカウントを設定している場合は、「▼」をタップして登録するアカウントを選択してください。

3 必要な項目を入力

4 [保存]

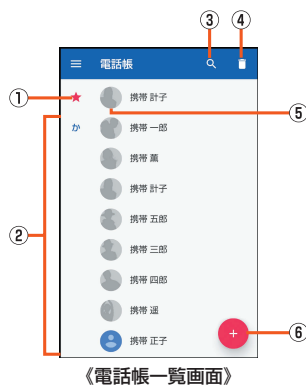
- 「その他の項目」をタップすると表示されていない入力項目が表示されます。
- 「✕」をタップすると入力中や入力済みの項目を削除できます。
- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 項目によっては種別を変更できる場合があります。種別の右側に表示されている「▼」をタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」をタップすると、入力した文字列を種別として登録できます。
- 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音を設定」は動作しません。
- 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「電話帳」

■ 電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面》

- 1 お気に入り
お気に入りに登録した連絡先が表示されます。
- 2 連絡先
登録されている連絡先が表示されます。
- 3 検索アイコン
連絡先を検索できます。
- 4 削除
連絡先を選択して削除します。
- 5 写真
新しい連絡先を作成

連絡先をリンクする

複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめて表示することができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「電話帳」

2 リンクする連絡先を選択→[⋮]→「リンク」

3 連絡先を選択

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「電話帳」→リンクする複数の連絡先をロングタッチ→[⋮]と操作しても連絡先をリンクできます。

■ 連絡先のリンクを解除する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「電話帳」

2 リンクを解除する連絡先を選択→[⋮]→「リンクされた連絡先を表示」→「リンクを解除」→「リンク解除」

電話帳を設定する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「電話帳」→[⋮]→「設定」

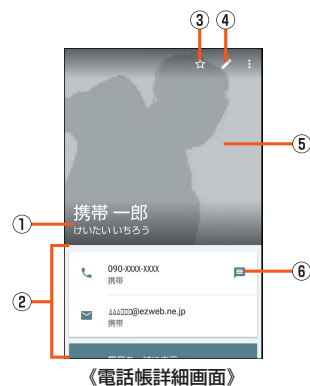
2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ユーザー情報	ユーザー情報を入力します。
アカウント	アカウントの追加や確認、同期などを行います。 ・詳しくは、「アカウントを追加する」 (▶P.91)をご参照ください。
新しい連絡先のデフォルト アカウント	連絡先を登録するアカウントを設定します。
表示する連絡先	表示する連絡先について設定します。
インポート	電話帳のバックアップデータを読み込みます。
エクスポート	電話帳のバックアップデータを保存し、メール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスにアップロードしたりできます。
ブロックした番号	指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。 ・詳しくは、「着信拒否の設定をする」 (▶P.41)の「指定番号」をご参照ください。
電話帳について	電話帳アプリのバージョンやオープンソース ライセンスなどを表示します。

電話帳の登録内容を利用する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「電話帳」→連絡先を選択

■ 電話帳詳細画面の見かた



《電話帳詳細画面》

- 1 名前
- 2 登録内容
登録内容を確認／利用できます。
- 3 お気に入り登録／解除
- 4 連絡先編集
- 5 写真
- 6 アクションアイコン
タップすると次の機能呼び出すことができます。
☎: 選択した電話番号を宛先としてSMSを作成します。
📍: 現在地から選択した住所までの経路情報を表示します。

■ 電話帳詳細画面のメニューを利用する

1 電話帳詳細画面→[⋮]

リンク／リンクされた連絡先を表示	複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめることができます。 ・詳しくは、「連絡先をリンクする」(▶P.44)をご参照ください。
削除	連絡先を削除します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスにアップロードしたりできます。
ショートカットを作成	連絡先をホーム画面に表示します。
着信音を設定	選択した連絡先から電話を受けたときの着信音を設定します。

Eメールを利用する	46
Eメールについて	46
Eメールの表示モードについて	46
Eメールを送る	48
Eメールを受け取る	50
新着メールを問い合わせで受信する	50
Eメールを検索する	51
Eメールをフォルダモードで確認する	51
Eメールを会話モードで確認する	53
Eメールを設定する	54
バックアップしたEメールを復元する	55
迷惑メールフィルターを設定する	56
SMSを利用する	57
SMSについて	57
SMSを送る	57
SMSを受け取る	57
SMSを返信／転送する	57
SMSを保護／保護解除する	57
SMSの電話番号を電話帳に登録する	58
SMSを検索する	58
SMSを削除する	58
SMSを設定する	58
PCメールを利用する	59
PCメールのアカウントを設定する	59
PCメールを送る	59
PCメールを受け取る	60
PCメール内容表示画面の見かた	60
Gmailを利用する	60
Gmailについて	60

Eメールを利用する

Eメールについて

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド Android 9 Pie対応版』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。
- ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「アプリと通知」→「XX個のアプリをすべて表示」→「Eメール」→「ストレージ」→「ストレージを消去」→「OK」と操作した場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にデータお預かりアプリでバックアップを行ってください。

Eメールの初期設定について

- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
- Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスを変更する」(▶P.55)をご参照ください。
- Eメールの文字サイズを変更可能です。「ディスプレイの設定をする」(▶P.88)の「文字フォント設定」でサイズを変更ください。
- アプリが使用する各機能に対し、アクセス権限の許可操作が必要となります。データ添付、添付データ保存、バックアップ/復元、着信音設定時などにおいて、確認ダイアログ(Eメールに必要な許可のお願い)が表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

Eメールの表示モードについて

表示モードを切り替える

指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードと、相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面→[📧]

2 [切替]

表示モードが切り替わります。



《フォルダモード》



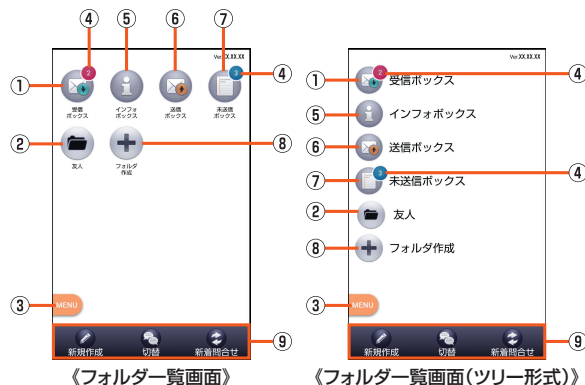
《会話モード》

- 本書ではフォルダモードでの操作を基準に説明しています。会話モードでは、メニューの項目/アイコン/画面上のボタンなどが異なる場合があります。

フォルダモードでの画面の見かた

■ フォルダ一覧画面の見かた

フォルダ一覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



- 1 受信ボックス
- 2 作成したフォルダ
- 3 メニューボタン
- 4 未読・未送信メール件数
フォルダ内の未読メールや未送信メールの件数が表示されます。
- 5 インフォボックス
インフォボックスメールを表示できます。
- 6 送信ボックス
- 7 未送信ボックス
- 8 フォルダ作成
- 9 アクションバー

■ Eメール一覧画面の見かた



- 1 ● : 未読のEメール
- 2 件名
- 3 宛先 / 差出人の名前またはメールアドレス
● : 電話帳に登録があるアドレスと送受信した場合
■ : 電話帳未登録のアドレスと送受信した場合
※ ●や■の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.54)で変更することができます。
「●」をタップすることで背景色を変更することができます。
背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.54)で戻すことができます。
電話帳に登録があるメールアドレスの場合には、登録された名前/写真が表示されます。未登録のメールアドレスの場合にはメールアドレスが表示されます。
受信したメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
● 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

- ④ フラグ設定Eメール一覧表示切替
一覧画面内のすべてのEメールとフラグ設定Eメール一覧を切り替えて表示できます。
- ⑤ 2行表示／本文プレビュー表示切替
- ⑥ フラグ
 ①: フラグ設定Eメール
 ②: フラグ未設定Eメール
- ⑦ アイコン
 ①: 返信したEメール
 ②: 転送したEメール
 ③: 返信／転送したEメール
 ④: 添付データあり
 ⑤: 保護されたEメール
 ⑥: 送信に失敗したEメール
 ⑦: 送信予約Eメール
 ⑧: 自動再送信Eメール
- ⑧ メニューボタン
- ⑨ アクションバー
- ⑩ 受信／送信切替スライダ
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

◎ 横表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》

《送信メール詳細表示画面》

- ① 宛先／差出人の名前またはメールアドレス
- ② 件名
- ③ 受信メール
From: 差出人の名前またはメールアドレス
To: / CC: 宛先の名前またはメールアドレス
送信メール
To: / CC: / BCC: 宛先の名前またはメールアドレス
- ④ 保存された添付データ
 ①: 受信に失敗した添付データ
 ②: 保存されたインライン添付データ
- ⑤ 本文表示エリア
ピンチアウト／ピンチインすると本文表示を拡大／縮小できます。
- ⑥ 前のEメール／次のEメールを表示
- ⑦ 詳細情報の表示／非表示
- ⑧ アイコン
 ①: 送信に失敗したEメール
 ②: 返信したEメール
 ③: 転送したEメール
 ④: 返信／転送したEメール
 ⑤: 複数の宛先あり
 ⑥: BCCの宛先で受信したEメール
 ⑦: 送信予約しているEメール
 ⑧: 自動再送信するEメール
 ⑨: 保護されたEメール
 ⑩: フラグ設定Eメール
- ⑨ メニューボタン
- ⑩ アクションバー

■ 会話モードでの画面の見かた

■ スレッド一覧画面の見かた

Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。



《スレッド一覧画面》

- ① すべて表示／お気に入り表示切替
すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。
- ② スレッド
 ①: 電話帳に登録があるアドレスと送受信した場合
 ②: 電話帳未登録のアドレスと送受信した場合
 ※ ①や②の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.54)で変更することができます。
 「①」をタップすることで背景色を変更することができます。
 背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.54)で戻すことができます。
 電話帳に登録があるメールアドレスの場合には、登録された名前／写真が表示されます。未登録のメールアドレスの場合にはメールアドレスが表示されます。
- ③ インフォボックス
インフォボックスメールを表示できます。
新着／未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。
- ④ (赤色): 新着Eメールあり
(青色): 未読Eメールあり
- ⑤ ★ (黄色): お気に入り
★ (灰色): お気に入り解除
- ⑥ メニューボタン
- ⑦ アクションバー

■ スレッド内容表示画面の見かた



《スレッド内容表示画面》

- ① スレッド名称(相手先)
電話帳未登録の場合は、メールアドレスが表示されます。
- ② 受信したEメール
- ③ 続き表示ボタン
本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは「⏮」をタップします。
- ④ メニューボタン
- ⑤ 件名入力欄
「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。

- ⑥ **D絵文字**
デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。
- ⑦ **宛先一覧表示**
送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。
- ⑧ **アイコン**
「Eメール詳細表示画面の見かた」(▶P.47)をご参照ください。
- ⑨ **添付**
データを添付するときに使用します。
- ⑩ **送信**
メール送信を実行します。
- ⑪ **本文入力欄**
メールの本文を入力します。
- ⑫ **📧:送信予約しているEメール**
🔄:自動再送信するEメール
❌:送信に失敗したEメール
- ⑬ **詳細表示ボタン**
Eメール詳細表示画面を表示します。
・Eメールをロングタッチ→[詳細表示]と操作しても表示できます。
※HTML形式など、Eメールの種類により表示されます。
- ⑭ **送信したEメール／送信予約中のEメール**

Eメールを送る

Eメールを送信する

■フォルダモードでEメールを送信する

- 1 **ホーム画面→[🏠]**
- 2 **[新規作成]**
送信メール作成画面が表示されます。
- 3 **[👤]**
「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。
- 4 **・**メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- | | |
|-------------|--|
| アドレス帳引用 | 電話帳のメールアドレスを宛先に入力します。 |
| アドレス帳グループ引用 | 電話帳のグループに登録されたすべてのメールアドレスを宛先に入力します。
・グループに登録されているメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。 |
| メール受信履歴引用 | 受信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。
・[📧]→[削除]→メールアドレスを選択→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。 |
| メール送信履歴引用 | 送信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。
・[📧]→[削除]→メールアドレスを選択→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。 |
| プロフィール引用 | 自分のEメールアドレスを宛先に入力します。 |
| 貼り付け | コピーしたメールアドレスを貼り付けます。 |

- 5 **件名を入力**
- 6 **本文を入力**
- 7 **[完了]→[送信]→[送信]**

- ◎デコレーションアニメには対応していません。
- ◎件名や本文には、半角カナおよび半角記号(一(長音)* (半濁点)、。・「」)は入力できません。
- ◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- ◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To/Cc/Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
- ◎絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換されることがあります。
- ◎「送信時確認表示」で送信時の確認画面を非表示にすることができます。
- ◎送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
- ◎あらかじめ「自動再送信」を有効にしておくと、Eメールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、「送信予約」を行うと、日時指定送信、あるいは本製品が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

■会話モードでEメールを送信する

- 1 **ホーム画面→[🏠]→[切替]**
スレッド一覧画面が表示されます。
- 2 **[新規作成]**
宛先入力画面が表示されます。
・過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合は、スレッドを選択してEメールを送信することができます。その場合は、手順5へ進みます。
- 3 **[👤]**
宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「フォルダモードでEメールを送信する」の手順4をご参照ください。
「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。
・入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。
- 4 **[作成]**
スレッド内容表示画面が表示されます。

5 件名を入力

6 本文を入力

7 [📧]→[送信]

■宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

- 1 **送信メール作成画面／宛先入力画面→未入力のアドレス入力欄の[👤]**
宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「フォルダモードでEメールを送信する」の手順4をご参照ください。
「宛先を追加」をタップしてアドレスを直接入力しても、宛先を追加できます。

■宛先を削除する場合

- 1 **送信メール作成画面／宛先入力画面→削除するアドレス入力欄の[✖]→[削除]／[OK]**

◎フォルダモードでは「👤」をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

- 1 **ホーム画面→[🏠]**

■フォルダモードで送信予約する場合

- 2 **[新規作成]→メールを作成**
- 3 **[送信予約]→[OK]**
- 4 **送信する日付を設定→[設定]**
- 5 **送信する時間を設定→[設定]**
未送信ボックスに📧が付いた送信予定のEメールが保存されます。

■会話モードで送信予約する場合

- 2 **[切替]**
スレッド一覧画面が表示されます。
- 3 **スレッドを選択→メールを作成**
過去に送受信していない相手先にEメールを送信する場合は、Eメールを新規作成してください。
- 4 **[📧]→[送信予約]→[OK]**
- 5 **送信する日付を設定→[設定]**
- 6 **送信する時間を設定→[設定]**
スレッド内容表示画面に📧が付いた送信予定のEメールが表示されます。

- ◎Eメールの自動送信は20件まで設定できます。
- ◎送信予約が設定されているメールを編集したり、指定した日時を変更しようとする、といった送信予約は解除されます。
- ◎電波状態などにより、指定した日時に送信できない場合があります。
- ◎指定した日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
- ◎日時指定したメールが海外利用中に送信された場合、料金が高額となる場合がありますのでご注意ください。
- ◎電波が届かない状態で「送信予約」をタップすると、「圏内復帰時に送信」または「日時指定」をタップすることができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 ホーム画面→[📧]→[新規作成]→[添付する]

会話モードではスレッド内容表示画面で「📎」をタップします。

2	ギャラリー(静止画)	静止画データを添付します。
	ギャラリー(動画)	動画データを添付します。
	カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
	カメラ(動画)	動画を撮影して添付します。
	ストレージ	ファイル種別を選択して本体メモリまたはmicroSDメモリカードのデータを添付します。
	その他	その他のデータを添付します。

- ◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
1データあたり2MB以上の静止画データ(JPEG、PNG)を添付、または合計で2MB以上のデータを添付する際、Eメールの送信時に静止画データ(JPEG、PNG)のサイズを縮小する場合があります。静止画データ(JPEG、PNG)のサイズをさらに縮小したい場合には、「画像サイズをケータイ用に変更」を有効にしてください。
受信側の端末によっては、受信できない、または、正しく表示できない場合があります。
- ◎ フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄を選択すると添付したデータを表示できます。また、「✕」をタップすると添付データを削除できます。
- ◎ 会話モードではデータを添付した後に、添付データを選択すると添付したデータを表示／削除できます。静止画を添付した場合は、「✕」をタップすると削除できます。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 ホーム画面→[📧]→[新規作成]→本文入力欄を選択→[D絵文字]

会話モードではスレッド内容表示画面で「📎」をタップします。

■一覧から入力する場合

2 カテゴリを選択

「ストレージ」を選択した場合は、本体メモリの絵文字を利用できます。

3 デコレーション絵文字を選択

■素材を探す場合

2 [D絵文字を探す]

3	メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
	お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■D絵文字パレットのカテゴリを追加する場合

2 [カテゴリ追加]

3 カテゴリ名称を入力→[作成]

4 作成したカテゴリに表示するデコレーション絵文字を選択→[追加]

■カテゴリ順序の入替えや編集を行う場合

2 [カテゴリ設定]→[編集]

3 [≡]を移動したい位置までドラッグ→[完了]

追加したカテゴリは[削除]により削除ができます。
・カテゴリを削除してもデコレーション素材の元データは削除されません。

本文入力中にできること

1 ホーム画面→[📧]→[新規作成]

会話モードではスレッド内容表示画面を表示します。

2 本文入力欄を選択→[MENU]

MENUが表示されていない場合は、本文入力欄をタップして表示します。

3

削除	Eメールを削除します。
検索	表示中のスレッド内のEメールを検索します。 ・詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.51)をご参照ください。
送信予約	▶P.48[送信予約をする]
アドレス帳引用	電話帳から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	自分の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください。 詳しくは、「送信・作成に関する設定をする」(▶P.54)をご参照ください。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾してメールを作成することができます。

■本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送信できます(デコレーションメール)。

1 ホーム画面→[📧]

2 [新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

3 本文を入力

4 [装飾]

5 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→「◀」／「▶」で終了位置を選択

6

文字サイズ	文字の大きさを変更します。
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	本体メモリまたはmicroSDメモリカードに保存された画像やアルバムなどの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。

7 [完了]

- ◎ 本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- ◎ データを添付する場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- ◎ 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残し、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- ◎ 手順6で「MENU」→「装飾全解除」→「解除」と操作すると、装飾を解除できます。
※MENUが表示されていない場合は、本文入力欄をタップして表示します。
- ◎ 異なる機種種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- ◎ デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
- ◎ 会話モードでは、本文を装飾できません。

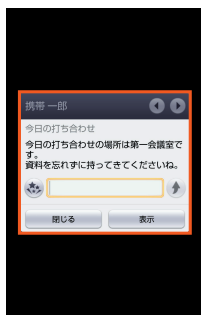
Eメールを受け取る

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が完了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知も「基本通知設定」または「個別通知設定」で有効／無効を切り替えることができます。

- 画面消灯中にEメールを受信すると画面が点灯します。
- ロック画面に通知ポップアップを表示することができます。
※ 初期状態では無効に設定されています。



《通知ポップアップ》

- ポップアップ通知が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ステータスバーにはが表示されます。お知らせパネルに名前、メールアドレス、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ホーム画面→[]

フォルダー一覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるフォルダには●(赤色)と件数が表示され、未読Eメールがあるフォルダには●(青色)と件数が表示されます。

3 [受信ボックス]／フォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

4 Eメールを選択

Eメール詳細表示画面が表示されます。

- ◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
- ◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- ◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 ホーム画面→[]→[受信ボックス]／フォルダを選択→Eメールを選択

2 添付データを選択→[表示]

- ◎ 通常のEメール(テキストメール)では、添付データが本文中に表示される場合があります。再生されるデータの種類の、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※ データによっては、表示されない場合があります。

添付データを保存する

Eメールに添付されたデータを本体メモリまたはmicroSDメモ리카ードに保存できます。

1 ホーム画面→[]→[受信ボックス]／フォルダを選択→Eメールを選択→添付データを選択

2 [ストレージへ保存]

3 [保存]

- ◎ 添付データを保存する保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 ホーム画面→[]→[受信ボックス]／フォルダを選択→Eメールを選択

会話モードからスレッド内容表示画面を表示しても操作できます。

■ メールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のメールアドレスを選択

- ◎ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

Eメール作成	選択したメールアドレスを宛先にしてメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したメールアドレスをフォルダの振り分け条件に登録します。 「フォルダロック」を設定したフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 - 追加した後、すぐに振り分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」(▶P.56)をご参照ください。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

■ 件名をコピーする場合

2 件名を選択→[コピー]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号を選択

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、次のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。
アドレス帳登録	選択した電話番号を電話帳に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLを選択

開く	選択したURLのページを表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

- ◎ 本文中のメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせで受信する

Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせで受信することができます。

1 ホーム画面→[]

2 [新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

- ◎ 会話モードではスレッド内容表示画面で上にスライドしても新着メールを問い合わせで受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面→[🏠]→[MENU]→[全検索]

ホーム画面→[🏠]→ボックス／フォルダを選択→[MENU]→[検索]と操作すると、ボックス／フォルダ内のEメールを検索できます。

2 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 [🔍]／[🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダ一覧画面から検索する場合、「フォルダロック」を設定したフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

◎ [🔍] をタップすると、キーワード検索以外にも検索条件を選択したり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールをフォルダモードで確認する

Eメールをフォルダモードで表示する

受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 ホーム画面→[🏠]

フォルダ一覧画面が表示されます。

- 「受信ボックス」に到着メールがある場合は①（赤色、数字は件数）が表示されます。受信メール一覧画面で到着メールを確認すると、アイコンが青色に変わります。未読メールがない場合は、アイコンは表示されません。
- 「未送信ボックス」にEメールがある場合は、②（青色、数字は件数）が表示されます。送信に失敗したEメールがある場合は、アイコンが赤色で表示されます。

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]／フォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールを選択

受信メール詳細表示画面が表示されます。

「返信」: 返信のEメールを作成
「転送」: 転送のEメールを作成
「保護」／「保護解除」: Eメールを保護／保護解除
「フラグ」／「フラグ解除」: Eメールにフラグ付加／フラグ解除
▶: 前のEメールを表示
◀: 次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]／フォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールを選択

送信メール詳細表示画面が表示されます。
「再送信」: 同じEメールをもう一度送信
「コピー編集」: コピーして編集
「保護」／「保護解除」: Eメールを保護／保護解除
「フラグ」／「フラグ解除」: Eメールにフラグ付加／フラグ解除
▶: 前のEメールを表示
◀: 次のEメールを表示

■ 「未送信ボックス」のEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

- 未送信メール一覧画面が表示されます。
- 送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
- 日時指定した送信予約メールをロングタッチ→[送信予約情報]と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、いったん送信予約は解除されます。
- 送信予約メールをロングタッチ→[送信予約解除]→[解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールを選択

未送信メールを選択した場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。送信予約メールを選択した場合は、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。
「送信」: 宛先が入力されているEメールを送信
「編集」: Eメールを編集
「コピー編集」: 保護されたEメールをコピーして編集
「保護」／「保護解除」: Eメールを保護／保護解除
「フラグ」／「フラグ解除」: Eメールにフラグ付加／フラグ解除
▶: 前のEメールを表示
◀: 次のEメールを表示

- ◎ 宛先が不明で相手の方に届かなかったEメールは、「送信ボックス」に保存されます。
- ◎ 「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメールは削除されません。
- ◎ 「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態で「受信ボックス」の容量を超えると、新着メールを受信できません。
- ◎ 「送信ボックス」／「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメール、送信予約メールは削除されません。

■ Eメールを個別に操作する

1 Eメール一覧画面→Eメールをロングタッチ

- 2 • メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

返信	Eメールに返信します。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	転送するEメールを作成します。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。
保護／保護解除	Eメールを保護／保護解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグ付加／フラグ解除します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認／編集します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 • あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 • 迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」(▶P.56)をご参照ください。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

■ Eメール一覧画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[🏠]

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 ボックス／フォルダを選択

「Eメールを検索する」(▶P.51)の検索結果一覧画面でも操作できます。

3 [MENU]

- 4 • メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

削除	Eメールを選択して削除します。 • 保護されたEメールは選択できません。
検索	表示中のボックス／フォルダ内のEメールを検索します。 • 詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.51)をご参照ください。
移動	Eメールを選択して移動します。 • あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
保護／解除	Eメールを選択して保護／保護解除します。 • 受信メールは、「受信ボックス」容量の50%または1,750件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、「送信ボックス」容量の50%または750件まで保護できます。
フラグ	Eメールを選択してフラグ付加／フラグ解除します。
迷惑メール報告	Eメールを選択して迷惑メールとして報告します。
フォルダ編集	「受信ボックス」や作成したフォルダを編集します。 • 詳しくは、「フォルダを作成／編集する」(▶P.52)をご参照ください。

■ Eメール詳細表示画面のメニューを利用する

- 1 ホーム画面→[🏠]
フォルダー一覧画面が表示されます。
- 2 ボックス／フォルダを選択→Eメールを選択→[MENU]
[MENU]が表示されていない場合は、本文表示エリアをタップして表示します。
- 3 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

削除	Eメールを削除します。
転送	転送するEメールを作成します。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
移動	Eメールを移動します。 ・あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 ・文字列の開始位置を選択→[選択開始]→[◀]／[▶]で選択範囲を指定→[コピー]と操作するとコピーできます。 ・Eメール詳細表示画面→本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 ・本文選択画面→ダブルタップ→[📄]／[📷]をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]でも同様に操作できます。 ・「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 ・絵文字や画像もコピーできます。 ・一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 ・変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。

■ フォルダー一覧画面のメニューを利用する

- 1 ホーム画面→[🏠]
フォルダー一覧画面が表示されます。
- 2 [MENU]
- 3

全検索	▶P.51「Eメールを検索する」
フォルダ編集	「受信ボックス」や作成したフォルダを編集します。 ・詳しくは、「フォルダを作成／編集する」(▶P.52)をご参照ください。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 ・「フォルダロック」を設定したフォルダは選択できません。 ・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、フォルダは削除されません。
再振り分け	現在設定されているフォルダの振り分け条件で、Eメールの再振り分けを行います。 ・「フォルダロック」を設定したフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
同期設定	タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。

同期設定について

- ◎ タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した場合、本製品とタブレットを同期するため、メールの保存先が「端末(ローカル)」から「メールサーバー」に変更となります。
- ◎ 同期設定前に送受信したメールがある場合、該当のメールはすべて「過去メール」ボックスに保存されます。
- ◎ その他の変更点については、auホームページをご参照ください。

■ フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振り分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

- 1 ホーム画面→[🏠]
フォルダー一覧画面が表示されます。
- 2 [フォルダ作成]
フォルダ編集画面が表示されます。
- 3 フォルダ名を入力
フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。
- 4 各項目を設定→[保存]

■ フォルダアイコンを変更する

- 1 フォルダ編集画面→[📄]
- アイコンから設定する場合
- 2 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]
- 3 各項目を設定→[保存]

■ 画像から設定する場合

- 2 [ギャラリーから写真を選択]
- 3 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]
- 4 各項目を設定→[保存]

◎ 最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

「受信ボックス」や作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレータ、着信ランプの色を設定できます。

- 1 フォルダ編集画面→[フォルダ別設定]
「標準設定」をタップすると、「通知設定」で設定した内容でEメールの受信をお知らせします。

2 着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」をタップした場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。

- 3 [OK]→[保存]

■ フォルダにロックをかける

「受信ボックス」や作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。

あらかじめ[Eメール設定]→[プライバシー設定]→[パスワード設定]でフォルダロック解除のパスワードを設定してください。

- 1 フォルダ編集画面→[フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]
- 2 [保存]

◎ 「フォルダロック」を設定中に会話モードに表示モードを切り替える場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ フォルダを並べ替える

- 1 フォルダー一覧画面→移動するフォルダをロングタッチ
- 2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- ◎ フォルダー一覧の表示形式を「グリッド表示」に設定している場合に移動できます。
- ◎ 作成したフォルダ以外は移動できません。

■ フォルダに振り分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振り分け条件を設定できます。設定した振り分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

■ 振り分け条件を設定する場合

1 フォルダ編集画面→[振り分け条件追加]→振り分け条件の種類をタップ

2	メールアドレス	メールアドレスを振り分け条件に登録します。
	ドメイン	ドメインを振り分け条件に登録します。
	件名	件名を振り分け条件に登録します。 ・ 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

3 振り分け条件を入力→[OK]

メールアドレス／ドメインで振り分ける場合は、「」をタップすると、入力方法を選択して登録できます。

4 [保存]

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振り分け条件に設定する場合

1 フォルダ編集画面→[アドレス帳登録外]／[不正なメールアドレス]→[保存]

- ◎ 振り分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、メールの振り分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに振り分けを行う場合は、「再振り分けする」をタップします。
- ◎ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- ◎ 同一の振り分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- ◎ フォルダ編集画面で、追加した振り分け条件の右横にある「」をタップして、振り分け条件を編集したり、削除することができます。
- ◎ 振り分けの対象となるメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- ◎ 一致する振り分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞…＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにEメールをスレッドにまとめて表示できます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面→[]→[切替]

スレッド一覧画面が表示されます。

- ・ 新着Eメールがあるスレッドには **N** (赤色)、未読Eメールがあるスレッドには **●** (青色) が表示されます。

2 確認するスレッドを選択

スレッド内容表示画面が表示され、Eメールが確認できます。

■ Eメールを個別に操作する

1 スレッド一覧画面→スレッドを選択

2 操作するEメールをロングタッチ

- 3 ・ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	転送するEメールを作成します。 ・ 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・ 元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護／保護解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグ付加／フラグ解除します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	画像を保存します。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。

■ スレッド一覧画面のメニューを利用する

1 スレッド一覧画面→[]

2 削除	スレッドを選択して削除します。 ・ スレッド内のEメールはすべて削除されます。 ・ スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。 ・ 削除するスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]と操作しても削除できます。
全検索	Eメールを検索します。 ・ 詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.51)をご参照ください。
件名を非表示／件名を表示	件名を表示するかどうかを設定します。
同期設定	タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。

■ スレッド内容表示画面のメニューを利用する

1 スレッド一覧画面→スレッドを選択→[]

2 削除	Eメールを削除します。
検索	表示中のスレッド内のEメールを検索します。 ・ 詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.51)をご参照ください。

Eメールを設定する

Eメール設定をする

1 ホーム画面→[📶]

2 [MENU]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

表示設定	▶P.54「表示に関する設定をする」
送信・作成設定	▶P.54「送信・作成に関する設定をする」
通知設定	基本通知設定 ▶P.54「通知に関する設定をする」 個別通知設定 ▶P.54「個別の通知に関する設定をする」
プライバシー設定	パスワード設定/パスワード変更 フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定/変更します。 パスワードリセット パスワードをリセットします。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。 シークレット シークレット機能の有効/無効を設定します。 ・表示されるシークレット機能の説明をよくお読みになりご利用ください。 ・シークレット機能を有効/無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元	メールデータ復元 ▶P.55「メールデータを復元する」 まるごと復元 ▶P.55「まるごとバックアップデータを復元する」
改善情報取得・auアプリサイドメニュー連携設定	改善情報送信設定 EメールアプリやEメールサービスの品質の維持・向上のために、Eメール送受信時の品質/電波状況、絵文字などのコンテンツ利用状況の取得・収集に関する設定を行います。 auアプリサイドメニュー連携設定 サイドメニューから、KDDI提供のauサービス・アプリへのアクセス数集計に必要な情報の取得・収集に関する設定を行います。 また、当設定を実施することで、サイドメニュー内のお知らせ表示の状態を、KDDI提供のauアプリ間で連携することができます。
プライバシーポリシー	プライバシーポリシー(個人情報保護方針)について表示します。
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数/使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Eメールアドレス欄を選択→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。

パスワード設定について

◎ フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えると「ひみつの質問」が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。

表示に関する設定をする

1 ホーム画面→[📶]→[MENU]→[Eメール設定]→[表示設定]

2	アドレス帳登録名表示	メールアドレスが電話帳に登録されている場合、電話帳に登録された情報を表示するかどうかを設定します。
	プロフィールアイコンを表示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。
	プロフィールアイコン色のリセット	プロフィールアイコンの背景色をリセットします。
	マガジンビュー	マガジンビューを使用するかどうかを設定します。
	外部画像表示アドレス	外部のWEBサイトに表示された画像を常に表示するアドレスの確認、削除をします。
	テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。
	背景画像設定	背景画像を設定します。
	フォルダ表示形式	フォルダ一覧の表示形式をグリッド表示かツリー表示に切り替えます。

送信・作成に関する設定をする

1 ホーム画面→[📶]→[MENU]→[Eメール設定]→[送信・作成設定]

2	返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。
	差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。
	冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。
	署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。
	返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。有効に設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 ・会話モードでご利用の場合、有効に設定していても受信メールの内容は引用されません。
	送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。
	自動再送信	Eメール送信失敗時に自動で再送信するかどうかを設定します。
	宛先候補表示	宛先入力時に宛先の候補を表示するかどうかを設定します。

冒頭文/署名について

◎ 冒頭文/署名には、最大10種類の画像/デコレーション絵文字を挿入できます。
 ◎ 冒頭文/署名を挿入しただけで、画像/デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像/デコレーション絵文字を挿入できません。
 ◎ 冒頭文と署名に同じ画像/デコレーション絵文字を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
 ◎ 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面→本文入力欄を選択→[MENU]→[挿入]→[冒頭文]/[署名]と操作して挿入してください。

通知に関する設定をする

1 ホーム画面→[📶]→[MENU]→[Eメール設定]→[通知設定]→[基本通知設定]

2	着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」をタップした場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
	バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
	LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
	着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。
	ステータスバー通知	Eメール受信時のステータスバーの通知について設定します。
	送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
	通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
	メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。
	電源キー押下による着信音鳴動停止	Eメール着信音の鳴動中に[🔇]を押してEメール着信音やバイブレータ鳴動を停止するかどうかを設定します。

個別の通知に関する設定をする

1 ホーム画面→[📶]→[MENU]→[Eメール設定]→[通知設定]→[個別通知設定]

2 [新規設定]

3 **[アドレス帳引用]/[メール受信履歴引用]/[メール送信履歴引用]→設定するアドレスを選択**
 「メール受信履歴引用」/「メール送信履歴引用」を選択した場合は、設定するアドレスを選択→[選択]と操作します。

4	着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」をタップした場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
	バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
	LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
	着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。
	通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
	メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯するかどうかを設定します。

■ Eメールアドレスを変更する

EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。

- 1 ホーム画面→[📶]→[MENU]→[アドレス変更／フィルター設定]→[メールアドレスの変更へ]
- 2 暗証番号を入力→[送信]
- 3 [承諾する]
- 4 Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]→[閉じる]

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。
- ◎ 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。
- ◎ Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。

■ 転送先を設定する

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

- 1 ホーム画面→[📶]→[MENU]→[アドレス変更／フィルター設定]→[自動転送先の設定へ]
- 2 暗証番号を入力→[送信]
- 3 Eメールアドレスを入力→[送信]→[閉じる]

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
- ◎ 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。
※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
- ◎ 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
- ◎ Eメールアドレスを間違えて設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
- ◎ 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

■ バックアップしたEメールを復元する

■ メールデータを復元する

これまでお使いの製品でバックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。
バックアップしたメールデータ(メール本文・添付ファイル)を復元することができます。

- 1 ホーム画面→[📶]→[MENU]→[Eメール設定]→[バックアップ・復元]
- 2 [メールデータ復元]
- 3 復元するメール種別を選択→[OK]
- 4 復元するバックアップデータを選択→[OK]
「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。
- 5 [追加保存]／[上書き保存]→[OK]
「上書き保存」をタップした場合は、確認画面で「OK」をタップします。

- ◎ メールデータ復元では、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態では復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえで復元の操作を行っていただくか、まるごと復元をご利用ください。
- ◎ バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」をタップした場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」／「送信ボックス」／「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールデータを復元します。
- ◎ 復元したEメールから未受信の本文や添付データを取得することはできません。

■ まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ(メール本文・添付ファイル)、Eメール設定、振り分け条件をすべて消去し、復元します。

- 1 ホーム画面→[📶]→[MENU]→[Eメール設定]→[バックアップ・復元]
 - 2 [まるごと復元]
 - 3 復元するバックアップデータを選択→[OK]
- 復元前にメールデータがない場合
- 4 [OK]
- 復元前にメールデータがあり、メールデータをバックアップする場合
- 4 [バックアップ]→[OK]
シークレット機能を有効にしてメールデータバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。
 - 5 [UTF-8]／[SJIS]→[OK]
「ヘルプ」をタップすると文字コードの説明を表示できます。
 - 6 バックアップするフォルダを選択→[OK]
「フォルダロック」を設定した「受信ボックス」／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
会話モードではバックアップするメール種別を選択します。
 - 7 [OK]→[OK]→[OK]
- 復元前にメールデータがあり、メールデータをバックアップしない場合
- 4 [まるごと復元]
 - 5 [OK]→[OK]

- ◎ まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

- 迷惑メールフィルターの各種機能の詳細については、迷惑メールフィルター画面で「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→[🏠]→[MENU]→[アドレス変更／フィルター設定]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号を入力→[送信]

迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3	オスス設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
	受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 「必ず受信」を有効にすることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のauメールアドレス」またはその一部(@au.com/@ezweb.ne.jp)などを設定する場合は、「必ず受信」のチェックを外してください。 - 受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 「アドレス帳受信設定へ」をタップすると、「auアドレス帳」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信するかどうかを設定できます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。
	その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制 メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※ 以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※ 「受信リスト設定」の「必ず受信」を有効にして登録すると「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制 メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウィルスメール規制 添付ファイルがウィルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
	全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

- 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- 迷惑メールフィルターは、次の優先順位にて判定されます。
ウィルスメール規制＞受信リスト設定(「必ず受信」が有効)＞なりすまし規制＞拒否リスト設定＞受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞携帯／PHS以外のメール拒否設定＞迷惑メールおまかせ規制

- 「受信リスト設定(「必ず受信」が有効)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」が有効)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。

※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。

- 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。

- 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

- 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。

この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。

※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」が有効)」に登録してください。

SMSを利用する

SMSについて

「SMS」アプリはau電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。
au電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1 ホーム画面→[📠]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [✉]

SMS作成画面が表示されます。

・過去に送受信した相手の方にSMSを送信するときは、スレッドを選択してもSMSを作成できます。その場合は、手順4へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[📠]→電話帳から相手先を選択することもできます。

海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

「010」+「国番号」+「相手先電話番号」

※ 電話帳から相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

4 本文を入力

本文は、全角最大670 / 半角最大1,530文字まで入力できます。

※ 国内・海外他事業者宛には全角最大70 / 半角最大160文字まで送信できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

- ◎ メッセージ作成中に[📧]をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
- ◎ SMSセンターでは72時間までSMSをお預かり（蓄積）します。蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。なお、SMSのお預かり可能件数は300件です。
- ◎ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。
- ◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。
 - ・SMS蓄積後すぐに配信：新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
 - ・リトライ機能による配信：相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
 - ・通話を終了したときに配信：蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。
 - ※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。
- ◎ SMS送信時は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず発信者番号が通知されます。
- ◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。
- ◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに❗が表示される場合があります。
- ◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受け取る

SMSを確認する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面→[📠]

未読のSMSがあるスレッドには●が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドを選択

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

- ◎ SMSの受信は、無料です。
- ◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
- ◎ スレッド内容表示画面で[📧]をタップすると、相手の方の電話番号が入力されたダイヤル画面を表示します。
- ◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
- ◎ 受信したSMSがダイアログ表示される場合があります。「閉じる」を選択するとメッセージを削除します。
- ◎ 本体メモリの空き容量が不足した場合、SMSを正しく受信できません。
- ◎ データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 ホーム画面→[📠]→スレッドを選択

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 電話番号があるメッセージを選択

アプリケーションの選択画面が表示された場合は、利用するアプリケーションを選択してください。

■ 本文中のメールアドレスを利用する場合

2 メールアドレスがあるメッセージを選択

アプリケーションの選択画面が表示された場合は、利用するアプリケーションを選択してください。

3 メールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 URLがあるメッセージを選択

Chromeが起動して、選択したURLのページが表示されます。

◎ 本文中に利用できる電話番号、メールアドレス、URLが複数ある場合は、確認画面が表示されます。利用する電話番号、メールアドレス、URLを選択してください。

SMSを返信／転送する

1 ホーム画面→[📠]

2 返信／転送するスレッドを選択

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

■ 返信する場合

3 本文を入力

4 [送信]

■ 転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[📠]→電話帳から相手先を選択することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

SMSを保護／保護解除する

1 ホーム画面→[📠]→スレッドを選択

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 [保護]／[保護解除]

保護したメッセージには🔒が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

- 1 ホーム画面→[☎]→スレッドを選択
- 2 [H]→[アドレス帳への登録]
スレッド一覧画面で登録する相手先の[☎]→[はい]と操作しても電話帳に登録できます。

SMSを検索する

- 1 ホーム画面→[☎]→[Q]→キーワードを入力
半角と全角を区別して入力してください。
- 2 [Q]
検索結果一覧が表示されます。
検索結果を選択すると、検索結果を含むスレッド内容表示画面が表示されます。

SMSを削除する

- 1 ホーム画面→[☎]
- 1件削除する場合
- 2 削除するメッセージがあるスレッドを選択
- 3 削除するメッセージをロングタッチ
- 4 [削除]→[削除]
- スレッドごと削除する場合
- 2 削除するスレッドを選択
- 3 [H]→[メッセージの全件削除]→[削除]
- 複数のスレッドを削除する場合
- 2 削除するスレッドをロングタッチ
- 3 続けて削除するスレッドを選択
- 4 [☐]→[削除]
- すべてのスレッドを削除する場合
- 2 [H]→[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSを設定する

SMS設定をする

- 1 ホーム画面→[☎]
- 2 [H]→[設定]
SMS設定画面が表示されます。
- 3

通知設定	SMS受信時のステータスバーの通知について設定します。「OFF」に設定すると、着信音、バイブレーション、LEDも「OFF」になります。 [差出人・本文]／[差出人]／[通知のみ]／[OFF]→[OK]
着信設定	SMS受信時の通知の着信音、バイブレーション、着信ランプなどの動作を設定します。 また、マナーモード設定時の通知についても設定できます。
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 [特大]「大」「中」「小」「極小」→[OK]
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名(全角20／半角45文字*まで)を入力→[設定] *半角カナは20文字まで
受信フィルター	▶P.58「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手の方に届いた際、送信したメッセージに ✓を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 [ホワイト]「ブラック」「ピンク」「グリーン」「ブルー」「オレンジ」→[OK]

◎ SMS設定画面→[H]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、設定内容を初期状態に戻します。

受信フィルターを設定する

- 1 ホーム画面→[☎]→[H]→[設定]→[受信フィルター]

2 指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストに登録します。 ・「[+]」をタップすると、電話帳から電話番号を登録できます。 ・スレッド内容表示画面→[H]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録できます。 ・登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除したい電話番号を選択→[削除]→[はい]と操作します。 ・電話番号は、最大150件まで登録できます。
アドレス帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。

PCメールを利用する

PCメールのアカウントを設定する

アカウントを登録する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。
- 登録するメールアカウントによって設定する項目などが異なる場合があります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「PCメール」

初回起動時にはプライバシーポリシーの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

■ メールサーバーを自動で設定する場合

2 メールアドレスを入力→[▶]

3 パスワードを入力→[▶]

4 [▶]

ご利用になるメールアカウントのメールサーバーが自動設定されない場合は手動で設定します。

5 あなたの名前を入力→[▶]

■ メールサーバーを手動で設定する場合

2 メールアドレスを入力→[手動セットアップ]

設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

3 アカウントのタイプを選択

IMAP対応のメールサーバー(Gmailなど)を利用する場合はIMAPサーバーで設定を行ってください。

4 パスワードを入力→[▶]

- メニューの項目は、ご利用になるアカウントにより異なる場合があります。

ユーザー名	ユーザー情報を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
クライアント証明書	使用するクライアント証明書を選択します。
サーバー	サーバー情報を入力します。
ポート	ポート番号を入力します。
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
サーバーからメールを削除	受信したPCメールをサーバーに残すかどうかを設定します。
IMAPバスのプレフィックス	必要な場合に入力します。

6 [▶]

SMTPサーバー	サーバー情報を入力します。
ポート	ポート番号を入力します。
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
ログインが必要	必要な場合に設定します。 有効に設定した場合は「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

8 [▶]

9 必要な項目を設定→[▶]

10 あなたの名前を入力→[▶]

アカウントの設定を変更する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「PCメール」→[⚙]→[設定]→アカウントを選択

- メニューの項目は、ご利用になるアカウントにより異なる場合があります。

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前を変更します。
署名	PCメール送信時の署名を設定します。
クイック返信	メールの作成時によく使う文章を登録します。
同期頻度	自動受信する間隔を設定します。
添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi®接続中に添付データを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
通知を管理する	PCメール受信時の動作について設定します。
受信設定	受信メールサーバーを設定します。 ・詳しくは、「アカウントを登録する」(▶P.59)をご参照ください。
送信設定	送信メールサーバーを設定します。 ・詳しくは、「アカウントを登録する」(▶P.59)をご参照ください。
アカウントを削除	アカウントを削除します。

◎「アカウントを追加」をタップするとアカウントを追加できます。詳しくは、「アカウントを登録する」(▶P.59)をご参照ください。

PCメールを送る

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「PCメール」→[✉]

2 宛先を入力

宛先入力欄に宛先や連絡先の名前を入力すると、電話帳から自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。宛先設定後、続けて宛先を入力して追加することもできます。

3 件名を入力

4 本文を入力

5 [送信]

■ PCメール作成画面の見かた

《PCメール作成画面》

① 送信元欄

複数のアカウントを設定している場合、タップすると送信するアカウントを変更できます。

② 宛先入力欄

「▼」をタップすると、Cc/Bccを追加できます。

③ 件名入力欄

④ 本文入力欄

■ PCメールにデータを添付する

1 PCメール作成画面→[添付]→[ファイルを選択]

2 添付するファイルを選択

添付したファイルを削除する場合は「✕」をタップします。

■ PCメール作成画面のメニューを利用する

1 PCメール作成画面→[H]

- 2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

下書きを保存	作成中のPCメールを下書きへ保存します。
破棄	作成中のPCメールを破棄します。
設定	アカウントやPCメールの設定を変更します。 ・アカウントの設定について詳しくは、「アカウントの設定を変更する」(▶P.59)をご参照ください。
クイック返信を挿入	「クイック返信」で登録した文章を挿入します。

PCメールを受け取る

1 PCメールを受信

PCメールを受信するとステータスバーに✉が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 受信したPCメールを選択

PCメール内容表示画面の見かた

PCメール一覧画面でPCメールを選択するとPCメール内容表示画面を表示します。

例：PCメール内容表示画面(受信メール)



《PCメール内容表示画面(受信メール)》

- ① 件名
- ② 差出人の名前／メールアドレス
- ③ 宛先／Ccの宛先／メールアドレス
- ④ 本文
- ⑤ 削除
- ⑥ 未読にする
- ⑦ スターアイコン
タップするとスター付きを設定／解除できます。
- ⑧ 返信
- ⑨ 各メールのメニュー
タップするとメールごとに全員に返信や転送、印刷することができます。
- ⑩ 受信日時
- ⑪ 添付ファイル

Gmailを利用する

Gmailについて

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などができます。

- ・ Gmailの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド Android 9 Pie対応版』をご参照ください。
- ・ Gmailの連絡先は、本体メモリ内の電話帳と同期することができます。
- ・ 利用方法などの詳細については、Googleのサイトや、受信トレイ画面→[≡]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。
- ・ PCメールをご利用になるには、Gmailの画面からPCメールのアカウントを設定します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[Gmail]

受信トレイ画面が表示されます。

初回起動時にはアプリについての説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

インターネット

インターネットに接続する	62
データ通信を利用する.....	62
Google Chromeを利用する	62

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「ネットワークとインターネット」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」→「LTE NET for DATA」と操作してください。

◎ LTEフラットなどのデータ通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。
<https://www.au.com/support/>

Google Chromeを利用する

■ Webページを表示する

ChromeのブックマークはGoogleアカウントでログインすることで、ブックマークを引き継ぐことができます。詳しくは、「設定ガイド Android 9 Pie対応版」をご参照ください。

1 ホーム画面→[🏠]

- Chrome画面が表示されます。
- 初回起動時には利用規約やログイン画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 「⏮」をタップするとau WebポータルTOPページが表示されます。

◎ 非常に大きなWebページをChromeで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

■ URL表示欄を利用する

Chrome画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ホーム画面→[🏠]→URL表示欄を選択

2 キーワード／URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。URL表示欄にテキストが入力されていないときに「🔍」をタップするとGoogle 音声検索が利用できます。送話口(マイク)に向かってキーワードを話してください。

3 一覧表示から項目を選択／[実行]

検索結果が表示されます。

◎ Chrome画面→[🔍]→「設定」→「検索エンジン」と操作すると、キーワード入力時の検索エンジンを変更できます。

Chrome画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[🏠]→[⋮]

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

→	Webページを「🔍」をタップして表示している場合に、操作前に表示していたWebページに進みます。
☆／★	表示中のページをブックマークに保存／編集できます。
↓	表示中のページをダウンロードします。
①	Webページの情報が表示されます。
🔄／X	表示中のページの再読み込み／読み込み中止を行います。
新しいタブ	新しいタブを表示します。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを表示します。
ブックマーク	▶P.62「ブックマークを利用する」
最近使ったタブ	同じGoogleアカウントを登録したデバイスで利用した履歴を利用できます。
履歴	▶P.62「履歴を利用する」
ダウンロード	ダウンロードしたページや画像などの一覧を表示します。
共有...	表示しているページのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
ホーム画面に追加	表示しているページを表示するショートカットをホーム画面に作成します。
PC 版サイト	PC版のページを表示するかどうかを設定します。
設定	Chromeの各項目を設定します。
ヘルプとフィードバック	Google Chromeのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

◎ リンクや画像をロングタッチすると、ダウンロードやコピーなどの操作が行えます。

■ ブックマーク／履歴を利用する

■ ブックマークを利用する

1 ホーム画面→[🏠]→[⋮]→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

- ブックマークフォルダをロングタッチすると、ブックマークフォルダの編集や削除ができます。
- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除ができます。

■ 履歴を利用する

1 ホーム画面→[🏠]→[⋮]→[履歴]

2 履歴を選択

- 「🔍」をタップすると履歴から検索できます。
- 「🔍」をタップすると選択した履歴を削除します。
- 「閲覧データを削除...」をタップすると履歴やキャッシュなどを削除できます。

マルチメディア

カメラを利用する.....	64
カメラをご利用になる前に.....	64
静止画／動画を撮影する.....	64
カメラを設定する	65
データを利用する.....	66
アルバムを利用する	66
画像を編集する	68

カメラを利用する

カメラをご利用になる前に

- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- ・カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- ・レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画／動画が変色することがあります。
- ・本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画／動画を撮影したり、保存したりすると、静止画／動画が劣化することがあります。
- ・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、静止画／動画が暗くなったり、静止画／動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- ・次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
 - ・長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
 - ・冬の屋外での使用など極端に温度が低い場合
 - ・他のアプリケーションを起動している場合
- ・カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- ・本製品のカメラで撮影した静止画／動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影時にはレンズ部やモバイルライトに指や髪などがつかないようにご注意ください。
- ・蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微かなちらつき)を感知してしまい、画面に薄いしま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ・室内で撮影すると画面が黄色くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスの設定を変更して撮影すると改善されます。
- ・白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスの設定を変更して撮影すると改善されます。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- ・ナードモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- ・モバイルライトを点灯して撮影したときに、レンズ周辺に指やカバーなどがあるとモバイルライトの光が反射して、撮影した写真や動画が白っぽくなる場合があります。
- ・動画を撮影する場合は、マイクを指などでおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレーションが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- ・カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - ・強い逆光のもとにある被写体
 - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返したパターンのある被写体
 - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - ・暗い場所にある被写体
 - ・動きが速い被写体
- ・モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ・動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- ・暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- ・カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1 ホーム画面→[●]

2 本製品のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける

- 画面を上下にスライドすると、明るさを調整できます。
左右にスライドまたはピンチアウト／ピンチインすると、ズームできます。
被写体をタップすると、フォーカスロックできます。
 - ・フォーカスマーク以外をタップすると解除されます。
 - ・「フォーカス設定」を「個別AE／AF」に設定している場合は、露出を合わせたい箇所まで「AE」をドラッグします。

3 [●]／[●(+)]／[●(-)]

- 「個別AE／AF」以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタップしても撮影できます。
[●]／[●(+)]／[●(-)]を1秒以上押すと、静止画を連続撮影できます。

◎ フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画を撮影する

1 ホーム画面→[●]

2 本製品のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける

- 画面を上下にスライドすると、明るさを調整できます。
左右にスライドまたはピンチアウト／ピンチインすると、ズームできます。

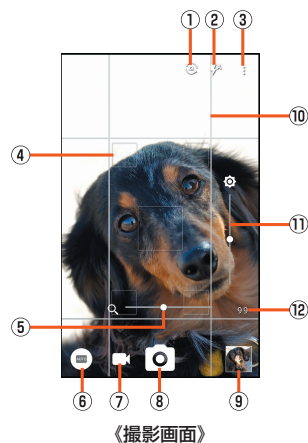
3 [●]

- 動画撮影中に「[●]」をタップ、または[●(+)]／[●(-)]を押すと静止画の撮影ができます。
被写体をタップすると、フォーカスロックできます。
 - ・フォーカスマーク以外をタップすると解除されます。
 - ・「フォーカス設定」を「個別AE／AF」に設定している場合は、露出を合わせたい箇所まで「AE」をドラッグします。
 - ・「個別AE／AF」以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタップすると静止画が撮影されます。

4 [●]

- ◎ 動画撮影中に静止画を撮影した動画の再生について詳しくは、「静止画を含む動画を再生する」(▶P.67)をご参照ください。
◎ アウトカメラでの動画撮影中(「電子式ブレ補正」に設定している場合)に、静止画を続けて複数枚撮影する時は、数秒の間隔が必要となります。「アルバム」アプリの「あとからキャプチャー」(▶P.68)を利用すると、自由な位置で静止画の切り出しをすることができます。

撮影画面の見かた



《撮影画面》

① イン／アウトカメラ切替

② モバイルライト

③ 設定

④ フォーカスマーク

- フォーカスロックしていない場合は、5つのフォーカスマーク(マルチオートフォーカス)が表示され、ピントがあっているときは青色に変わります。「おすすめオート」モードのときや、「フォーカス設定」を「顔優先AF」に設定している場合は、人の顔を検出してフォーカスマークを表示します。

⑤ ズーム

- 被写体を拡大／縮小します。ピンチアウト／ピンチインや左右にスライドで表示／設定できます。

⑥ 撮影モード

⑦ 動画撮影

- 動画を撮影します。

⑧ 静止画撮影

- 静止画を撮影します。

⑨ アルバム／直前に撮影したデータ

直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータの確認などができます。直前に撮影したデータがない場合は、「アルバム」のショートカットを表示します。

⑩ ガイド線

設定したガイド線が表示されます。

⑪ 明るさ調整

明るさを調整します。上下にスライドで表示／設定できます。

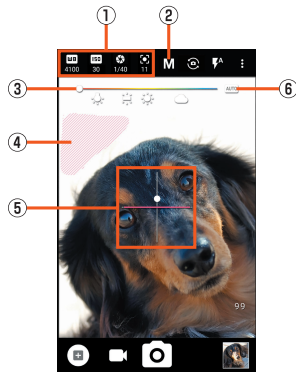
⑫ 撮影可能枚数

撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。

◎ 撮影モードによっては、画面上部に設定変更用のアイコンが表示されます。アイコンをタップすると設定を変更できます。

■ 撮影画面(おすすめプラス)の見かた

操作方法是撮影画面と同様です。ここでは、撮影画面と異なる操作について説明します。



《撮影画面(おすすめプラス)》

① 設定アイコン表示エリア

選択したシーンに応じて、設定アイコンが表示されます。アイコンをタップすると調整バーが表示され、設定を調整することができます。

② 撮影シーン

撮影シーンを切り替えます。

③ 調整バー

ドラッグすると設定を調整できます。

④ 白とび／黒つぶれ表示

「白とび／黒つぶれ表示」をONに設定している場合、白とびや黒つぶれが起る部分にしみ模様を表示します。

⑤ 水準器

撮影画面の傾きを確認できます。

⑥ 自動調整

タップすると、自動調整に切り替わります。

■ 撮影モードを切り替える

撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面→[●]

2 画面左下の撮影モードアイコンをタップ

3 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

おすすめオート	被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
おすすめプラス	撮影シーンを選択すると、シーンに合った設定が自動で反映される撮影モードです。設定は調整することができます。
ハイスピード録画	ハイスピード録画で動画を撮影するモードです。撮影した動画は、アルバムで確認することができます。 ・ハイスピード動画について詳しくは、「ハイスピード動画を再生する」(▶P.67)をご参照ください。
タイムラプス	動画の撮影時にコマ数を少なくして撮影するモードです。
花火撮影	打ち上げ花火の撮影に適したモードです。花火を自動撮影することもできます。
モノクロ	モノクロ撮影するモードです。
背景ぼかし	被写体にピントを合わせ、背景をぼかした静止画を撮影するモードです。
読取カメラ	QRコードやバーコードを読み取ることができます。
手鏡	インカメラを利用して、手鏡のように自分を映します(撮影はできません)。
SHSHOW	カメラ活用のWebページからカメラ活用アプリをダウンロードし、撮影モードの1つとして追加することができます。

カメラを設定する

1 ホーム画面→[●]

2 [●]

■ 静止画撮影の設定をする

3 [写真]

4 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

写真サイズ	静止画のサイズを切り替えます。
ガイド線	撮影画面にガイドを表示できます。
インテリジェントフレーミング	静止画撮影時に、撮影した被写体や背景の位置や角度などにより、構図補正を自動的に行うかどうかを設定します。 ・補正が必要ない場合は、機能は動作しません。 ・補正された場合は、補正前と補正後の2枚の静止画を保存します。確認方法について詳しくは、「構図補正した静止画を表示する」(▶P.67)をご参照ください。
マルチオートフォーカス表示	マルチオートフォーカスを表示するかどうかを設定します。
ISO感度	撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
ワンタッチシャッター	画面をタップして撮影するかどうかを設定します。
光学式手ブレ補正	手ぶれを補正するかどうかを設定します。
インカメラ小顔補正	インカメラ利用時に小顔調整を行う効果レベルを設定します。
インカメラ美肌調整	インカメラ利用時に美肌調整を行う効果レベルを設定します。
インカメラレンズ補正	インカメラ利用時に歪みを抑える画像処理を行うかどうかを設定します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

ISO感度について

◎ 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画質は粗くなります。

■ 動画撮影の設定をする

3 [動画]

4 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

動画サイズ	動画のサイズを切り替えます。
画質とデータ量	動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
手ブレ補正	手ぶれを補正するかどうかを設定します。また、補正方法を選択できます。
マイク設定	音声を録音するかどうかを設定します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ 静止画／動画撮影共通の設定をする

3 [共通]

4 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

フルマニュアル項目選択	おすすめプラスの「フルマニュアル」利用時に、設定アイコン表示エリアに表示するアイコンを選択します。 ・アイコンは4個まで表示できます。
白とび／黒つぶれ表示	白とびや黒つぶれが起こる部分にしみ模様を表示するかどうかを設定します。
水準器	水準器を表示するかどうかを設定します。
HDR	逆光などコントラストが強いシーンで、白とび／黒つぶれを軽減して撮影するかどうかを設定します。
フォーカス設定	被写体に合わせてフォーカスを設定します。
ホワイトバランス	撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定できます。
セルフタイマー	タイマーをセットし自動で撮影するかどうかを設定します。
ちらつき防止	蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしみ模様が出にくくなるように設定します。
保存先設定	保存先を設定します。
位置情報付加	位置情報を付加するかどうかを設定します。
ヘルプ	撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認できます。
PHOTOSHOW (Webページ)	シャープのサイトに接続し、シャープ製スマートフォンを使って撮影された写真を例に、カメラの機能や撮影方法を確認できます。
設定リセット	カメラの設定を初期化します。

データを利用する

アルバムを利用する

データを表示／再生する

データをイベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→「アルバム」

2 「≡」→「カテゴリ区分を選択」

「すべて」／「日付」／「フォルダ」／「イベント」／「場所」から選択します。データを絞り込むときは、「絞り込み」欄から選択します。

3 フォルダ／イベントをタップ→データを選択

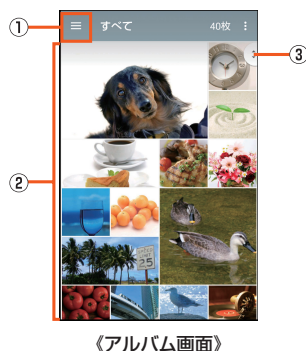
1件表示画面が表示されます。

- 「🔗」をタップすると、データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
- 「🗑️」をタップすると、データを削除します。
- 「🔍」／「🔒」をタップすると、設定するモードによってデータの表示／非表示を切り替えることができます。
- 「▶️」をタップすると、再生アプリを起動します。
- 「🔄」をタップすると、GIFアニメーションを再生します。

ファイル表示時のご注意

- ◎ ファイルが表示されない場合は、アルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続して「¥PRIVATE¥SHARP¥PM¥DATABASE」内のファイルをすべて削除してからご使用ください。
- ◎ データベースファイルを削除した場合、作成されたイベントなどの情報も削除されます。十分にご確認のうえ、操作してください。

■ 画面の見かた



① 表示選択メニュー

表示形式を変更することができます。

② データ／フォルダ／イベント一覧

データをロングタッチするとデータを複数選択できます。選択したデータは削除や共有、表示／非表示の切り替えができます。

③ スクローラー

画面をスクロールすると表示されます。表示されたスクローラーを上下にスライドして画面をスクロールさせることができます。

■ メニューを利用する

1 「≡」→「カテゴリ区分を選択」→「🔍」

データを選択して1件表示画面→「🔍」でもメニューが表示されます。

2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

場所設定	▶P.66「場所ごとに振り分ける」
複数選択	複数のデータをまとめて共有したり、削除したりできます。
他のイベントに移動	データを他のイベントに振り分けます。
このイベントからはすず	データの振り分けを解除します。
イベントに振り分け	データを他のイベントに振り分けます。
イベントを新規作成	データをイベントごとに分類して整理できます。 ・詳しくは、「イベントごとに振り分ける」(▶P.66)をご参照ください。
スライドショー	データをスライドショーで再生します。
画像編集	画像を編集します。 ・詳しくは、「画像を編集する」(▶P.68)をご参照ください。
画像を登録	選択したデータを「ディスプレイ」の「壁紙」や電話帳に登録します。
イベント振り分け	データをイベントごとに分類して整理できます。 ・詳しくは、「イベントごとに振り分ける」(▶P.66)をご参照ください。
イベント名変更	登録済みのイベント名を変更できます。

日付変更	イベントに設定された日付を変更します。
このイベントを削除	イベントを削除します。データは「未設定」に移動します。
場所未設定一覧	場所を設定されていないデータを表示します。
印刷	画像を印刷したり、PDF形式で保存できます。
画像の表示／非表示	データの表示／非表示を設定したり、チュートリアルを確認したりできます。 ・詳しくは、「データの表示／非表示モードを利用する」(▶P.67)をご参照ください。
並べ替え	データの表示順を変更します。
設定	サムネイル表示切替 サムネイル表示の方法を設定します。 Google フォトの表示 Google フォト™にバックアップしたデータについて設定します。 スライドショー設定 スライドショーについて設定します。 動画の写真を表示 動画撮影中に撮影した静止画を表示するかどうかを設定します。 ディテールアップ 超解像技術を用いて画像をくっきり、美しく表示させるかどうかを設定します。 キャッシュの削除 本製品の画像情報を再取得し、表示の更新とキャッシュファイルを削除します。 おすすめ画像の一括削除 「インテリジェントフレーミング」により構図補正された画像(おすすめ画像)をすべて削除します。 利用規約・プライバシーポリシー アルバムアプリの利用規約やプライバシーポリシーを表示します。
ファイル管理	ファイル管理画面が表示されます。データのコピーや移動などができます。
プロパティ	データのプロパティを表示します。

データを振り分ける

■ イベントごとに振り分ける

データをイベントごとに分類して整理できます。ここでは、イベントを新規に作成してデータを振り分ける手順を説明します。

1 ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→「アルバム」

2 「≡」→「イベント」

3 「🔍」→「イベントを新規作成」

4 振り分けるデータを選択→「作成」

5 「イベント名を入力する」→イベント名を入力→「OK」→「作成」

◎ イベントを選択して「🔗」→「他のイベントにも登録」、「他のイベントに移動」をタップすると、既存のイベントに振り分けることができます。

■ 場所ごとに振り分ける

データを場所ごとに分類して整理できます。位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→「アルバム」

2 「≡」→「場所」

3 「🔍」→「場所設定」

位置情報の付加されていないデータと地図が表示されます。

4 振り分けるデータをロングタッチ→登録する位置にドラッグして、指を離す→「OK」

地図上にタグが追加されます。

データの表示／非表示モードを利用する

すべてのデータを表示する表示モードと、あらかじめ設定したデータを非表示にする非表示モードを利用できます。

データの表示／非表示を設定する

非表示モードでデータを非表示にするかどうかを設定します。
・非表示モードのときは設定できません。表示モードで設定してください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「アルバム」

■データごとに設定する場合

2 データを選択

3 [⊙] / [⊙]

「⊙」が表示、「⊙」が非表示を表します。データを非表示に設定すると、アルバム画面のサムネイルにも「⊙」が表示されます。

■複数のデータをまとめて設定する場合

2 データをロングタッチ→ほかのデータを選択

3 [⋮]→「非表示画像にする」／「表示画像にする」→「はい」

◎ 画像や動画の非表示設定は、「アルバム」アプリでのみ有効です。画像や動画を非表示に設定していても、他のアプリでは表示されます。

表示モードを切り替える

表示モード／非表示モードを切り替えます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「アルバム」

2 [⋮]→「画像の表示／非表示」

3 「非表示モードへ切替」／「表示モードへ切替」

非表示モードのときは、アルバム画面上部の色が薄い灰色に変わります。

構図補正した静止画を表示する

「カメラ」アプリで撮影した静止画が「インテリジェントフレーミング」により構図補正された場合、保存された静止画のサムネイルには「」が表示されます。補正前と補正後の2枚の静止画を切り替えて確認できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「アルバム」

2 静止画を選択

「」をタップすると、静止画の切替画面が表示されます。確認したい静止画をサムネイルで選択できます。
・静止画の削除や編集は、それぞれの静止画に対して行うことができます。
・アルバム画面のサムネイルには、★(黄色)のある静止画が表示されます。「★(灰色)」をタップして切り替えることができます。
・「」をタップすると、補正後の画面を補正前の画像とは別の画像として保存します。

◎ 本製品の電源を入れた直後に「アルバム」アプリを起動した場合など、が表示されない場合があります。しばらくしてから「アルバム」アプリを起動し直してください。

静止画を含む動画を再生する

撮影中に静止画を撮影した動画のサムネイルには「」が表示されます。
また、動画撮影中に撮影された静止画の1件表示画面にも「」が表示されます。
・動画再生時に静止画を表示したり、静止画の管理などを行うことができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「アルバム」

2 静止画を含む動画を選択→「▶」

動画撮影中に撮影された静止画を選択→「」と操作しても再生できます。
・「写真も再生」を有効にすると、動画再生時に撮影した静止画を表示します。
・「この動画の写真を見る」をタップ、または動画再生中に画面を上をスワイプすると、静止画の確認や削除などができます。

ハイスピード動画を再生する

ハイスピード録画で撮影した動画を、なめらかに再生したりスローで再生することができます。ハイスピード録画で撮影した動画のサムネイルには「120fps」/「240fps」が表示されています。

・ハイスピード録画で撮影した動画は、本製品にプリセットされている再生プレーヤーにて再生してください。他のプレーヤーやパソコンなどを利用すると、正しく再生できない場合があります。

ハイスピード動画をなめらか再生する

・あらかじめ利用するアプリケーションの「なめらかハイスピード表示」をONにしておいてください(▶P.29「なめらかハイスピード表示を利用する」)。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「アルバム」

2 ハイスピード録画で撮影した動画を選択→「▶」

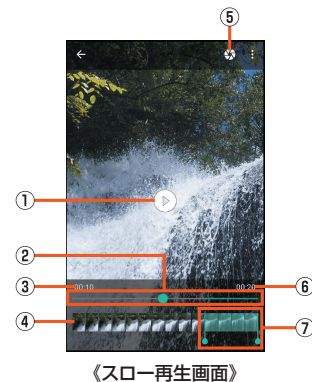
アプリケーションの選択画面が表示された場合は、本製品にプリセットされている再生プレーヤーを選択してください。

ハイスピード動画をスロー再生する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「アルバム」

2 ハイスピード録画で撮影した動画を選択→「SLOW」

スロー再生画面が表示されます。
初回起動時にはアプリについての説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。



- 1 再生／一時停止
- 2 シークバー
スロー再生範囲に設定した範囲が緑色で表示されます。
- 3 再生時間
- 4 サムネイル
- 5 静止画キャプチャー
表示しているフレームを静止画として保存します。
- 6 総再生時間
- 7 スロー再生範囲
一時停止中に表示されます。サムネイルをタップするとスロー再生範囲を追加できます。「」をドラッグしてスロー再生する範囲を設定します。

スロー動画をエクスポートする

スロー再生範囲がスロー再生される動画として保存します。保存した動画は、他のプレーヤーで再生できます。

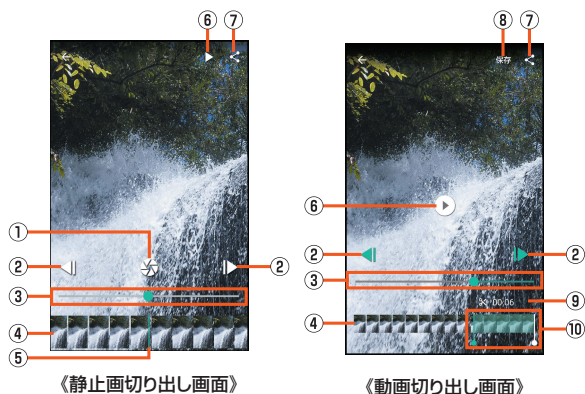
1 スロー再生画面→「⋮」→「エクスポート」

2 動画全体をエクスポート	動画全体をエクスポートします。
スロー範囲をエクスポート	スロー再生範囲をエクスポートします。 ・スロー再生範囲が複数ある場合、最初のスロー再生範囲から最後のスロー再生範囲までが、通常の再生部分も含めてエクスポートされます。

あとからキャプチャーを利用する

動画の中から静止画や動画を切り出して保存することができます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[アルバム]
- 2 動画を選択
- 3 [⌂]→[静止画切り出し]／[動画切り出し]



- 1 静止画切り出し
表示しているフレームを静止画として保存します。
- 2 コマ戻し／コマ送り
1コマ前／先のフレームを表示します。
- 3 シークバー
シークバーをドラッグすると表示位置を変更できます。
- 4 サムネイル
表示位置
現在表示しているフレームの位置を表します。
・サムネイルをドラッグすると表示位置を変更できます。
- 5 再生／一時停止
- 6 共有
静止画／動画の切り出しが行われ、保存されたデータをBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。
- 7 動画切り出し
選択している範囲を別の動画として保存します。
- 8 再生時間
切り出す動画の再生時間を表示します。
- 9 動画切り出し範囲
「⏮」／「⏭」をドラッグして切り出す範囲を設定します。

画像を編集する

例：アルバムから起動する場合

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[アルバム]
- 2 画像をロングタッチ→[画像編集]→[画像編集]→[1回のみ]
「フォト」アプリで編集する場合は、画像をロングタッチ→[画像編集]→[フォト]→[1回のみ]と操作し、画面に従って操作してください。
編集するアプリケーションを選択した後「常時」をタップすると、次回から同じアプリケーションが起動します。

3	✂	画像のトリミングなどの処理をします。
	👤	画像に写っている顔に処理をします。
	📏	画像の縁取りをします。
	🎨	画像の色味を調整します。
	🔍	明るさやコントラストなどを調整します。

- 4 [保存]

◎ 画像サイズによっては、選択できない項目があります。

フルセグ／ワンセグ

フルセグ／ワンセグについて	70
シャープ TVアンテナケーブルQ2を接続する	70
テレビの初期設定をする	70
テレビ番組を見る	71
番組表を利用する	71
チャンネルリストを切り替える	72
TVリンクを利用する	72
テレビ番組を録画する	72
テレビ番組を視聴予約／録画予約する	72
録画したテレビ番組を再生する	73
テレビの設定をする	73

フルセグ／ワンセグについて

テレビは、放送波の受信状態に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリケーションです。

フルセグは地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴したり、データ放送を受信することができます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。

「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<http://www.apab.or.jp/>

■フルセグ／ワンセグ利用時のご注意

- フルセグ／ワンセグの利用には、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- フルセグ／ワンセグ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。
- 海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はフルセグ／ワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 本製品は地上デジタルテレビジョン放送のコンテンツ権利保護のための仕組みとして、「コンテンツ権利保護専用方式」(ソフトウェア方式)を採用しています。そのため、B-CASカードなどは不要です。
- 本製品で録画したフルセグ番組は、他の機器に持ち出して再生することができません。
- 「コンテンツ権利保護専用方式」(ソフトウェア方式)に関するお問い合わせは、一般社団法人地上放送RMP管理センターにご確認ください。
ホームページ: <http://www.trmp.or.jp/>
メールアドレス: info-trmp@trmp.or.jp

■フルセグデータ放送利用時のご注意

- データ放送の双方向通信などで本端末に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 同一番組のデータ放送であっても、視聴エリアを移動した場合、データ放送の蓄積データが引き継がれない場合があります。
- フルセグデータ放送はリモコンまたはジェスチャー操作でのみ操作できます。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■テレビアンテナについて

テレビを利用(視聴／録画)する場合は、本製品に付属のシャープ TVアンテナケーブル02を本製品のイヤホンマイク端子に接続してください。

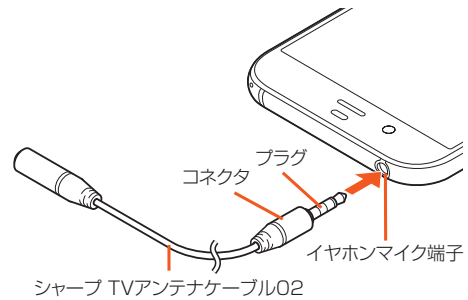
■電池残量による動作

電池残量が■(残量約10%)未満になるとテレビを起動できません。また、テレビ番組を録画中の場合は、それまでに録画した内容を保存し、録画が停止します。テレビ起動中に電池残量が■(残量約5%)未満になると、自動的にテレビが終了します。

シャープ TVアンテナケーブル02を接続する

テレビを利用(視聴／録画)する場合は、シャープ TVアンテナケーブル02を接続してください。

1 イヤホンマイク端子にシャープ TVアンテナケーブル02のプラグを差し込む



- ◎ テレビの音声をスピーカーから出力する場合は、本製品にシャープ TVアンテナケーブル02のみ接続してください。市販のイヤホンから音声を出す場合はシャープ TVアンテナケーブル02にイヤホンを接続してください。
- ◎ テレビの受信状態が悪いときは、シャープ TVアンテナケーブル02の向きを変えたり、本製品を人体から離したり、場所を移動したりすると改善することがあります。

テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するチャンネルリストを設定します。設定が完了すると、テレビ番組を見ることができます。

- 1 ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→[ツール]→[テレビ]**
使用許諾画面やワンセグの受信状態に関する確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- 2 [地域を選んで作成]**
地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」をタップし、画面に従って操作してください。
- 3 地方を選択**
- 4 都道府県を選択**
- 5 地域を選択**
放送局の検索が開始されます。
- 6 [完了]**

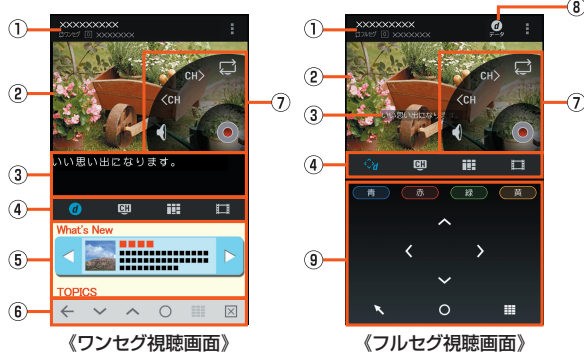
テレビ番組を見る

テレビ番組を視聴する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「テレビ」

- フルセグを横画面で視聴しているときは、リモコンを表示しなくてもタッチパネル上の特定の指の動きでリモコンと同様の操作ができる、ジェスチャー操作を利用することができます。[リモコン]→[ジェスチャーをしてみる]でジェスチャー操作ガイドを確認できます。
- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が入り切れたり、止まったりする場合があります。
- テレビ起動中はカメラを使用できません。

■ 視聴画面の見かた



- 1 番組情報**
タップすると番組詳細画面が表示されます。
- 2 映像**
タップするとコントローラーなどを一時的に表示します。
左右にスライド/フリックするとチャンネルを切り替えられます。
- 3 字幕**
- 4 情報表示エリア切替バー**
 - ①: ワンセグ視聴中の場合にデータ放送を表示
 - ②: フルセグ視聴中の場合にデータ放送の操作用リモコンを表示
 - ③: 放送局一覧を表示
表示された放送局を選択すると、チャンネルを切り替えます。
 - ④: 視聴中のチャンネルの番組表を表示
表示された番組をタップすると、番組詳細画面を表示します。
 - ⑤: 録画データ一覧を表示
表示された録画データをタップすると、録画再生画面を表示します。
- 5 情報表示エリア**
- 6 情報表示エリア操作パネル**
 - ←: 前ページに戻る
 - ▽/△: カーソル移動
 - : 項目の選択
 - ⋮: テンキーパネルを表示
 - ⊞: データ放送トップページを表示
- 7 コントローラー**
映像をタップすると表示されます。
 - ①: ワンセグ/フルセグ切替画面を表示
 - ②: <CH/>: チャンネルの切替、ロングタッチでチャンネル検索
 - ③: ④: 消音/消音解除、ロングタッチで音量調節バーを表示
 - ⑤: ⑥: 録画を開始/停止
- 8 データ放送表示切替**
フルセグ視聴中にデータ放送の表示/非表示を切り替えます。
- 9 リモコン**
 - 青/赤/緑/黄: 各色のボタンにあわせた項目を選択
 - ①/②/③/④: カーソル/項目移動
 - ⑤: 前ページに戻る
 - ⑥: 選択された項目を決定
 - ⑦: テンキーパネルを表示

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。

- データ放送を見る場合は、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、データ通信料がかかります。
- ワンセグとフルセグではデータ放送の表示位置が異なります。
 - ・ワンセグ視聴時: 情報表示エリアにデータ放送を表示
 - ・フルセグ視聴時: 映像内にデータ放送を表示

視聴画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「テレビ」

2 [■]

- 3 • メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

テレビ終了	テレビを終了します。
ワンセグフルセグ切替	ワンセグ/フルセグを切り替えます。また、自動で切り替えるように設定できます。
番組表	視聴中のチャンネル ▶P.71「視聴中のチャンネルの番組表を利用する」 Gガイド ▶P.71「auテレビ.Gガイドを利用する」
録画一覧	▶P.73「録画したテレビ番組を再生する」
予約一覧	▶P.72「テレビ番組を視聴予約/録画予約する」
映像/音声/字幕設定	映像切替 映像を設定します。 音声多重切替 主音声/副音声を設定します。 音声切替 音声の出力種別を設定します。 字幕切替 字幕の表示方法を設定します。
チャンネル設定	チャンネルサーチ チャンネルを検索します。 サービス選局 受信中のチャンネルが複数サービス中の場合、視聴するサービスを選択できます。 3桁番号選局 番組表などに記載されている、3桁の番号を入力して選局できます。 チャンネルリスト切替 ▶P.72「チャンネルリストを切り替える」 チャンネルリスト編集 ▶P.72「チャンネルリストを切り替える」 チャンネル個別登録 視聴中のチャンネルを選択したりリモコン番号に登録できます。
設定	▶P.73「テレビの設定をする」
TVリンク	▶P.72「TVリンクを利用する」

番組表を利用する

視聴中のチャンネルの番組表を利用する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「テレビ」

2 [■]→「番組表」→「視聴中のチャンネル」

番組表画面が表示されます。

3 番組を選択

番組詳細画面が表示されます。
「予約」をタップすると、番組の視聴/録画を予約できます。

番組表画面のメニューを利用する

1 番組表画面→[■]

メモリ残量	本体メモリとmicroSDメモリーカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。
-------	--

auテレビ.Gガイドを利用する

auテレビ.Gガイドを利用できます。番組表から視聴画面の表示や視聴/録画の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。
- 「auテレビ.Gガイドプレミアム(月額200円、税抜)」にご登録いただくと、auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用することができます。ここでは、無料で利用できる機能について説明しています。
- auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド Android 9 Pie対応版』をご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「テレビ」

2 [■]→「番組表」→「Gガイド」

Gガイド番組表画面が表示されます。
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「auテレビ.Gガイド」→「番組表」でも同様に操作できます。
番組表を初めて起動したときは、登録画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 番組を選択

Gガイド番組詳細画面が表示されます。
番組情報の確認や視聴画面の表示、視聴/録画の予約などができます。

- ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「auテレビ.Gガイド」と操作すると、auテレビ.GガイドのTOPページが表示されます。テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。

チャンネルリストを切り替える

お使いの地域によって受信チャンネルは異なります。チャンネルリストを登録し、お使いの地域に合わせて切り替えることができます。チャンネルリストは3件まで登録できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「テレビ」

2 [■]→「チャンネル設定」

■登録済みのチャンネルリストに切り替える場合

3 「チャンネルリスト切替」→登録済みのチャンネルリストを選択

チャンネルリストが切り替わります。

■チャンネルリストを登録する場合

3 「チャンネルリスト編集」

チャンネルリスト編集画面が表示されます。

- 登録済みのチャンネルリストを選択すると、チャンネルリストの内容を確認できます。
- 登録済みのチャンネルリストをロングタッチすると、チャンネルリストの削除や再スキャン、名前の変更ができます。

4 「作成」

5 「地域を選んで作成」

地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」をタップし、画面に従って操作してください。

6 地方を選択

7 都道府県を選択

8 地域を選択

放送局の検索が開始されます。

9 「完了」

TVリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(TVリンク)が表示される場合があります。TVリンクを登録すると、後で関連サイトに接続できます。

- TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「テレビ」

2 [■]→「TVリンク」

TVリンクリスト画面が表示されます。

3 TVリンクを選択→「接続」

リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

- テレビリンクをロングタッチすると、テレビリンクを削除することができます。また、TVリンクリスト画面→[■]→「選択して削除」と操作すると、テレビリンクを選択して削除できます。

テレビ番組を録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

電池残量が■(残量約20%)未満の場合は録画を開始できません。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「テレビ」

2 映像をタップ→[●]

3 録画時間を選択

番組情報に●が表示され、録画が開始されます。

録画を停止する場合は、映像をタップ→[●]→[OK]と操作します。

- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、電波の受信状態が悪くなった場合は、録画が途中で終了する場合があります。
- 録画保存できる最大ファイルサイズはワンセグの場合、約2GB、連続録画可能時間は約10時間です。フルセグの場合は、保存先の容量によって異なります。
録画予約は23時間59分まで可能ですが、最大ファイルサイズ、または連続録画可能時間になると録画は停止します。
なお、電波状態の変化によって録画と一時停止が繰り返された結果、録画開始日時から連続録画可能時間を経過しても録画が継続される場合があります。このとき、ファイルサイズが最大ファイルサイズに満たない状態であっても、録画開始日時の約24時間後には録画が停止します。
- 本体メモリには、フルセグ/ワンセグの録画データをそれぞれ99件まで保存できます。microSDメモリカードには、フルセグの録画データを99件まで保存できます。
- 録画中は、チャンネルの切り替えはできません。
- 録画中に別の機能を利用しても録画は継続されます(バックグラウンド録画)。
- 録画中にアプリ使用履歴画面の使用履歴からテレビを終了させると、録画は停止します。

テレビ番組を視聴予約／録画予約する

テレビ番組の視聴予約や録画予約ができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「テレビ」

2 [■]→「予約一覧」

視聴／録画予約画面が表示されます。

- 登録済みの予約を選択すると、予約の内容を確認できます。
- 登録済みの予約をロングタッチすると、予約内容の編集や削除ができます。

[視聴／録画予約]→[録画予約結果]と操作すると、すでに終了した予約内容を確認できます。

3 「予約」→「手動で予約」

[Gガイドから予約]をタップするとauテレビ.Gガイドから視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。

- 詳しくは、「auテレビ.Gガイドを利用する」(▶P.71)をご参照ください。

4 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

予約の種類	予約の種類を設定します。
タイトル	タイトルを登録します。
放送局名	放送局名を設定します。
開始日	開始日を設定します。
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
くりかえし	予約の繰り返しを設定します。

5 「完了」

■視聴予約した時刻になると

「アラーム設定」の設定に従って通知し、確認画面が表示されます。画面に従って操作してください。

■録画予約した時刻になると

設定した時刻になると予約した番組を録画します。「アラーム設定」の「録画アラーム」の設定に従って通知します。

- 予約した録画を実行中はアプリ使用履歴画面の使用履歴からテレビを終了させても、録画は停止しません。

■視聴／録画予約画面のメニューを利用する

1 視聴／録画予約画面→[■]

選択して操作	選択した予約内容を編集や削除します。
メモリ残量	本体メモリとmicroSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。

録画したテレビ番組を再生する

録画したテレビ番組を再生できます。操作方法は視聴画面と同様です。ここでは、視聴画面と異なる操作について説明します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[テレビ]

2 [録画]→[録画一覧]

録画一覧画面が表示されます。

- フルセグの録画データには「HD」が表示されます。microSDメモリカードに保存されている録画データには「S」が表示されます。
- 録画データをロングタッチすると、録画データの削除や録画番組詳細画面の表示、タイトルの変更ができます。

3 録画データを選択

再生が開始されます。

■ 再生画面の見かた



《再生画面》

① 番組情報

タップすると録画番組詳細画面が表示されます。

② 映像

タップするとコントローラーなどを一時的に表示します。

③ 字幕

フルセグ録画データを再生中の場合は、映像内に字幕が表示されます。ワンセグ録画データを再生中の場合は、映像の下部に字幕欄が表示され、字幕が表示されます。

④ 現在の再生時間／総再生時間／再生位置

映像をタップすると表示されます。

⑤ コントローラー

映像をタップすると表示されます。

▶ / ◀ : 約15秒先の位置にスキップ / 約5秒前の位置にバック

▶※1 / ◀※1 : 早送り / 早戻し

▶ / || / ◀※2 : 再生 / 一時停止 / 先頭から再生

※1 タップするたびに、早送り / 早戻しの速度が変わります。

※2 再生完了後に表示されます。

■ 録画一覧画面のメニューを利用する

1 録画一覧画面→[録画]

選択して操作	選択した録画データの削除や録画番組詳細画面の表示、タイトルの変更を行います。また、本体メモリに保存しているフルセグの録画データを選択すると、microSDメモリカードに移動できます。
メモリ残量	本体メモリとmicroSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。

■ 再生画面のメニューを利用する

1 再生画面→[録画]

テレビ終了	テレビを終了します。
録画番組詳細	録画番組詳細画面を表示します。
音声／字幕設定	音声多重切替 主音声／副音声を設定します。 字幕切替 字幕の表示方法を設定します。
設定	テレビの設定をします。 ・詳しくは、「テレビの設定をする」(▶P.73)をご参照ください。

テレビの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[テレビ]

2 [録画]→[設定]

コントローラー表示位置	コントローラーの表示位置を設定します。
ワンセグ／フルセグ受信設定	ワンセグ／フルセグを受信するか、バッテリー消費を抑えてワンセグだけ受信するかを設定します。
文字スーパー設定	フルセグ受信時の文字スーパーについて設定します。
データ放送設定	通信接続時の確認 通信開始時に確認画面を表示するかどうかを設定します。 位置情報設定 位置情報の利用について設定します。 製造番号の利用 製造番号を利用するかどうかを設定します。 利用地域設定 フルセグのデータ放送に表示される地域情報を設定します。 ワンセグ放送局メモリ初期化 ワンセグ放送局メモリを初期化します。 フルセグ放送局メモリ初期化 フルセグ放送局メモリを初期化します。
アラーム設定	視聴アラーム 視聴予約開始時刻のどのくらい前にお知らせするかを設定します。 アラーム音量 お知らせ時のアラーム音量を設定します。 録画アラーム 視聴予約と同じ内容で、録画予約もお知らせするかどうかを設定します。
オフタイマー設定	テレビを自動で終了するまでの時間を設定します。
録画設定	フルセグ録画時の保存先や、フルセグ録画時にデータ放送も合わせて録画するかどうかを設定します。
CAS情報の初期化	フルセグの受信で記録された情報を初期化します。
製品情報	テレビのバージョンとプライバシーポリシーを表示します。

アプリケーション

おサイフケータイ®について	76
NFCを利用する	77
NFC／FeliCaに対応したサービスを利用する.....	77
タップ&ペイを利用する.....	77
auサービスTOPを利用する	77
auスマートパスを利用する.....	78
My au (auお客さまサポート)を利用する	78
auスマートサポートを利用する	78
位置検索サポートを利用する	78
遠隔操作サポートを利用する	78
故障紛失サポートを利用する.....	78
あんしんフィルター for auを利用する	79
QR・バーコードリーダーを利用する	79
au Wi-Fi接続ツールを利用する.....	79
Google Playを利用する	80
COCORO BOOKSを利用する	80

おサイフケータイ®について

おサイフケータイ®とは

おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa®を含む非接触ICカード機能やリーダー/ライター(R/W)機能、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。

おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。

なお、ご利用にあたっては、auホームページをあわせてご参照ください。

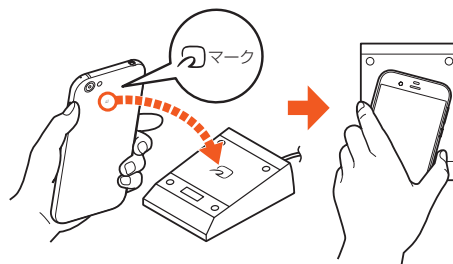
<https://www.au.com/mobile/service/osaifu/support/caution/>

おサイフケータイ®のご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけないことがあります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー/ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、おサイフケータイ®の一部機能を利用できません。
 - 機内モード中
 - au ICカードが挿入されていない場合

リーダー/ライターとデータをやりとりする

マークをリーダー/ライターにかざすだけでFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータをやりとりできます。



- マークをリーダー/ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー/ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー/ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー/ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

- ◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー/ライターとのデータの読み書きができます。
- ◎ 本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用になります。
- ◎ 「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定している場合は、ご利用いただけません。

おサイフケータイ®を設定する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]

2 [接続の設定]→[NFC/おサイフケータイ 設定]

3 NFC/おサイフケータイ ロック	▶P.77「おサイフケータイ®の機能をロックする」
Reader/Writer, P2P	▶P.77「Reader/Writer, P2P機能を有効にする」
Android Beam	Androidビーム (Reader/Writer, P2P) を利用したデータ通信ができます。 Androidビームについて詳しくは、「Androidビームでデータを送受信する」(▶P.77)をご参照ください。
タップ&ペイ	▶P.77「タップ&ペイを利用する」
ロックNo.変更	「NFC/おサイフケータイ ロック」のロックNo.を変更します。 ロックNo.を入力→[OK]→新しいロックNo.を入力→[OK]→もう一度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると変更できます。
ロックNo.初期化	「NFC/おサイフケータイ ロック」のロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 PINロック解除コードを入力→[OK]→新しいロックNo.を入力→[OK]→もう一度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると再設定できます。

ロックNo.初期化について

- ◎ PINロック解除コードについて詳しくは、「PINコードについて」(▶P.15)をご参照ください。

■おサイフケータイ®の機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定すると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。

- ・「NFC／おサイフケータイ ロック」は、画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]

2 [接続の設定]→[NFC／おサイフケータイ 設定]→[NFC／おサイフケータイロック]

3 [次へ]→ロックNo.を入力→[OK]→[OK]

- おサイフケータイ®の機能がロック／解除されます。
- ・おサイフケータイ®をロックすると、ステータスバーにが表示されます。

- ◎ 「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- ◎ 「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.とFeliCaチップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。
- ◎ ロックNo.はau ICカードに保存され、本製品から取り外してもau ICカード内に保持されます。ロックNo.については、「各種暗証番号について」(P.15)をご参照ください。
- ◎ 本製品を紛失してしまった場合は、「位置検索サポート」により、遠隔操作でロックをかけることができます。詳しくは、「位置検索サポートについて」(P.78)をご参照ください。

NFCを利用する

Reader/Writer, P2P機能を有効にする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]

2 [接続の設定]→[NFC／おサイフケータイ 設定]→[Reader/Writer, P2P]

- 「Reader/Writer, P2P」の有効／無効を切り替えることができます。
- ・「Reader/Writer, P2P」を有効に設定すると、ステータスバーにが表示されます。

- ◎ 「Reader/Writer, P2P」を有効にすると「Android Beam」が有効になります。「Android Beam」を有効にすると、NFC搭載機器との間で、ウェブページやYouTubeのURL、連絡先などを共有することができます。
- ◎ 非接触ICカード機能は、「Reader/Writer, P2P」の有効／無効にかかわらず利用できます。
- ◎ 「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中は、「Reader/Writer, P2P」を有効にできません。

Androidビームでデータを送受信する

NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroidビームを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した静止画や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

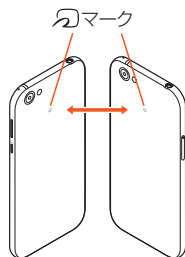
- ・データを送受信するにはあらかじめ「Reader/Writer, P2P」を有効にし、「Android Beam」を「ON」に設定しておいてください。
- ・すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■データを受信する

1 相手機器からデータ送信

2 相手機器と、マークを向かい合わせる

- データを受信すると、受信データに対応するアプリが起動します。静止画や動画、音楽などのデータを受信した場合は、ステータスバーにが表示されることがあります。ステータスバーを下にスライドし、「ビーム完了」をタップすると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。



■データを送信する

例：電話帳を送信する場合

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[電話帳]→送信する連絡先を選択

2 相手機器と、マークを向かい合わせる

3 送信するデータをタップ

- ◎ アプリケーションによってはAndroidビームをご利用になれません。
- ◎ 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度かざしてください。

NFC／FeliCaに対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[おサイフケータイ]

- サービス一覧画面が表示されます。
- 初期設定画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスを選択

- サービスに対応したアプリをダウンロードしてから、またはサービス紹介サイトから、画面の指示に従って操作してください。

タップ&ペイを利用する

おサイフケータイ®対応サービスでの決済カードの選択ができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]

2 [接続の設定]→[NFC／おサイフケータイ 設定]→[タップ&ペイ]

3 利用したいサービスを選択

- 利用したい決済カードを選択してください。

auサービスTOPを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデ일리ーツールはもちろん、「auスマートパス」や「au WALLET」などのauの様々なサービスを最大限活用するためのポータルアプリです。WALLET ポイントが当たるコンテンツやお得なプレゼント情報などをご案内します。

- ・利用方法、最新のお知らせについては、「サービスTOP」アプリをご参照ください。
- ・ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料 定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ・一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[auサービス]→[サービスTOP]

- auサービスTOPのホーム画面が表示されます。
- ・auサービスTOPのご利用にはau IDのログインが必要です。au IDについては詳しくは、「設定ガイド Android 9 Pie対応版」をご参照ください。
- ・初めて起動したときは、基本設定画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ・ニュース、天気、乗換などのデ일리ーツールやポイントガチャ、au WALLET情報、各種auサービスの特典情報などが表示されます。
- ・設定内容は「メニュー」→[設定]と操作して変更ができます。

- ◎ お客様が操作していない場合でも自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- ◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- ◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

auスマートバスを利用する

「auスマートバスプレミアム」/「auスマートバス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんなにスマホライフを提供します。

- ・利用方法、最新のお知らせについては、「auスマートバス」アプリをご参照ください。
- ・ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ・一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「auサービス」→「auスマートバス」

auスマートバスTOPページが表示されます。

- ・「auスマートバス」アプリのご利用にはau IDのログインが必要です。au IDについて詳しくは、『設定ガイド Android 9 Pie対応版』をご参照ください。
- ・初めて起動したときは、利用権限の概要、初期設定などの画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ・設定内容はサイドメニュー*の「設定」から変更ができます。

※ サイドメニューを表示するには画面左下の「メニュー」をタップしてください。

My au (auお客さまサポート) を利用する

月々のご請求金額やデータ通信量(ギガ)を簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「サポート」→「My au」

My auのトップ画面が表示されます。

- ・初めて起動したときは画面の指示に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択

現在のご利用状況、ご請求金額、ご契約内容の確認や、各種お手続きができます。

◎「端末管理アプリ」を有効にする画面や利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

auスマートサポートを利用する

■ auスマートサポートでできること

24時間365日体制*1のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「遠隔操作サポート(リモートサポート)」アプリケーションを利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。

その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅*2に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本*3」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

- ・ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)でご確認ください。

※1 22時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

※2 訪問先はおお客様のご契約住所に限りです。

※3 本のプレゼントは一回限りとなります。

◎「遠隔操作サポート」のご利用にあたっては、「遠隔操作サポートを利用する」(▶P.78)をあわせてご参照ください。

位置検索サポートを利用する

位置検索サポートについて

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。

※本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、auスマートサポートまたはauスマートバス、故障紛失サポートのいずれかへの加入が必要です。

◎ご利用の際には「端末管理アプリ」で「My au」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。

◎My auのアプリ上で位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した基地局から推測される位置情報およびGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上のご注意

- ・My auに本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、GPS情報による位置検索をご利用いただけません。アプリに権限を許可する方法について詳しくは、「アプリの権限を設定する」(▶P.31)をご参照ください。
- ・サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

遠隔操作サポートを利用する

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

※ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートバス、故障紛失サポートのいずれかへの加入が必要です。

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートバス会員は局番なしの157番(au電話から/通話料無料)、0077-7-111(一般電話から/通話料無料)までご連絡ください。

auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「au設定」→「au設定メニュー」→「コミュニケーションが遠隔操作でサポート」

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「サポート」→「遠隔操作サポート」と操作しても遠隔操作サポートを起動できます。

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

故障紛失サポートを利用する

「故障かな?」と思ったときのクイック診断、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートする便利なアプリです。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「サポート」→「故障紛失サポート」

トップメニュー画面が表示されます。

- ・初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2	クイック診断してみる	お客様ご自身で診断することができます。調子が悪いと思ったら診断してください。
	交換申し込み*1	オンライン交換受付のログイン画面をワンタッチで呼び出します。
	データ移行	ご利用の機種に対応したデータ移行アプリを起動します。
	便利な機能*2	トラブル診断を試す 調べたい項目を選択していくと、トラブルの対処方法が見つかります。 各種設定 定期クリーニング通知やお知らせ通知で定期的に診断のお知らせをします。 診断履歴 診断した履歴情報を確認することができます。

※1 ご加入条件により表示される内容は異なります。

※2 主な機能のみ記載しております。

◎各機能利用中にトップメニュー画面に戻るときは画面右上の「戻る」をタップしてください。なお、クイック診断ご利用中はトップメニュー画面へ戻れません。

あんしんフィルター for auを利用する

お子さまにスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブサイトへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングサービスです。

お子さまの年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブサイトやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

また、保護者が指定した相手先へのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限したりすることもできます。

・au IDでご利用の場合はau IDが必要です。au IDの設定方法については、『設定ガイド Android 9 Pie対応版』をご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→「あんしんフィルター for au」

初めて起動したときは、アクセス権限の同意画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 「au電話番号でログイン」／「au IDでログイン」→画面の指示に従って操作

※ご利用になるお子さまのau電話番号もしくはau IDでログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	スマホを初めて使うお子さまや操作に少し慣れたお子さま向け [制限対象] ゲーム／動画／音楽、懸賞、成人娯楽、SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
中学生	スマホの操作におおむね慣れたお子さま向け [制限対象] 懸賞、成人娯楽、SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
高校生	スマホ利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象] SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
高校生プラス	SNS利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象] 出会い、アダルトなど

5 「規約に同意してサービスを利用開始する」

利用規約を必ずご確認ください。

6 「位置情報、利用情報の取得・利用について」の内容を確認→[はい]

「いいえ」を選択するとエリア検索など一部の機能が利用できません。

7 「利用登録が完了しました」の表示を確認→[OK]

「機器管理機能(端末管理アプリ)」を有効にする画面が表示されます。

8 「この端末管理アプリを有効にする」

ウェブサイトが表示されます。
以降は「あんしんフィルターアプリ」をブラウザアプリとしてご利用ください。

■ 管理者情報を登録する

お子さまのスマホで設定してください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→「あんしんフィルター for au」

2 「ここをタップして、あんしんフィルター for auの管理者IDを登録してください。」をタップ

管理者登録の設定画面が表示されます。

・[]→[管理者登録]と操作しても管理者登録の設定画面を表示することができます。

3 仮パスワードを入力→仮パスワードを照会する

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「an shin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

保護者の方のPCまたはスマホからご利用ください。保護者が遠隔で、お子さまのスマホの設定を行うことができます。

1 メールで受信した「管理者ページURLのご連絡」に記載している管理者ページのURLをタップ

<https://an shin-access.netstar-inc.com/>

2 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

3 管理者メニューを表示

主な機能

- ・フィルタリング強度の変更
- ・個別のウェブサイトやアプリの制限／許可設定
- ・利用時間帯の設定
- ・利用状況の確認
- ・エリア検索

◎ 詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/an shin-filter/>

QR・バーコードリーダーを利用する

SATCHを利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。読み取った内容は、WEBサイト表示などに利用できます。QRコードとJANコードの読み取りに対応しています。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[SATC]→[QR／バーコードを読み取る]

初回起動時は、アンケートなどが表示されます。

内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

◎ SATCではQR・バーコードリーダー以外にも、AR(Augmented Reality)を楽しむことができます。ARとはカメラにかざして対象物を読み込むことで、動画やCGなどを表示できる機能です。SATCアプリ内のキャンペーンなどの画面の案内に沿ってお楽しみください。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi®機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。

・利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→[au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。

初回起動時には許可画面やプライバシーポリシーの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 画面に従って操作

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード・インストールして利用できます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド Android 9 Pie対応版』をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Google Play画面→[≡]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「Play ストア」

Google Play画面が表示されます。

利用規約などが表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

■ アプリケーションを検索し、インストールする

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。
- 有料のアプリケーションをダウンロードするには、お支払い方法を設定する必要があります。

1 Google Play画面→アプリケーションを選択

■ 無料のアプリケーションの場合

2 「インストール」→「同意する」

アプリケーションのダウンロード・インストールが開始されます。

■ 有料のアプリケーションの場合

2 価格をタップ→画面に従って操作

◎ インストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

COCORO BOOKSを利用する

新聞や雑誌、書籍などの電子書籍を購入、閲覧できます。

- COCORO BOOKSを利用するには、ユーザー登録が必要になります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「COCORO BOOKS」

初回起動時には許可画面やユーザー登録の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

利用方法などの詳細については、[情報]→[マニュアル・プライバシー...]と操作して内容をご参照ください。

ツール

モバイルライトを利用する	82
スクリーンショットを撮影する	82
長エネスイッチを利用する	82
クイック検索ボックスを利用する	82
カレンダーを利用する	82
アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチを利用する	83
からだメイトを利用する	83
電卓で計算する	84

モバイルライトを利用する

1 ステータスパネルを表示→機能ボタンの「ライト」をタップ

モバイルライトが点灯します。
消灯するには、点灯中に再度機能ボタンの「ライト」をタップします。

- ◎ モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にモバイルライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

スクリーンショットを撮影する

①(📷)と①(←)を同時に長押しすると、表示している画面のスクリーンショットを撮影できます。

- ・ ①(📷)を長押し→[スクリーンショット]と操作しても撮影できます。
- ・ 撮影したデータは本体メモリに保存されます。
- ・ Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます。詳しくは「Clip Nowの設定をする」(▶P.90)をご参照ください。

- ◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合や撮影時に効果音が鳴る場合があります。

長エネスイッチを利用する

長エネスイッチを「ON」に設定することで本製品の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[電池]→[長エネスイッチ]

2 自動的に ON	設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動でONにするかどうかを設定します。電池残量の設定はONにした場合に表示されるバーで行います。 ・ 「今すぐONにする」/「今すぐOFFにする」をタップすると、電池残量にかかわらずON/OFFを切り替えられます。
画面の明るさを最小にする	長エネスイッチがONの場合に画面の明るさを最小値にするかどうかを設定します。
画面の滑らかさを制限する	長エネスイッチがONの場合に画面の滑らかな動作を制限するかどうかを設定します。

- ◎ 充電を開始すると長エネスイッチはOFFになります。

クイック検索ボックスを利用する

Google™ 検索が起動し、本体メモリ内やウェブサイトの情報を検索できます。
・ 利用方法などの詳細については、Googleのサイトをご参照ください。

■ キーワードを入力して検索する場合

1 ホーム画面→クイック検索ボックスの検索入力欄を選択

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[Google]でも同様に操作できます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 キーワードを入力

3 項目を選択/[🔍]

■ 音声で入力して検索する場合

1 ホーム画面→クイック検索ボックスの[🗣️]

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

カレンダーを利用する

■ カレンダーを表示する

カレンダーをスケジュールや期間単位で表示することができます。

- ・ カレンダーの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「設定ガイド Android 9 Pie対応版」をご参照ください。
- ・ アカウントと同期すると、サーバーに保存されたカレンダーと本体メモリ内のカレンダーを同期できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]

初回起動時は説明画面が表示されます。画面に従って操作してください。

■ カレンダー画面の見かた



《カレンダー画面》

- 1 月表示
タップすると月表示カレンダーの表示/非表示を切り替えます。
- 2 予定
登録されている予定が表示されます。
登録した予定の期間などによって表示は異なります。
- 3 今日へ移動
タップすると今日の予定を表示します。

■ 予定を新規登録する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]

2 [🕒]→[予定]

表示単位によっては、予定を作成する日時をタップ→[新しい予定を追加]/[+]と操作しても予定を作成できます。

- ・ 「リマインダー」をタップすると、件名と日時、通知の繰り返しをリマインダーとして登録できます。
- ・ 「ゴール」をタップすると、カレンダーが最適な時間を見つけて、予定を登録できます。

3 必要な項目を入力

4 [保存]

- ◎ 複数のアカウントを設定している場合、アカウント名をタップすると登録するアカウントを選択できます。

■ カレンダー画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]

2 [≡]

3	スケジュール	カレンダーをスケジュール単位で表示します。
	日	カレンダーを日単位で表示します。
	3日	カレンダーを3日単位で表示します。
	週	カレンダーを週単位で表示します。
	月	カレンダーを月単位で表示します。
	検索	スケジュール内を検索します。
	設定	カレンダーの各項目を設定します。
	ヘルプとフィードバック	カレンダーのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

- ◎ ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]→[≡]→[更新]と操作すると、本体メモリとサーバーのカレンダーを同期できます。

アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチを利用する

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻にアラーム音やバイブレーションでお知らせします。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[アラーム]
- 2 登録先の時刻をタップ
登録先を追加するには、「+」をタップしてください。
- 3 時刻を選択→[OK]
- 4 各項目を設定

- ◎「繰り返し」をタップすると、アラームを鳴らす曜日を設定できます。
- ◎アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- ◎通話中にアラーム設定時刻になると、受話口(レシーバー)からアラーム音が鳴ります。バイブレーションを設定している場合はバイブレーションが振動します。

アラーム画面の見かた



《アラーム設定画面》

- ① 設定時間
- ② 繰り返し
アラームが鳴動する曜日を指定します。
- ③ アラーム音
- ④ アラーム名
- ⑤ 削除
- ⑥ アラーム追加
- ⑦ アラームのオン／オフ
- ⑧ バイブレーション

アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレーションでお知らせします。

- 1 アラーム鳴動中に「[🔊]」を「[🔇]」までスライド
・バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)にアラームが鳴った時は「解除」をタップします。

スヌーズを利用する

スヌーズを利用すると、再度アラームでお知らせします。

- 1 アラーム鳴動中に「[🔊]」を「[🔇]」までスライド
・バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)にアラームが鳴った時は「スヌーズ」をタップします。

◎ スヌーズの間隔は、「[⏰]」→[設定]→[スヌーズの長さ]で設定できます。

アラーム音量を設定する

- 1 アラーム画面→「[🔊]」→[設定]
- 2 「アラームの音量」欄のバーを左右にスライドして音量を調節

世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を表示できます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[時計]
- 2 [🌐]
- 3 都市を選択→[🔍]

タイマーで時間を計る

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[タイマー]
- 2 設定時間を入力→[🕒]
 - ・「+1:00」をタップすると、時間を1分追加します。
 - ・「⏸」をタップすると、カウントダウンを停止します。
 - ・カウントダウン停止時に「リセット」をタップすると、カウントダウンをリセットします。
 - ・設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。

タイマーの名称を変更する

- 1 タイマー画面→[ラベル]
- 2 名称を入力→[OK]

タイマーを追加する

- 1 タイマー画面→[タイマーを追加]
- 2 設定時間を入力→[🕒]

タイマーを削除する

- 1 タイマー画面で削除するタイマーを表示→[削除]

◎ タイマーを追加した場合は、画面を上下にスライドすると表示を切り替えられます。

ストップウォッチで時間を計る

ストップウォッチを利用して、経過時間(ラップタイム)／合計経過時間(スプリットタイム)を計測できます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[ストップウォッチ]
- 2 [🏁]
 - ・「ラップ」をタップすると、ラップタイム／スプリットタイムを計測します。
- 3 [🔄]
 - ・「リセット」をタップすると、計測結果をリセットします。
 - ・「共有」をタップすると、計測結果をメールやBluetooth®などで送信できます。

◎ ラップタイム／スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。

からだメイトを利用する

歩数や体重などを記録できます。歩数、体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[からだメイト]
- 2 [はい]
- 3 ユーザー情報の各項目を設定→[歩数計ON]→[👤]
初期状態では、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
 - ・電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
 - ・歩数計の表示は、毎日0:00にリセットされます。

累積データの引き継ぎかた

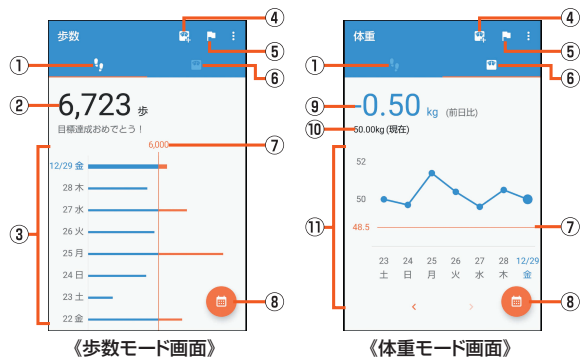
からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

- ◎ 本製品が不規則に動く場合
 - ・本製品を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - ・本製品を腰やかばんなどからぶら下げているとき
- ◎ 不規則な歩行をした場合
 - ・すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - ・混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
- ◎ 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - ・立ったり座ったりしたとき
 - ・スポーツを行ったとき
 - ・階段や急斜面を上ったり下ったりしたとき
 - ・乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
 - ・スピーカーから音が出ているとき
 - ・バイブレーションが振動しているとき
- ◎ 極端にゆっくり歩いた場合

■ からだメイト画面の見かた



① 歩数モード

② 今日の歩数

③ 歩数の履歴

日々／月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日／月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

④ 体重入力

タップすると、日々の体重を入力することができます。

- ・ エモバーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。詳しくは「エモバーヘルスケアを利用する」(▶P.90)をご参照ください。

⑤ 目標設定

タップすると、歩数や体重の目標を設定することができます。

- ・ からだメイト画面→[]→[目標設定]と操作しても目標を設定できます。
- ・ 目標設定画面で「リセット」をタップすると、設定した目標の削除ができます。

⑥ 体重モード

⑦ 目標値(目標設定時のみ表示)

⑧ 表示切替

日別／月別の表示を切り替えます。

⑨ 前回との差

⑩ 最新の体重

⑪ 体重の履歴

日々／月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日／月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。

- ・ 「<」/「>」をタップすると表示月や週を移動します。

■ ユーザー情報を変更する

1 からだメイト画面→[]→[ユーザー情報]

2 各項目を設定

■ からだメイトを停止する

1 からだメイト画面→[]→[歩数計設定]→[歩数計ON]

「歩数計ON」を無効にすると、からだメイトが停止します。

■ からだメイトの累積データをリセットする

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面→[]→[データリセット]→[はい]

■ 用語の説明を確認する

1 からだメイト画面→[]→[用語の説明]

2 用語を選択

電卓で計算する

利用方法などの詳細については、電卓画面上部をタップ→[]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[電卓]

2 計算する

端末設定

設定メニューを表示する	86
au設定を表示する	86
ネットワークとインターネットに関する設定をする	86
接続済みの端末に関する設定をする	87
アプリと通知の設定をする	87
電池の設定をする	87
ディスプレイに関する設定をする	88
音の設定をする	88
AQUOS便利機能に関する設定をする	89
セキュリティと現在地情報に関する設定をする	90
アカウントに関する設定をする	91
ユーザー補助の設定をする	91
システムに関する設定をする	91
お困りのときは	93

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]

項目	概要	参照先
au設定	au IDの設定やauが提供するサービスの設定、利用ができます。	P.86
電話番号	自分の電話番号が表示されます。	—
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®や機内モード、テザリングなどネットワークについて設定します。	P.86
接続済みの端末	Bluetooth®やNFC、USBなど本製品と接続する機器について設定します。	P.87
アプリと通知	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどアプリに関する設定や、通知のブロックやロック画面に表示する通知など通知に関する設定を行います。	P.87
電池	長エネスイッチの起動や電池利用状況の確認ができます。	P.87
ディスプレイ	画面の明るさやヒカリエモーションの設定、文字フォントの切替などを行います。	P.88
音	メディア再生時、着信時の音量や音などを変更できます。	P.88
AQUOS便利機能	本製品に搭載されている便利な機能の設定を行います。	P.89
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えることができます。 ・「auベーシックホーム」に設定することができます。	—
ストレージ	本体メモリやmicroSDメモリカード、USBメモリの容量を確認したり、microSDメモリカード／USBメモリの初期化などを行います。	P.96
セキュリティと現在地情報	端末のセキュリティや位置情報について設定します。	P.90
アカウント	利用するアカウントについて設定します。設定しているアカウントの種類が「アカウントを追加」の上に表示されます。	P.91
ユーザー補助	ユーザー補助サービスを設定します。	P.91
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。	—
システム	表示する言語や文字入力、日付と時刻について設定します。 また、Googleサーバーへのバックアップの設定や、microSDメモリカードなどを利用したデータ引き継ぎ、本製品の初期化を行ったり、本製品の情報を確認できます。	P.91
お困りのときは	よくあるご質問、使いこなしガイド、セルフチェックなど困ったときの確認ができます。	P.93

- ◎「」をタップすると、設定メニューの内容を検索できます。検索結果をタップすると、設定画面が表示されます。
- ◎ 設定メニューの先頭には、設定すると予想される項目が候補として表示されます。タップすると設定することができます。

au設定を表示する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[au設定]

2	au設定メニュー	▶P.86「au設定メニューを表示する」
	auサポート	auホームページの「サポート」に接続したり、157(お客さまセンター)に発信したりします。

au設定メニューを表示する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[au設定]→[au設定メニュー]

2	au ID	au ID・パスワードを設定します。 ・au IDについて詳しくは、「設定ガイド Android 9 Pie対応版」をご参照ください。
	auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
	au位置情報サービス	auが提供する位置情報サービスです。対応アプリが、少ない電力消費で現在地周辺の情報表示・配信をするためなどに使います。
	au Wi-Fi 接続ツール	au Wi-Fi接続ツールを使用します。 ・詳しくは、「au Wi-Fi接続ツールを利用する」(▶P.79)をご参照ください。

データを移行する	スマートフォンで撮影した写真や連絡先など、さまざまなデータをauサーバーに預けたり、microSDメモリカードへのバックアップやスマートフォンへの復元をしたりすることができます。また、機種変更時のデータ移行にもご利用できます。
スマホとタブレットを連携する	スマートフォンとタブレットを連携して、便利にお使いになれます。スマートフォンへの電話着信やEメール(@au.com/@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、スマートフォンをタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。
コミュニケーターが遠隔操作でサポート	▶P.78「遠隔操作サポートを利用する」
au災害対策・緊急速報メール	緊急速報メール(緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報)の受信設定や受信音の音量など、受信に関する設定ができます。
データお預かり設定	自動で預けるデータの種類の設定したり、自動お預かり設定の詳細を確認したりできます。
歩きスマホ注意アプリ	歩きスマホは大変危険です。歩きスマホを検知してお知らせします。
au通信品質レポート機能	さらなる通信品質向上のため、音声通話やデータ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS位置情報)を検知・収集し、auに自動送信する機能です。
セルフケア設定	KDDIが提供する「セルフケア」サービス*を利用するかどうかを設定できます。 また、アプリの更新確認をしたり、更新があるときに更新通知を表示するかどうかを設定したりできます。 ※Wi-Fi®設定やBluetooth®設定などお客様の端末設定を支援するサービス
法的情報	法的情報を表示します。

ネットワークとインターネットに関する設定をする

1 ネットワークとインターネットの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]

2	Wi-Fi	▶P.98「無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする」
	モバイル ネットワーク	海外ローミング設定 ▶P.107「海外利用に関する設定を行う」 ネットワークを自動的に選択 利用するネットワークを選択します。 ネットワーク 利用するネットワークを選択します。 アクセスポイント名 利用するアクセスポイントについて設定します。
	プロキシ設定	プロキシ設定を一括で有効／無効にします。
	データ使用量	モバイルネットワークやWi-Fi®ネットワークを利用したデータ使用量の確認やデータセーバーなどの設定ができます。 ・データセーバーは、一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。
	テザリング	Wi-Fiテザリング ▶P.99「Wi-Fi®テザリング機能を利用する」 USB テザリング ▶P.99「USB テザリング機能を利用する」 Bluetooth テザリング ▶P.99「Bluetooth® テザリング機能を利用する」
	機内モード*	▶P.87「機内モードを設定する」
	VPN*	VPNの設定や管理を行います。 ・VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。VPNを利用する場合は、「画面ロック」を設定する必要があります。 ・VPNを追加する場合は、[+]→必要な項目を設定／入力→[保存]と操作します。 ・VPNに接続する場合は、VPN名を選択→ユーザー名とパスワードを入力→[接続]と操作します。 ・VPNを編集／削除する場合は、「  」をタップします。
	プライベート DNS*	プライベート DNSの設定をします。

*「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN (Wi-Fi®) 機能、Bluetooth®機能など)がOFFになります。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[詳細設定]→[機内モード]
 - ・お知らせ／ステータスパネルの機能ボタンからでも設定できます。(▶P.30)

- ◎ 航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ 「機内モード」をONに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
- ◎ 「機内モード」をONに設定すると、電話やメール送受信ができなくなります。また、無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®機能が「OFF」になります。「機内モード」をONにしているときに無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®を利用したい場合は、それぞれを「ON」に設定し直してください。

接続済みの端末に関する設定をする

接続済みの端末の設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]

2 USB*	本製品とパソコンなどをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続したときの動作を設定します。 ・詳しくは、「パソコンなどと接続する」(▶P.96)をご参照ください。
新しいデバイスとペア設定する	使用可能なBluetooth®機器とペア設定を行います。 ・詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.99)をご参照ください。
以前接続されていたデバイス	ペア設定したBluetooth®機器の名前や使用目的を設定します。
接続の設定	▶P.87「接続の設定を行う」

* 本製品にパソコンやUSB機器(市販品)を接続している場合に 표시됩니다。

接続の設定を行う

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]→[接続の設定]

2 Bluetooth	▶P.99「Bluetooth®を起動する」
NFC／おサイフケータイ 設定	▶P.76「おサイフケータイ」を設定する
キャスト	端末の画面と音声をキャストする機器を選択します。
印刷	▶P.87「印刷の設定をする」
受信済みファイル	受信履歴画面を表示します。
Chromebook	Chromebook™との接続用の項目が表示されます。

キャストについて

- ◎ キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン(📺)が表示される場合があります。

印刷の設定をする

印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応するアプリで印刷することができます。

- ・あらかじめ、利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておく必要があります。

以下の操作で、印刷用アプリ(プラグイン)の設定が変更できます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]→[接続の設定]→[印刷]
- 2 印刷サービスを選択→プリンターを選択→画面の指示に従って操作

- ◎ 対応するアプリケーションから印刷する場合に、表示内容と実際の印刷内容が異なる場合があります。
- ◎ 対応するアプリケーションから印刷する場合に、「PDF形式で保存」を選択すると、表示内容をPDFとして保存することができます。保存したPDFはOfficeSuiteなどで確認できます。

アプリと通知の設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]

2 最近開いたアプリ	選択したアプリの詳細画面が表示され、アプリのアンインストールなどができます。 ・ Google Playなどからインストールしたアプリを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリは削除されます。 ・ アプリによっては削除できないものもあります。 ・ 「XX個のアプリをすべて表示」をタップすると、インストールされているアプリの一覧が表示されます。 * 表示される項目はアプリによって異なります。
通知	ロック画面上 ロック画面に表示する通知について設定します。 ロック画面の通知を整理 ロック画面で一度見た通知を非表示にして、新しい通知を見やすくするかどうかを設定します。ただし、削除できない通知は表示されます。 通知ドットの許可 アプリに通知がある場合にアプリのアイコンの右上に通知ドットを表示するかどうかを設定します。 点滅 画面消灯中に新着通知を充電／着信ランプの点滅でお知らせするかどうかを設定します。 デフォルトの通知音 デフォルトの通知音に設定するデータを選択して登録します。 高度なマナーモード マナーモードを設定した場合の通知動作や、特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 ・ 詳しくは、「マナーモードの高度な設定について」(▶P.30)をご参照ください。 通知を最近送信したアプリ 最近通知があったアプリを表示します。 ・ 「過去7日間をすべて表示」をタップすると、過去7日の間に通知を表示したアプリの一覧が表示されます。
デフォルト アプリ	アシストと音声入力 「🗨」をロングタッチして起動するアプリについて設定します。 ブラウザアプリ ブラウザを行う際に使用するアプリを設定します。 ホームアプリ 利用するホームアプリ*を切り替えることができます。 *「auベータシックホーム」に設定することができます。 電話アプリ 電話を行う際に使用するアプリを設定します。 SMSアプリ SMSを行う際に使用するアプリを設定します。 リンクを開く 他のアプリなどからの連携について設定します。
アプリの権限*	▶P.31「利用する機能について設定する」
特別なアプリアクセス*	電池の最適化や「マナーモード」にアクセスできるアプリの設定など、特別なアクセスをするアプリについて設定します。

* 「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。条件によっては「詳細設定」が表示されない場合があります。

電池の設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[電池]

- 2 下記以外に電池残量や「電池切れの推定時間」、「前回のフル充電」、「フル充電以降の画面の電池使用状況」など電池の利用状況が確認できます。

長エネスイッチ	▶P.82「長エネスイッチを利用する」
自動調整バッテリー	使用頻度の低いアプリの電池使用量を自動調整するかどうかを設定します。
電池残量	電池残量のパーセント表示をステータスバーに表示するかどうかを設定します。

ディスプレイに関する設定をする

ディスプレイの設定をする

1 ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→[設定]→[ディスプレイ]

2	明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
	明るさの自動調節	周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調節するかどうかを設定します。
	充電時は明るくする	充電中は明るさの設定にかかわらず画面が明るく表示するかどうかを設定します。
	スリープ*	バックライトの点灯時間を設定します。
	壁紙*	ホーム画面/ロック画面の背景を変更します。 ・「ロックフォトシャッフル」について詳しくは、「ロックフォトシャッフルを設定する」(▶P.88)をご参照ください。
	文字フォント設定*	フォントサイズ 文字サイズを設定します。 文字フォント切替 画面に表示される文字フォントを設定します。 ・「ダウンロードフォントを検索」をタップするとGoogle Playでフォントを検索します。Google Playの利用方法について詳しくは、「Google Playを利用する」(▶P.80)をご参照ください。
	表示サイズ*	表示サイズを設定します。
	ナビゲーションバーを隠す*	ナビゲーションバーを非表示にして画面を広く表示するかどうかを設定します。 ・ナビゲーションバーが非表示の場合、画面下部から上にスワイプするとナビゲーションバーが一時的に表示されます。
	なめらかハイスピード表示*	▶P.29「なめらかハイスピード表示を利用する」
	ヒカリエモーション*	▶P.88「ヒカリエモーションを設定する」
	リラックスビュー*	目に優しい画質(リラックスビュー)に関する設定を行います。有効にした場合の輝度や、自動で有効にする時間帯を設定します。
	スクリーンセーバー*	充電中に自動で画面が消灯したとき、スクリーンセーバーを起動するかどうかを設定します。
	端末のテーマ*	端末のテーマを設定します。 テーマを変更するとステータスパネルの機能ボタンや、ホーム画面の背景色を変更されます。
	画質モード*	画質モードを設定します。
	HDR動画設定*	HDR動画の画質や、標準動画をHDRのように表示する機能(バーチャルHDR)を設定します。
	画面の自動回転*	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	グローブモード*	手袋をしたままで画面をタップして操作できるようにするかどうかを設定します。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

リラックスビューについて

◎リラックスビューを有効にしても、カメラ利用時は画面が通常の画質で表示されます。
ただし、撮影画面からアルバムの起動や直前に撮影したデータの表示を行った場合、画面はリラックスビューの画質で表示されます。

グローブモードについて

◎手袋の素材によってはタッチ操作ができない場合があります。
◎手袋をしていないときは、「グローブモード」をOFFにしてご利用ください。

ロックフォトシャッフルを設定する

ロック画面を表示するたびにロック画面の壁紙をランダムで切り替えます。
・OSアップデート後は「OFF」に設定されています。

1 ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→[設定]→[ディスプレイ]→[詳細設定]→[壁紙]→[ロックフォトシャッフル]

2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える

3 ロックフォトシャッフルで表示させるフォルダを選択

・「>」をタップすると、フォルダに入っている画像を確認できます。

ヒカリエモーションを設定する

着信時や充電開始時などに、ディスプレイに光の演出を表示します。

1 ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→[設定]→[ディスプレイ]→[詳細設定]→[ヒカリエモーション]

2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える

3	電話着信中	着信時にヒカリエモーションを動作させるかどうかを設定します。
	電話着信パターン/カラー	着信時のヒカリエモーションの点滅パターンや点滅カラーについて設定します。
	充電開始時	充電開始時にヒカリエモーションを動作させるかどうかを設定します。
	ロック解除時	画面ロック解除時にヒカリエモーションを動作させるかどうかを設定します。
	終話時	通話が終了したときにヒカリエモーションを動作させるかどうかを設定します。

電話着信パターン/カラーについて

◎相手との関係で変化/パターン11(うつろい)/パターン12(ときめき)については、決められた複数のカラーで点滅するため、点滅カラーの選択はできません。

充電開始時について

◎電源が切れている場合は、点滅しません。

音の設定をする

1 ホーム画面→「アプリー覧画面」を表示→[設定]→[音]

2	メディアの音量	メディア音(音楽や動画、テレビなど)の音量を設定します。
	通話音量	通話音量時の音量を設定します。
	着信音の音量	着信音の音量を設定します。
	アラームの音量	アラームの音量を設定します。
	エモパターの音量	エモパターの音声の音量を設定します。
	着信時もバイブレーションON	着信時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
	着信時のバイブパターン	着信時のバイブレータのパターンを設定します。
	高度なマナーモード	マナーモードを設定した場合の通知動作や、特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 ・詳しくは、「マナーモードの高度な設定について」(▶P.30)をご参照ください。
	着信音を停止	着信音が鳴っている場合に[(M)]と[(+)]を同時に押したときの動作を設定します。
	着信音	電話の着信音に設定するデータを選択して登録します。
	デフォルトの通知音*	デフォルトの通知音に設定するデータを選択して登録します。
	デフォルトのアラーム音*	デフォルトのアラーム音に設定するデータを選択して登録します。
	待ちうた*	Chromeを起動して待ちうたのサイトを表示します。
	ダイヤルパッドの操作音*	電話番号やプッシュ信号入力時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
	画面ロック音*	画面ロック/ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	充電時の音*	充電開始時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	タッチ操作音*	メニューやアイコン選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
	タップ操作時のバイブ*	タップしたときに、バイブレータを振動させるかどうかを設定します。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

AQUOS便利機能に関する設定をする

AQUOS便利機能の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]

2	なめらかハイス ピード表示	なめらかハイスピード表示について設定します。 ・詳しくは、「なめらかハイスピード表示を利用する」(▶P.29)をご参照ください。
	指紋センサー	ホームキーとして使う 指紋センサーをホームキーとして使うことができます。また、画面消灯中に指紋センサーをタップして、ディスプレイを表示することができます。 指紋設定 指紋の追加や削除、登録名の変更を行います。 ・詳しくは、「指紋を登録する」(▶P.26)をご参照ください。
	スクロールオート	▶P.89「スクロールオートの設定をする」
	エモバー	▶P.89「エモバーを設定する」
	Clip Now	▶P.90「Clip Nowの設定をする」
	自動画面点灯	持つと画面点灯 画面消灯中、本製品を持ち上げて静止したときに画面を点灯させるかどうかを設定します。 ・詳しくは、「持つと画面点灯について」(▶P.22)をご参照ください。 Bright Keep 本製品を手に持っている間、画面の点灯を維持するかどうかを設定します。
	スマホカバー設定	AQUOS Frosted Cover AQUOS Frosted Cover(別売)を装着する場合に設定します。 ・カバーの開閉によって画面点灯/消灯を切り替えることができます。カバーを閉じているときに画面を点灯すると、画面はくもった状態となります。カバーをなぞるとなぞったところのくもりが消え、カバーを閉じたまま通知の確認や操作ができます。 Frost Signの使い方 AQUOS Frosted Cover装着中、カバーの上に記号を描くと使える便利な機能の説明を表示します。 AQUOS Frosted Coverの詳しい情報はこちら シャープのサイトに接続し、AQUOS Frosted Cover(別売)についての詳しい情報を確認できます。
	ロボクル設定	ロボクルの動作 本製品をロボクルで充電しているときに、ロボクルを動作させるかどうかを設定します。 ロボクルの詳しい情報はこちら シャープのサイトに接続し、ロボクルについての詳しい情報を確認できます。

Bright Keepについて

◎ お使いの状況によっては正しく動作しない場合があります。

AQUOS Frosted Cover(別売)について

◎ 「グローブモード」をONにしても、カバーの上からは手袋をしたまま操作できないことがあります。

◎ 次の場合は、カバーを閉じているときでも画面はくもりません。

- ・ 着信時
- ・ カメラ起動時
- ・ アラーム鳴動時
- ・ エモバーがお話するとき

◎ カバーを閉じている場合、エモバーは画面表示のみのお知らせは行いません。

■ ロボクルのファームウェア更新について

ロボクルはファームウェア更新に対応しています。ファームウェア更新が必要な場合、本製品を接続したときに、本製品のディスプレイに「ロボクルの更新」のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってファームウェア更新を行ってください。

- ・ ファームウェア更新を行うには、以下の条件を満たす必要があります。
 - ・ ロボクルがTypeC共通ACアダプタ01(別売)に接続されていること
 - ・ 本製品がネットワークに接続できる状態であること
 - ・ 本製品の電池残量が30%以上あること
- ・ ファームウェア更新中に本製品の電池残量が不足したり、本製品・TypeC共通ACアダプタ01(別売)をロボクルから取り外したりすると更新が中断します。ファームウェア更新が中断した場合、ロボクルが使用できなくなります。必要な条件を満たしたうえで、再度本製品をロボクルに接続し、ファームウェア更新を完了してください。
- ・ 本製品は、ロボクル接続時にロボクルのファームウェア更新有無確認のため、1週間に1回通信を行います。また、ファームウェア更新する場合も通信を行います。通信を行った際には、通信料がかかります。

スクロールオートの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]→[スクロールオート]

2	ON/OFF設定	スクロールオートを利用するかどうかを設定します。
	対象アプリ設定	スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
	ステータスバーへの通知	対象アプリが起動しているときに、お知らせアイコンで通知するかどうかを設定します。

◎ スクロールオートは上下方向にのみ対応しています。

■ 画面の自動スクロールを利用する

1 スクロールする方向に画面をドラッグ→「↑」/「↓」までドラッグし指を離す

- 画面をドラッグした方向にスクロールを開始します。
- ・ 約5分間動作するとスクロールを停止します。
- ・ スクロール速度を調整するには「+」/「-」をタップします。
- ・ スクロールを停止するには画面をタップします。

◎ 画面をドラッグする速度が速すぎると、「↑」/「↓」が表示されません。

◎ 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。

エモバーを設定する

あらかじめ登録したお客様の情報やエモバーの設定に合わせ、ロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えします。お客様の本製品の使用状況を理解し、より適切なタイミング*1で情報をお伝えするようになっていきます。

また、お客様の声*2をエモバーが認識して応答することがあります。

さらに、エモバーを使ったメモ機能(エモバーメモ)や、健康応援機能(エモバーヘルスケア)が利用できます。

*1 お買い上げ時は、充電時のみお話しするように設定されています。利用しない場合は、初期設定画面で「OFFにする」をタップしてください。

*2 エモバーが話してから画面が消灯するまでの間のみ音声を確認します。(音声を確認できる時間は最大10秒間です。)

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]→[エモバー]

- エモバーの画面が表示されます。エモバーの状態やお客様についての情報、約1週間分のエモバーとの日常の記録などが確認できます。初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ・ 初期設定完了後に「あなたについて」で職場・学校など、お客様の情報を設定することをおすすめします。設定した情報をもとにエモバーが話す内容のバリエーションや機会が増えます。

2 【】

エモバー設定画面が表示されます。

3	エモバー設定	「  」/「  」をタップするたびにエモバーのOFF/ONを切り替えます。
	COCORO MEMBERS設定	新規登録・ログインすると自動バックアップなどの機能を利用できます。
	エモバー選択	エモバーや名前を設定します。 ・ 「サイトからエモバーを追加する」をタップすると、サイトから別のエモバーを追加できます。
	基本動作について	お話しする音量 エモバーの話し声の音量を設定します。 お話し中のBGM エモバーがお話し中にBGMを流すかどうかを設定します。 マナーモード中でも声でお話し マナーモード設定中でも音声でお伝えするかどうかを設定します。 暗いと小声でお話し 本製品を暗い場所に置いているときに音声を小さくしてお伝えするかどうかを設定します。 イヤホンしているときのお話し 外出中にイヤホンをしているとお話しするかどうかを設定します。 外でも通話スタイルでお話し 外出中でもバイブレートでお知らせして耳に当たるとお話しするかどうかを設定します。 声をかけるともっとお話し エモバーに声をかけると、さらに詳細な情報をお話しするように設定します。 近くの振動を察知 周囲の振動を検知してお話しするかどうかを設定します。 明るくなったことを察知 周囲の明るさを検知してお話しするかどうかを設定します。 自宅の特定にWiFiも使用 位置情報の取得にWi-Fi®を利用するかどうかを設定します。

あなたについて	ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
エモパーの話題	エモパーがお伝えする情報を設定します。
声でエモパーを呼び出し	ロック画面などで「ハローエモパー」と話しかけるとエモパー応答するかどうかを設定します。
エモパーメモ	エモパーメモの利用について設定します。
エモパーヘルスケア	エモパーヘルスケアの利用について設定します。
エモパーへの話しかけ方	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「声でエモパーを呼び出し」に接続します。
おすすめ機能の紹介	エモパーの簡単な説明と使いかたのデモを確認できます。
エモパー使い方ガイド	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
よくある質問(FAQ)	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。
エモパーの記憶	エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータのバックアップや初期化、復元をします。
注意事項	エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

- ◎ エモパーをご利用になる場合は、データ通信料がかかります。
- ◎ エモパーは日本語にのみ対応しています。
- ◎ 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。
- ◎ エモパーがお伝えする情報は、本製品の使用状況と正確には合っていない場合があります。
- ◎ エモパーの初期設定を行うと「からだメイト」アプリの「歩数計ON」が有効になります。
- ◎ 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、位置情報を取得する場合があります。位置情報の取得には、「位置情報」を「ON」に設定する必要があります。また、「モード」は「高精度」に設定してください。「位置情報」が「OFF」のときは、位置情報が必要な情報をお伝えできません。
- ◎ ディスプレイを下にして本製品を置いている場合などはお話ししません。
- ◎ エモパーが話しているときに「(+)/(-)」を押すと音量を調節できます。

エモパーが話すタイミングについて

- ◎ 「あなたについて」の「自宅」や「自宅のほかにお話できる場所」に設定した場所で、画面消灯中やロック画面表示中に本製品を地面に対して水平に近い状態で置いたときなどに話します。
- ◎ 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
- ◎ イヤホンを接続中は、場所や時間帯にかかわらず話します。
- ◎ ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

電車の遅延情報について

- ◎ エモパーがお伝えする電車の遅延情報は、株式会社レスキューナウが提供する運行情報に基づいています。
- ◎ 各路線の運行情報が提供される基準は、次のとおりです。
 - ・首都圏JR線は15分、その他の路線は30分以上の遅れ、運転見合わせ等が発生した場合の情報

■ エモパーメモを利用する

- エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。
- ・ロック画面をダブルタップしてから話しかけてください。
 - ・ロック画面では、時計やアイコン、情報などが表示されていないところをタップしてください。
 - ・外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
 - ・エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。

- ◎ 「エモパーメモ」の「画面消灯時でもメモを起動」を有効にすると、画面消灯中にダブルタップしてもエモパーメモを利用できます。

■ エモパーヘルスケアを利用する

- お客様の体重や歩数を気にかけたり、応援したりすることで、健康維持やダイエットをサポートします。体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで記憶できます。
- ・エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重 XX.Xキロ」のように話しかけてください。
 - ・記憶したお客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。
 - ・株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
 - ・体組成計との連携については、エモパー設定画面→[エモパーヘルスケア]→[タニタ体組成計との連携]と操作し、画面に従って操作してください。
 - ・エモパーが連携できる体組成計の機種については、「公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)」をご確認ください。

■ 公式エモパー情報サイト EMOPARK(エモパーク)について

エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Google Playからアップデートすることがあります。本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/>

Clip Nowの設定をする

画面の縁を指でなぞることで表示中の画面を画像(スクリーンショット)として撮影できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]→[Clip Now]

Clip Now	Clip Nowを利用するかどうかを設定します。 ・「Clip Now」をタップすると、なぞる向きを設定できます。
使い方ガイド	Clip Nowについての説明を表示します。

- ◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

■ Clip Nowでスクリーンショットを撮影する

1 保存したい画面をディスプレイに表示→画面の左上／右上から、画面の縁をなぞる

- ◎ なぞる向きは「Clip Now」で設定できます。

セキュリティと現在地情報に関する設定をする

■ セキュリティと現在地情報の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティと現在地情報]

Google Play プロジェクト	Google Playのアプリケーションをインストールするときや、インストール済みのアプリケーションに不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
端末を探す	Googleアカウントによる遠隔操作で、本製品の位置情報を検出したり、タッチパネルのロックや出荷時リセットを実行できるようにする機能について設定します。
セキュリティ アップデート	ソフトウェア更新について確認します。 ・詳しくは、「ソフトウェアを更新する」(▶P.110)をご参照ください。
画面ロック	ロック画面の解除方法を設定します。 ・画面消灯した後に解除方法が必要になるまでの時間やロック画面に表示するメッセージなどを設定する場合は「  」をタップします。
ロック画面の設定	※「画面ロック」を「なし」に設定すると表示されません。ロック画面に表示する通知の種類や、メッセージについて設定します。
指紋	▶P.26「指紋を登録する」
Smart Lock	※「Smart Lock」を利用するには、「画面ロック」を「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」に設定する必要があります。 「信頼できる場所」の付近に本製品があるときや、「信頼できる端末」に接続しているとき、「認識済みの顔」を認識したときなど、特定の条件で自動的に画面ロックが解除されるように設定します。
位置情報	▶P.91「位置情報の設定をする」
パスワードを表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理アプリ※1	アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
SIM カードロック設定※2	SIMカードをロック 起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 SIM PINの変更 PINコードを変更します。 ・SIM PINを変更する場合は、「SIMカードをロック」を有効に設定してください。 ・画面に従って設定されているPINコードを解除し、新しいPINコードを登録します。
暗号化と認証情報※2	スマートフォンの暗号化 本製品が暗号化されていることを確認できます。 ストレージのタイプ ストレージの方式が表示されます。 信頼できる認証情報 安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。 ユーザー認証情報 認証情報の確認や削除ができます。 SDカードからインストール 暗号化された証明書を認証情報ストレージにインストールします。 ・画面に従って証明書のパスワードを入力し、証明書名を指定してください。 ・証明書をインストールする場合は、「画面ロック」を「なし」/「スワイプ」以外に設定する必要があります。 認証ストレージの消去 認証情報ストレージの内容を消去します。

信頼できるエージェント※2	画面ロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
画面の固定※2	表示中の画面を固定するように設定します。

※1「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。条件によっては「詳細設定」が表示されない場合があります。

※2「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

画面ロックについて

- ロック画面を解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)への電話はかけられます。
- 画面ロックを「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。
- 画面ロックの解除方法として設定した「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」をお忘れになった場合は、お客さまセンターにご連絡ください。なお、解除の際に設定やデータはすべて初期化されてしまう場合がありますので、ご了承ください。

位置情報の設定をする

アプリケーションの位置情報リクエストを許可する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティと現在地情報]→[位置情報]
- 2 「位置情報の使用」をタップして「ON」に切り替える
 - ・お知らせ/ステータスパネルの機能ボタンからでも設定できます。(▶P.30)

位置情報について設定する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティと現在地情報]→[位置情報]
- 2 位置情報サービス

Googleのロケーション履歴や現在地の共有機能を設定したり、auの位置情報サービスにアクセスするアプリを設定します。	Googleのロケーション履歴や現在地の共有機能を設定する場合は、Googleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「設定ガイド Android 9 Pie対応版」をご参照ください。
最近の位置情報リクエスト	位置情報を取得したアプリを表示します。表示されたアプリをタップするとアプリ情報を表示します。
アプリレベルの権限	位置情報にアクセスできるアプリを設定します。
スキャン	Wi-Fiのスキャン 位置情報の精度向上のためにWi-Fi®ネットワークをスキャンするかどうかを設定します。 Bluetoothのスキャン 位置情報の精度向上のために、Bluetooth®ネットワークをスキャンするかどうかを設定します。

GPS機能について

○ 電波が良好な場所でご利用ください。

Wi-Fiのスキャン、Bluetoothのスキャンについて

○ ONにすると、Wi-Fi®機能やBluetooth®機能がOFFの場合でもスキャンします。

アカウントに関する設定をする

アカウントを追加する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アカウント]→[アカウントを追加]
 - 2 追加するアカウントの種類を選択
 - 3 画面に従って操作
- ### データを同期する
- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アカウント]→[アカウントを選択]
 - 2 [アカウントの同期]
 - 3 同期する項目を選択

○ 「自動的にデータを同期」を有効にすると各アカウントで設定された項目を自動的に同期することができます。

アカウントを削除する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アカウント]→[アカウントを選択]
- 2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

ユーザー補助の設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ユーザー補助]
- 2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

音量キーのショートカット	ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定をします。
フォントサイズ	文字サイズを設定します。
表示サイズ	表示サイズを設定します。
拡大	トリプルタップで拡大 画面の同じ位置を3回連続でタップして、表示を拡大/縮小できるようにするかどうかを設定します。 ボタンで拡大 拡大ボタンをナビゲーションバーに表示して、表示を拡大/縮小できるようにするかどうかを設定します。
大きなマウスポインタ	Bluetooth®や外部接続端子に接続したポインティングデバイスのポインタを大きくするかどうかを設定します。
色反転	画面に表示されている色を反転するかどうかを設定します。
色補正	画面に表示されている色の補正について設定します。
アニメーションの削除	アニメーションを省略するかどうかを設定します。
停止時間	Bluetooth®や外部接続端子に接続したポインティングデバイスのポインタが停止すると自動的にクリックするかどうかやクリックするまでの時間を設定します。
電源ボタンで通話を終了	[(📞)]を押して通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
押し続ける時間	ロングタッチを検出する間隔を設定します。
バイブレーション	着信時や通知時、タップ操作時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
モノラル音声	ステレオ音声をモノラル音声に統合するかどうかを設定します。
字幕	字幕を表示するかどうかを設定します。
高コントラストテキスト	文字を従来よりはっきりと表示させるかどうかを設定します。

システムに関する設定をする

システムの設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]

2 端末情報	▶P.92「端末情報の設定をする」
言語と入力	▶P.92「使用する言語や文字入力の設定をする」
操作	カメラの起動 [(📷)]を2回押して「カメラ」アプリを起動するかどうかを設定します。 ホームボタン上にスワイプ アプリ使用履歴画面の表示方法を変更します。 ・有効に設定するとナビゲーションバーのデザインが変更されます。 着信音を停止 着信音が鳴っている場合に[(📞)]と[(📞)]を同時に押したときの動作を設定します。
日付と時刻	▶P.92「日付と時刻の設定をする」
バックアップ※	Googleアカウントを利用して、アプリのデータや通話履歴などを自動的にバックアップするかどうかを設定します。
データ引継ぎ※	▶P.23「データを引き継ぐ」
リセット オプション※	Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット ネットワークに関する設定をすべてリセットします。 アプリの設定をリセット アプリケーション各種設定をすべてリセットします。 すべてのデータを消去(出荷時リセット) ▶P.92「本製品を初期化する」
システム アップデート※	▶P.110「ソフトウェアを更新する」
認証※	本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号を含む)を表示します。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

端末情報の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[端末情報]

- 2
- 下記以外にモデルやソフトウェアのIP アドレス、Wi-Fi MACアドレス、Bluetoothアドレス、ビルド番号などが確認できます。

端末名	本製品の端末名を変更できます。
電話番号	自分の電話番号が表示されます。
緊急時情報	緊急時情報を設定できます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
センサー感度補正	モーションセンサー、地磁気センサーの補正を行います。 本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。 補正が完了して正解音が鳴るまで、繰り返し実施してください。
電池の状態	内蔵電池の充電能力を確認できます。
SIMのステータス	au ICカード情報を確認できます。
SIMロックの状態	SIMロックの状態を確認できます。
モデルとハードウェア	モデル名やシリアル番号を確認できます。
IMEI	IMEI情報を確認できます。
Androidバージョン	モデルやソフトウェアのバージョン、Androidセキュリティパッチの配信日、ビルド番号などが確認できます。

使用する言語や文字入力の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[言語と入力]

言語と入力画面が表示されます。

2	言語	言語の表示を切り替えます。 ・言語を追加する場合は、「言語を追加」をタップし、言語を選択します。 表示する言語の優先順位は「≡」をロングタッチし、優先順位に合わせたドラッグして指を離して設定します。 ・利用しない言語を削除する場合は、「⋮」→[削除]→削除する言語を選択→[OK]→[OK]と操作します。
	仮想キーボード	Gboard ※「キーボードを管理」で設定を変更すると表示されます。 ▶P.92「Gboardの設定をする」 S-Shoin S-Shoinでのキー操作時の操作音やバイブレーションなどを設定できます。 ・詳しくは、「S-Shoinの設定を行う」(▶P.35)をご参照ください。 Google音声入力 ▶P.92「Google音声入力の設定をする」 キーボードを管理 利用するソフトウェアキーボードの有効/無効を設定します。
	物理キーボード	Bluetooth®や外部接続端子に接続したキーボードを利用する場合の設定をします。
	スペルチェック*	Gboard利用時に入力された文字列のスペルをチェックするかどうかを設定します。
	自動入力サービス*	Googleの自動入力サービスを使用するかどうかを設定します。
	単語リスト*	Gboard利用時に使用する単語リストを表示します。 ・「+」をタップして単語などを入力すると、単語を登録できます。 ・登録した単語をタップすると編集できます。「⌫」をタップすると削除できます。
	ポインタの速度*	ポインタの速度を調整できます。
	テキスト読み上げの出力*	使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定をします。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

◎ microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェア更新などを実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

言語について

◎ アプリや機能によっては、設定した言語では表示されない場合があります。

Gboardの設定をする

・設定する場合は、あらかじめ「仮想キーボード」の「キーボードを管理」で「Gboard」を有効に設定してください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[Gboard]

2	言語	入力言語を設定します。
	設定	Gboardの文字入力について詳細設定を行います。
	テーマ	キーボードのテーマを変更できます。
	テキストの修正	テキスト入力時に入力候補の予測や自動修正などをするかどうかを設定します。
	グライド入力	文字間をスライドして単語を入力するグライド入力について設定します。
	音声入力	Gboard利用時の音声入力について設定します。
	単語リスト	Gboard利用時に使用する単語リストについて設定します。
	詳細設定	上級ユーザー向けのオプションを設定します。
	評価のお願い	Gboardのフィードバックを行います。

Google音声入力の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[Google音声入力]

2	言語	音声入力する言語を設定します。
	Voice Match	本製品に向かって発声することで使用できる機能に関する設定を行います。
	ハンズフリー	画面ロック時に、ハンズフリー機器からのリクエストを許可するかどうかを設定します。
	音声出力	検索結果の音声出力方法について設定します。
	オフラインの音声認識	音声認識する言語を管理します。
	不適切な語句をブロック	音声認識した語句の中で、不適切なものを非表示にするかどうかを設定します。
	Bluetoothヘッドセット	Bluetooth®ヘッドセット経由で音声検索を使用するかどうかを設定します。

◎ 音声入力する言語により、「不適切な語句をブロック」が利用できない場合があります。

日付と時刻の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[日付と時刻]

2	日付と時刻の自動設定	ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
	日付設定	日付を設定します。
	時刻設定	時刻を設定します。
	タイムゾーンの自動設定	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。
	タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
	24 時間表示を自動設定	時刻の表示方法を、ユーザーの言語/地域の標準に合わせて自動的に切り替えるかどうかを設定します。有効に設定した場合は24時間表示で表示します。
	24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。

本製品を初期化する

本体メモリを初期状態に戻します(出荷時リセット)。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[リセット オプション]→[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]

2 [モバイル端末をリセット]

「SDカード内データも消去する」をタップするとmicroSDメモリカード内のデータも消去できます。

3 [すべて消去]

- ◎ 出荷時リセットを実行する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては出荷時リセットを実行すると、利用できなくなる場合があります。
- ◎ 「SIM カードロック設定」は、出荷時リセットを実行してもリセットされません。
- ◎ 電池残量が少ないときは出荷時リセットできません。
- ◎ 次のデータは消去される例です。
 - ・撮影した写真
 - ・画像、動画、音楽など
 - ・システム、アプリのデータ、設定値
 - ・ダウンロードしたアプリ
 - ・Googleアカウント

お困りのときは

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[お困りのときは]

よくあるご質問	サポートサイトにアクセスし、「よくあるご質問」を確認できます。
設定項目を検索	どこにあるかわからない設定項目を検索できます。
使いこなしガイド	シャープのサイトに接続し、使いこなしガイドを確認できます。
セルフチェック	セーフモードで再起動 セーフモードで起動します。 ・詳しくは、「セーフモードで起動する」(▶P.22)をご参照ください。 チェックスタート 項目を選択して本製品の状態を診断できます。 「端末の機能から選択」を選択した場合は、各項目の「  」をタップすると、ヘルプが表示されます。 診断履歴 セルフチェックの履歴が表示されます。履歴を選択すると、詳細結果が表示されます。

ファイル管理

本製品の保存領域について	96
ストレージに関する設定をする	96
パソコンなどと接続する	96
USBホスト機能を利用する	96

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

- ◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。
- ◎ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータは、「ストレージ」(▶P.96)機能を利用したり、パソコンと「ファイル転送」で接続すると、確認や移動などを行うことができます。ただし、アプリケーションなど、一部のデータは確認や移動することはできません。

ストレージに関する設定をする

ストレージを確認する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ストレージ]**
ストレージ画面が表示されます。
microSDメモリカードやUSBメモリを本製品に取り付けていない場合は、内部共有ストレージが表示されます。
- 2**
 - ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。下記以外に本体メモリやmicroSDメモリカード、USBメモリの使用容量/合計容量などが確認できます。

内部共有ストレージ	内部共有ストレージが表示されます。 ・本体メモリの使用容量の詳細を確認できます。 ・「ファイル」をタップすると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
SDカード	microSDメモリカードに保存されているデータの一覧が表示されます。
USBメモリ名*	USBメモリに保存されているデータの一覧が表示されます。

* USBメモリ(市販品)を接続している場合に表示されます。

microSDメモリカードやUSBメモリのマウントを解除する

- 1 ストレージ画面→microSDメモリカード/USBメモリ名の[▲]**
マウントを解除したmicroSDメモリカードやUSBメモリを再度マウントする場合は、ストレージ画面→[SDカード]/USBメモリ名をタップ→[マウント]と操作します。

メモリ容量について

- ◎ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDのマウント解除について

- ◎ データが壊れる(消去される)ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

USBメモリの取り外しについて

- ◎ USBメモリをマウント解除してから行ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

microSDメモリカード/USBメモリをフォーマットする

フォーマットを行うと、microSDメモリカード/USBメモリに保存されているデータがすべて消去されます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ストレージ]**
- 2 SDカード/USBメモリを選択**
- 3 コンテンツマネージャーのメニューを左にフリック→[i]→[ストレージの設定]**
- 4 [フォーマット]**
- 5 [SDカードをフォーマット]/[USBドライブをフォーマット]**
- 6 [完了]**

- ◎ フォーマットは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

パソコンなどと接続する

本製品とパソコンなどをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続して、本製品と接続した機器間的高速データ転送が利用できます。また、音楽/動画データの転送も可能です。

- ・パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.21)をご参照ください。

1 パソコンと本製品を接続

- 2 USBの設定画面の「この端末」が有効になっていることを確認**
USBの設定画面が表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグし、USB接続の使用方法についての通知をタップしてください。

3	ファイル転送	MTPに対応したパソコンのデータと本体メモリやmicroSDメモリカードの間でデータを転送する場合に設定します。
	USB デザリング	USB デザリングを利用します。 ・詳しくは、「USB デザリング機能を利用する」(▶P.99)をご参照ください。
	MIDI	端末をMIDI入力に使用します。
	PTP	MTPに対応していないパソコンと接続する場合に設定します。 ・パソコンと本体メモリの間で画像などを転送することができます。
	データ転送なし	充電のみを行います。

* 初期状態では、USB2.0規格になっています。

USB の設定画面で「USB3.1で接続する」にチェックを入れると、USBのデータ通信速度が向上しますが、使用環境によっては、データ通信の接続が途中で不安定になることがあります。

4 充電や転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す

USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

- ◎ Windows 7/Windows 8.1/Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。

- ◎ USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。

- ◎ データの読み書きをしている間にUSB Type-Cケーブル(市販品)を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。

接続した機器がロールスワップ機能に対応している機器の場合

ロールスワップ機能に対応している機器同士で接続すると、データ通信のデバイスとホストの役割を入れ替えることができます。

- ◎ USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続したときに表示されるUSBの設定画面で「接続済みの端末」を有効にすると、本製品がホストの役割となり接続した機器のファイルを操作することができます。相手側の機器でファイル操作を許可するなどの操作が必要な場合は行ってください。

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USB機器(市販品)を利用することができます。

- ・USBホスト機能を使用する前に本製品を充電してください。
- ・消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、本製品の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に本製品の電源が切れることがあります。
- ・USBメモリを取り付けた場合の操作については、「ストレージを確認する」(▶P.96)をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子に周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを差し込む

2 周辺機器接続用USBケーブル(市販品)にUSB機器を接続する

- ◎ すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。

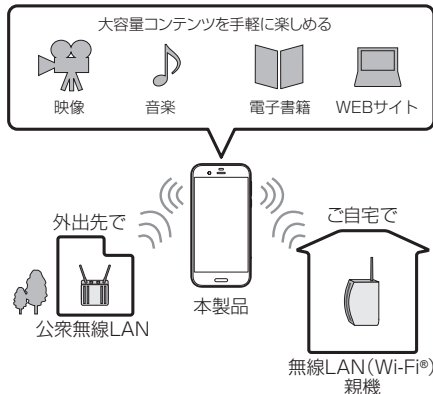
データ通信

無線LAN(Wi-Fi®)機能	98
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	98
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	98
Wi-Fi Direct®を利用する	98
テザリング機能	99
テザリングについて	99
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	99
USB テザリング機能を利用する	99
Bluetooth® テザリング機能を利用する	99
Bluetooth®機能	99
Bluetooth®機能の利用について	99
Bluetooth®を利用する	99
Bluetooth®でデータを送受信する	100

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
Wi-Fi®を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。



- ◎ ご自宅などご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN(Wi-Fi®)親機)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®設定画面が表示されます。
- 2 「Wi-Fiの使用」をタップし、ONに切り替える

Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。
- 2 アクセスポイントを選択
- 3 パスワードを入力→[接続]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

- ◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- ◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用にならない場合があります。
- ◎ インターネットへ接続されていないWi-Fi®アクセスポイントへ接続すると「」が表示され、Wi-Fi®ではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。

Wi-Fi®ネットワークに手動で接続する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
- 2 [ネットワークを追加]
- 3 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

- 4 [保存]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合

- 4 パスワードを入力→[保存]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

- 4 必要な項目を設定／入力→[保存]

- ◎ 「詳細設定」をタップすると、「従量制」「プロキシ設定」「IP設定」「非公開ネットワーク」に関する設定が行えます。
- ◎ 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめアクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)のネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

アクセスポイントとの接続の設定を削除する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→[削除]

Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
- 2 [Wi-Fi 設定]
- 3 ・ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。下記以外にMACアドレスやIPアドレスが確認できます。

Wi-Fi を自動的にONにする	保存済みネットワークの検出時にWi-Fi®機能をONにするかどうかを設定します。
オープン ネットワークの通知	オープンネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。
証明書のインストール*	Wi-Fi®の認証時に必要な証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダ*	ネットワーク評価プロバイダを利用するかどうかを設定します。
Wi-Fi Direct*	▶P.98「Wi-Fi Direct®を利用する」

* 「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

- ◎ アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。

Wi-Fi Direct®を利用する

Wi-Fi Direct®を利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、他のWi-Fi Direct®規格対応機器と、簡単にWi-Fi®接続することができます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
- 2 [Wi-Fi 設定]→[詳細設定]→[Wi-Fi Direct]
検出したWi-Fi Direct®規格対応機器が表示されます。目的の機器が表示されないときは、「デバイスの検索」をタップし、再検索をしてください。
[デバイス名を変更]→デバイス名を入力→[OK]と操作すると、他のWi-Fi Direct®規格対応機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。
- 3 接続するWi-Fi Direct®規格対応機器を選択
- 4 画面に従って操作

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、4G(LTE/WiMAX 2+)データ通信や無線LAN(Wi-Fi®)通信、Bluetooth®通信を通じて無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、USB対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]
- 2 [Wi-Fiテザリング]
- 3 「OFF」をタップして「ON」に切り替える
テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。
◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

■ Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]
- 2 [Wi-Fiテザリング]
- 3 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ネットワーク名	他の無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から検索された場合に表示される名前(ネットワークSSID)を編集できます。
セキュリティ	セキュリティを設定します。
Wi-Fiテザリングのパスワード	セキュリティのパスワードを設定します。
Wi-Fiテザリングを自動的にオフにする*	他の機器から接続が無い状態が続くとWi-Fiテザリングを「OFF」にするかどうかを設定します。

*「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

◎ 「セキュリティ」を「なし」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

USB テザリング機能を利用する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

・あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.21)をご参照ください。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]
- 2 [USB テザリング]
テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ Windows 7/Windows 8.1/Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。

Bluetooth® テザリング機能を利用する

本製品とパソコンなどをBluetooth®機能で接続し、本製品を介してインターネットに接続することができます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]
- 2 [Bluetooth テザリング]
テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能の利用について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ USB Type-Cケーブル(市販品)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®を利用する

■ Bluetooth®を起動する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]→[接続の設定]→[Bluetooth]
- 2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える
「端末名」をタップすると他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。

■ Bluetooth®機器と接続する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]→[接続の設定]→[Bluetooth]
- 2 [新しいデバイスとペア設定する]
検出したBluetooth®機器一覧画面が表示されます。Bluetooth®機器の種類に応じて、アイコンが表示されます。
- 3 接続するBluetooth®機器を選択
- 4 画面に従って操作し、Bluetooth®機器を認証
同じパスキー(ペア設定コード)が表示されていることを確認する旨のメッセージが表示された場合、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることをご確認ください。
パスキー入力画面が表示された場合、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(1～16桁の数字)を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器に接続されます。

- ◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、通話中はオーディオ出力の音が自動的に流れなくなります。
- ◎ ペア設定をしたBluetooth®機器がHSP、HFP、A2DP、HID、HOGPのいずれのプロファイルにも対応していない場合、接続が行われません。
- ◎ Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は検出されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。

■ ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]→[以前接続されていたデバイス]→[現在接続しているBluetooth®機器のメニューを利用する場合は、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みの端末]と操作し、利用する機器の

- 2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

削除	Bluetooth®機器とペア設定を解除します。
接続を解除/接続	Bluetooth®機器との接続を解除/再接続します。
電話	通話をするときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
メディアの音声	音楽や動画を視聴するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
入力デバイス	HID機器を接続して入力するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
インターネットアクセス	ネットワーク機器と接続するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
連絡先の共有	選択したBluetooth®機器が本製品の連絡先や通話履歴へアクセスすることを許可するかどうかを設定します。

◎ 「」をタップすると選択したBluetooth®機器の表示名を編集できます。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手機器（送信側）のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法について詳しくは、「Bluetooth®を起動する」（▶P.99）をご参照ください。

- 1 相手機器からデータ送信
- 2 受信通知後、ステータスバーを下にスライド
- 3 ファイル着信の通知をタップ
- 4 [承諾]
- 5 受信完了後、ステータスバーを下にスライド
- 6 受信したファイルの通知をタップ
- 7 受信したデータを選択

再生／表示／登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。

Bluetooth®でデータを送信する

■ データを選んで送信する

例：静止画の場合

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[アルバム]
- 2 送信する静止画をロングタッチ→[⏏]→[Bluetooth]
- 3 相手機器を選択

■ データを一括して送信する

例：電話帳の場合

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[電話帳]
- 2 [☰]→[設定]→[エクスポート]→[すべての連絡先を共有]
- 3 ステータスバーを下にスライド→[連絡先のエクスポートを完了しました。]→[Bluetooth]→[1回のみ]
「Bluetooth」を選択した後「常時」をタップすると、次回から「Bluetooth」が起動します。
- 4 相手機器を選択

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する	102
auのネットワークサービスについて	102
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	102
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	102
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	103
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	103
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	103
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	105
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	106
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	106
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	106
海外利用	107
au世界サービスについて	107
海外利用に関する設定を行う	107
渡航先で電話をかける	107
渡航先で電話を受ける	107
お問い合わせ方法	108
海外でのご利用上のご注意	108

auのネットワークサービスを利用する

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

標準サービス	SMS(▶P.57) 着信お知らせサービス(▶P.102) 着信転送サービス(▶P.102) 発信番号表示サービス(▶P.103) 番号通知リクエストサービス(▶P.103)
有料オプションサービス*	お留守番サービスEX(▶P.103) 三者通話サービス(▶P.105) 割込通話サービス(▶P.106) 迷惑電話撃退サービス(▶P.106) 通話明細分計サービス(▶P.106)

* 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

■ 着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

- 「着信お知らせサービス」を利用するには、あらかじめお留守番サービスEXの圏外転送を設定してください。(▶P.104)
有料オプションサービスをご契約していない場合も設定を行ってください。
- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
- お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.103)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- すぐにお知らせできない場合はお留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

■ 着信転送サービスについて

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

- 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- 着信転送サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ・ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ・ お客様のご負担となります。 ・ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通話事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 1 ホーム画面→[📶]→[⚙️]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]
- 2 [転送設定]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 3 転送先番号や転送までの時間を設定→[OK]
転送までの時間は5秒～55秒の間で設定できます。

○ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。このとき「伝言メモを利用する」(▶P.40)が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 ホーム画面→[📶]→[⚙️]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]
- 2 [転送設定]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 3 転送先番号を設定→[OK]

○ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに電話を転送します。

- 1 ホーム画面→[📶]→[⚙️]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]
- 2 [転送設定]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 3 転送先番号を設定→[OK]

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

- 1 ホーム画面→[📶]→[⚙️]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[選択転送]
- 2 [転送設定]
- 3 転送先番号を設定→[OK]

○ かかってきた電話に出ず、登録した転送先に手動で転送する方法については、「着信に出ずに転送する」(▶P.40)をご参照ください。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面→[📶]→[⚙️]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]
- 2 [転送設定]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 3 転送先番号を設定→[OK]

○ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

- 1 090-4444-XXXXに電話をかける
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

- 2 本製品の電話番号を入力
- 3 暗証番号(4桁)を入力
暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.15)をご参照ください。
- 4 ガイダンスに従って操作

○ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
○ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

発信番号表示サービスについて

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様の端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

- ◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- ◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「不明」(Unknown)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[発信者番号通知]

- ◎ 電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を有効にしても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号通知」を無効に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

番号通知リクエストサービスについて

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービスのそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信拒否]→[番号通知リクエストサービス]

2 [番号通知リクエストサービス設定]→[ON]

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ SMS
 - ・ その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信拒否]→[番号通知リクエストサービス]

2 [番号通知リクエストサービス設定]→[OFF]

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.91)を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・ 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・ お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.103)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで*1
お預かりできる件数	99件まで*2
1件あたりの録音時間	3分まで

*1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

*2 件数は伝言とボイスメール(▶P.104)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料はかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ・ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「141」を入力→[📞]

2 ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]

2 [転送設定]→[留守番]

「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。

3 転送までの時間を設定→[OK]

転送までの時間は5秒～55秒の間で設定できます。

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]
- 2 [転送設定]→[留守番]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 3 [OK]

◎ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに、電話を留守番電話サービスに転送します。

- 1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]
- 2 [転送設定]→[留守番]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 3 [OK]

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で留守番電話サービスに転送します。

- 1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[選択転送]
- 2 [転送設定]→[留守番]
- 3 [OK]

◎ かかってきた電話に出ず、留守番電話サービスに手動で転送する方法については、「着信に出ずに転送する」(▶P.40)をご参照ください。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]
- 2 [転送設定]→[留守番]
「転送停止」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 3 [OK]

◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

- 1 お留守番サービスで留守応答
かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.104「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。
- 2 伝言を録音
録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。
- 3 「#」を押して録音を終了
録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
「1」: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」: 録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」: 録音した伝言を消去して、取り消す
「*」: 録音した伝言を消去して、録音し直す
- 4 電話を切る

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生すると、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

- 1 ホーム画面→[📞]→[☎]→[1612]+相手の方のau電話番号を入力→[📞]
- 2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

- ◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- ◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

- 1 ホーム画面→[📞]→[☎]→[1]をロングタッチ
ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[留守伝言再生]→[はい]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
ホーム画面→[📞]→[☎]→[1417]を入力→[📞]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
- 2 ガイダンスに従ってキー操作
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
「1」: 同じ伝言をもう一度聞く
「4」: 5秒間巻き戻して聞き直す
「5」: 伝言を一時停止(20秒間)*
「6」: 5秒間早送りして聞く
「7」: 再生済みの伝言を全て消去
「9」: 伝言を消去
「0」: 伝言再生中の操作方法を聞く
「#」: 次の伝言を聞く
「*」: 前の伝言を聞く
※「☎」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。
- 3 [☎]

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[応答内容変更]→[はい]
ホーム画面→[📞]→[☎]→[1414]を入力→[📞]と操作しても設定できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

- 2 「1」を入力→「1」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[☎]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

■ 電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

- 2 「1」を入力→「2」を入力→10秒以内で名前を録音→「#」を入力→「#」を入力→[☎]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

- 2 「3」を入力→応答メッセージを確認→[☎]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

- 2 「1」を入力→「3」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[☎]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定で、スキップができないように設定することができます。
◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「2」→「1」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って「1」→「4」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておく、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは「応答メッセージの録音/確認/変更をする」(▶P.104)をご参照ください。

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「1610」を入力→[📞]
- 2 ガイダンスを確認→[📞]

- ◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「1611」を入力→[📞]
- 2 ガイダンスを確認→[📞]

- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

- 1 090-4444-XXXXに電話をかける
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(無条件)開始	1418
留守番転送設定(無条件)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

- 2 本製品の電話番号を入力

- 3 暗証番号(4桁)を入力
暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.15)をご参照ください。

- 4 ガイダンスに従って操作

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュボタンを使用します。プッシュボタンが送出不いた電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[ガイド言語設定]→[英語ガイダンス]→[はい]
ホーム画面→[📞]→[📞]→「14191」を入力→[📞]と操作しても切り替えることができます。
英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

- 2 [📞]

- ◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[ガイド言語設定]→[日本語ガイダンス]→[はい]
ホーム画面→[📞]→[📞]→「14190」を入力→[📞]と操作しても切り替えることができます。
日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

- 2 [📞]

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例: Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

- 1 Aさんと通話中に[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力
通話中に電話帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。
- 2 [📞]
通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出します。
- 3 Bさんと通話
Bさんが電話に出ないときは、「📞」をタップするとAさんとの通話に戻ります。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「📞」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- 4 [統合]
3人で通話できます。
「管理」をタップすると、三者通話を行っている相手の方を確認できます。
「📞」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

- ◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎ 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
- ◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- ◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であつた場合には、割り込みはできません。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

割込通話サービスについて

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

- ◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

- 1 ホーム画面→[📶]→[⚙️]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[割込通話設定]→[割込通話]→[ON]
ホーム画面→[📶]→[📶]→[1451]を入力→[📶]と操作しても開始できます。

- ◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

- 1 ホーム画面→[📶]→[⚙️]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[割込通話設定]→[割込通話]→[OFF]
ホーム画面→[📶]→[📶]→[1450]を入力→[📶]と操作しても停止できます。

割込通話を受ける

例: Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

- 1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる
- 2 「📶」を上にもスワイプ
Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「📶」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

- ◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、「📶」をタップすると、保留中の相手の方と通話できます。
- ◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話撃退サービスについて

迷惑電話やいたずら電話がかかってきた後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

- 1 ホーム画面→[📶]→[📶]→[1442]を入力→[📶]
ホーム画面→[📶]→[⚙️]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信拒否]→[迷惑電話撃退サービス]→[新規登録]→[最終着信の相手を追加]→[はい]でも同様に操作できます。

指定の電話番号を登録する

- 1 ホーム画面→[📶]→[⚙️]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[着信拒否]→[迷惑電話撃退サービス]
- 2 [新規登録]→撃退する電話番号を設定

- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・SMS

登録した電話番号を全件削除する

- 1 ホーム画面→[📶]→[📶]→[1449]を入力→[📶]
- 2 削除する電話番号を選択→[1件削除]/[全件削除]→[はい]

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

- 1 ホーム画面→[📶]→[📶]→[131]+相手先電話番号を入力→[📶]
- 2 [📶]

- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTS/LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

- ・いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- ・特別な申し込み手続きや月額料の定額は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
※新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。
ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話（発信）した翌々日よりご利用が可能です。
- ・ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/>

■ 海外でご利用のお客さま ※渡航前に必ずご確認ください
https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- ・海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます。
- ・データ通信を行う場合は「ローミング」(▶P.107)を有効に設定します。

■ データ通信を設定する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[海外ローミング設定]→[ローミング]

※ タップするたびに有効／無効が切り替わります。

- ◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。

■ 世界データ定額

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/>

■ 海外ダブル定額

<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/>

■ 海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[海外ローミング設定]→[4Gを有効にする]

※ 初期状態では「ON」に設定されています。

- ◎ LTE NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
- ◎ VoLTEが利用できる国・地域についてはauホームページをご参照ください。
- ◎ 海外で通話やデータ通信の品質がよくない場合は、「4Gを有効にする」を「OFF」にすると改善されることがあります。ただし、日本国内では「4Gを有効にする」を常時「ON」で利用してください。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/volte/>

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

- 1 ホーム画面→[☎]→[📞]

- 2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

- 3 相手の国番号を入力

- 4 地域番号(市外局番)を入力

地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

- 5 相手の方の電話番号を入力→[📞]

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

+81(国番号)3(市外局番)1234XXXX(相手の方の電話番号)

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合

+1(国番号)123(市外局番)456XXXX(相手の方の電話番号)

- ◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
- ◎ 渡航先では、一部特番などがかけられない電話番号があります。
- ◎ 国番号についてはKDDI国際電話ホームページをご参照ください。
<http://www.001.kddi.com/countrycode/>

渡航先で電話を受ける

日本国内にいたるときと同様の操作で、電話を受けることができます。

- ◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信通話料がかかります。
- ◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいたるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- ◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、現地からの国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

■ 海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間 24時間

1 ホーム画面→[📶]→[📞]

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[📞]

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>

◎ 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ/オン(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

海外でのご利用上のご注意

■ 本製品を盗難・紛失したら

- ・海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.108)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- ・本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては、「SIM カードロック設定」(▶P.90)をご参照ください。

■ auネットワークサービス(▶P.102)に関するご注意

- ・以下のサービスは、au世界サービス「VoLTE」利用中以外はご利用いただけません。
 - ・着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送・圏外転送、選択転送
 - ・お留守番サービスEX(オプションサービス)
 - ・三者通話サービス(オプションサービス)*
 - ・割込通話サービス(オプションサービス)
 - ・通話明細分計サービス(オプションサービス)
- ・発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
- ・番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- ・渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- ・迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、au世界サービス「VoLTE」利用中以外は受信拒否リストへの登録ができません。
また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。

※ au世界サービス「VoLTE」利用中であっても、グラム、サイパンではご利用いただけません。

付録・索引

付録.....	110
ソフトウェアを更新する.....	110
故障とお考えになる前に.....	110
アフターサービスについて.....	111
SIMロック解除について.....	112
周辺機器.....	112
主な仕様.....	112
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	113
Regulatory information.....	113
FCC Notice.....	114
輸出管理規制.....	114
知的財産権について.....	114
索引.....	116

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。
また、OSアップデートも、ソフトウェア更新の機能を利用して行うことが可能です。OSアップデートとは、本製品のOSのバージョンアップを含むソフトウェア更新です。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「システム」→「詳細設定」→「システム アップデート」
ソフトウェア更新が必要かどうかの確認を開始します。「アップデートをチェック」をタップして確認します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードし、インストールすることができます。
・ステータスバーにが表示されている場合は、ステータスバーを下にスライドし、通知をタップして画面に従って操作してください。

2 「ダウンロード」→「再起動してインストール」

■ ご利用上のご注意

- ・データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
 - ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157 / 通話料無料）までお問い合わせください。また、SHV39をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHV39をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
 - ・更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
 - ・ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
 - ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
 - ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。
 - ・十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
 - ・電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
 - ・ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ（電話帳、メール、静止画、音楽データなど）や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
 - ・海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
 - ・OSアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。
- ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください**
- ・ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。
- ソフトウェア更新実行中にできない操作について**
- ・ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに「故障紛失サポート」アプリ（▶P.78）の「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

■ クイック診断

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「サポート」→「故障紛失サポート」→「クイック診断してみる」

■ トラブル診断

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「サポート」→「故障紛失サポート」→「便利な機能」→「トラブル診断を試す」

以下のauホームページからもご確認くださいませ。

<https://www.au.com/trouble-check/>



こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	・（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？（▶P.29） ・内蔵電池が寿命となっていませんか？電池の状態を確認してください。（▶P.20） ・十分に充電されていますか？（▶P.20） ・使用していない機能を停止してください。（▶P.30） ・使用していないアプリケーションを終了してください。（▶P.31）
電話がかかけられない	・正しいau ICカードが挿入されていますか？（▶P.19） ・電話番号が間違っていないですか？（市外局番から入力していますか？）（▶P.38） ・「機内モード」が設定されていませんか？（▶P.91） ・「4Gを有効にする」が間違っていないですか？（▶P.107） ・電源は入っていますか？（▶P.22） ・電話番号入力後、「」をタップしていますか？（▶P.38）
電話がかかってこない	・電波は十分に届いていますか？（▶P.29） ・サービスエリア外にいませんか？（▶P.29） ・「機内モード」が設定されていませんか？（▶P.91） ・「4Gを有効にする」が間違っていないですか？（▶P.107） ・着信転送サービスが設定されていませんか？（▶P.102） ・電源は入っていますか？（▶P.22） ・正しいau ICカードが挿入されていますか？（▶P.19） ・「着信拒否」が設定されていませんか？（▶P.41）
Wi-Fi®がつかない	・Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？（▶P.29） ・Wi-Fi®の設定をしましたか？（▶P.98）
ディスプレイの照明が暗い	・「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？（▶P.88）
相手の方の声が聞こえない	・通話音量が最小に設定されていませんか？（▶P.38） ・受話口を耳でふさいでいませんか？ 受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
テレビが映らない、映像が止まる、音声が出ない	・地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？（▶P.29） ・シャープ TVアンテナケーブル02が接続されていますか？（▶P.70） ・視聴している場所が選択しているチャンネルリストと合っていますか？（▶P.72）
カメラが動作しない	・電池残量が少なくなっていないですか？（▶P.20） ・カメラの利用についてご確認ください。（▶P.64）
microSDメモリーカードを認識しない／目的のデータが見つからない	・microSDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？（▶P.20） ・microSDメモリーカードのマウントが解除されていませんか？（▶P.96） ・本体メモリにデータを保存していませんか？microSDメモリーカード以外に本体メモリにもデータを保存できます。
キー／タッチパネルの操作ができない	・「画面ロック」が設定されていませんか？（▶P.90） ・電源を切り、電源を入れ直してみてください。 ・電源は入っていますか？（▶P.22）
充電ができない	・指定の充電用機器（別売）の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？（▶P.21）
電源が入らない	・内蔵電池は充電されていますか？（▶P.20） ・を長押ししていますか？（▶P.22）

こんなときは	ご確認ください
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	①④を8秒以上長押し、バイブレータが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。(▶P.22)
タッチパネルで意図した通りに操作できない	- 手袋などをしたまま操作していませんか？手袋をしたまま操作する場合は「グローブモード」をONにしてください。(▶P.88) - 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ - タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。(▶P.26) - 再起動してください。(▶P.22)
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本体メモリとmicroSDメモ리카ードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
au ICカード(SIM)エラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	正しいau ICカードが挿入されていますか？(▶P.19)
おサイフケータイ®が使えない	- 電池が切れていませんか？(▶P.20) - おサイフケータイ®をロックしていませんか？(▶P.77) - 本製品のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか？(▶P.76)
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？(▶P.20)
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？(▶P.20)
■(圏外)が表示される	- 電波は十分に届いていますか？(▶P.29) - サービスエリア外にいませんか？(▶P.29) - 内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？(▶P.18) - 正しいau ICカードが挿入されていますか？(▶P.19) 「4Gを有効にする」が間違っていないですか？(▶P.107)
ディスプレイ、または充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	マナーモードに設定されていませんか？(▶P.30)
充電していただかないと表示された	電池残量がほとんどありません。(▶P.20)
電話が勝手に応答する	- 伝言メモが設定されていませんか？(▶P.40) - マナーモードが設定されていませんか？(▶P.30)
電話をかけたときに受話口から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらない	- 電波は十分に届いていますか？(▶P.29) - サービスエリア外にいませんか？(▶P.29) - 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。
ディスプレイの照明がすぐに消える	「スリープ」が短く設定されていませんか？(▶P.88)
イヤホンマイクのマイクが使えない	イヤホンプラグが正しく挿入されていますか？奥までしっかり挿入してください。
電話帳の個別の設定が動作しない	- 相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、電話帳の設定は有効になりません。 - 同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？(▶P.44)
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは追加しましたか？(▶P.59)
パソコンから本体メモリのデータを認識できない	本体メモリを使用する場合は「ファイル転送」で接続してください。(▶P.96)
パソコンからmicroSDメモ리카ードを認識できない	microSDXCメモ리카ードを使用する場合は「ファイル転送」で接続してください。(▶P.96)

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内部の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- ◎ シャープTVアンテナケーブル02、SIM取り出しツール(試供品)などの付属品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSHV39本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

- 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
 - 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
 - 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
- 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - 地震、風水害などの天災および火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
- 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
 - 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
 - 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
 - 出張による修理対応はお受けできません。
 - 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>

- ◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPiItまでお問い合わせください。

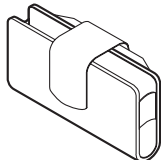
SIMロック解除について

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「システム」→「端末情報」→「SIMロックの状態」から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

- ロボクル(SHV39PUA)
- シャープ TVアンテナケーブル02(02SHHSA)
- auキャリングケースGブラック(0106FCA) (別売)



- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA) (別売)
- 共通ACアダプタ03(0301PQA) (別売)*
- 共通ACアダプタ05(0501PWA) (別売)*
- 共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA) (別売)*
- 共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA) (別売)*
- 共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA) (別売)*
- 共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA) (別売)*
- AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W) (別売)*
- AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R) (別売)*
- AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L) (別売)*
- AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P) (別売)*
- AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N) (別売)*
- ポータブル充電器02(0301PFA) (別売)*
- microUSBケーブル01(0301HVA) (別売)*
- microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA) (別売)*
- microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA) (別売)*
- microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA) (別売)*
- microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA) (別売)*

- MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA) (別売)

* ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。

- ◎ ポータブル充電器02(別売)では、本製品を十分に充電できない可能性があります。
- ◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
<http://onlineshop.au.com/>

主な仕様

■ 本体(SHV39)

ディスプレイ	約5.3インチ、約1,677万色、IGZO、2,560×1,440(WQHD)
質量	約169g(内蔵電池含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約74mm×153mm×8.7mm(最厚部:約8.8mm)
メモリ(内蔵)	RAM:約4GB Internal Storage:約64GB
連続通話時間(国内)	約1,360分
連続通話時間(海外(GSM))	約740分
連続待受時間(国内)	約560時間
連続待受時間(海外(GSM))	約540時間
連続テザリング時間	約630分
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台
充電時間	TypeC共通ACアダプタ01(別売)使用時:約150分 ロボクル使用時:約180分
連続フルセグ視聴時間*1	約9時間50分
連続ワンセグ視聴時間*1	約13時間10分
撮影素子	アウトカメラ CMOSイメージセンサー インカメラ CMOSイメージセンサー
有効画素数	アウトカメラ 約2,260万画素 インカメラ 約1,630万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.5.0 出力:Bluetooth®標準規格Power Class 1 通信距離*2:見通しの良い状態で100m以内 対応Bluetooth®プロファイル*3:HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP*4、HID、PAN(PAN-NAP)、PAN(PANU)、HOGP*5、DUN*6、FTP 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/5GHz)*7/ac*7*8準拠
インターフェース	USB Type-C端子、3.5φ(4極)イヤホンマイク端子(対応イヤホン:3極ヘッドホン(Lch/Rch/GND)、4極マイク付きイヤホン(Lch/Rch/GND/MIC))

*1 使用条件により連続フルセグ/ワンセグ視聴時間は変わります。

*2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

*3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のごとで、Bluetooth®標準規格で定められています。

*4 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

*5 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。

*6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

*7 MIMOに対応しています。

*8 MU-MIMO(Clientモード)に対応しています。

(対応商品については各社ホームページをご覧ください。)

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ ロボクル

入力	DC 5.0V/3.0A
出力	DC 5.0V/3.0A
サイズ(幅×奥行×高さ)	約102mm×102mm×85mm
質量	約209g
周囲温度	5℃～35℃
周囲湿度	35%～85%

■ シャープ TVアンテナケーブル02

長さ	136mm(プラグ/ジャック部含む)
質量	約5g
使用温度/使用湿度範囲	5℃～35℃/35%～85%
プラグ/ジャック	3.5φ、4極プラグ/3.5φ、4極ジャック

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHV39】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は1.435W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.506W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリーをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<http://www.who.int/emf>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○シャープのホームページ:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

○auのホームページ:

<https://www.au.com/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

Regulatory information

In some countries/regions including Europe^{※1}, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.

Please check the local laws and regulations beforehand.

※1 The following EU and EFTA member countries:

Belgium (BE), Bulgaria (BG), Czech Republic (CZ), Denmark (DK), Germany (DE), Estonia (EE), Ireland (IE), Greece (EL), Spain (ES), France (FR), Croatia (HR), Italy (IT), Cyprus (CY), Latvia (LV), Lithuania (LT), Luxembourg (LU), Hungary (HU), Malta (MT), Netherlands (NL), Austria (AT), Poland (PL), Portugal (PT), Romania (RO), Slovenia (SI), Slovakia (SK), Finland (FI), Sweden (SE) and United Kingdom (UK), Switzerland (CH), Liechtenstein (LI), Iceland (IS), Norway (NO).

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHV39 is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,

1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

• Description of accessories

Headset, Handsfree	φ3.5 audio jack, Bluetooth
USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD memory card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano UIM card	au Nano IC Card 04/non-au Nano IC Cards non-au Nano IC Cards can be used after SIM-unlocking the handset.
Cradle	For charging, peripherals, etc.

• Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 38	Tx 2572.5 to 2617.5 MHz Rx 2572.5 to 2617.5 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz
WLAN 5GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW:80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW:80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW:80 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GNSS	GPS: Rx L1(1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1(1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1(1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1(1561.098 MHz)

• Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 38	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+5.0 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+14.0 dBm
WLAN 5 GHz	+13.0 dBm
NFC	-10 dBμA/m at 10 m

■ Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Be especially careful not to shoot small children from a very close distance. Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

■ AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

■ Battery - CAUTION

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

■ Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

■ Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 130.0 mV.

■ Stand-by Mark

⏻ : This symbol means the stand-by on/off.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 1.030 W/kg^{※2} and when worn on the body is 1.340 W/kg^{※2}.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※2 The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the System, the Advanced & the Authentication under the Settings menu.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHV39
FCC ID	APYHRO00249
At the Ear	0.52 W/kg
On the Body	0.41 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。



- Wi-Fi®, Wi-Fi CERTIFIED®, Wi-Fi Protected Setup®, Wi-Fi Direct®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。

- Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft®, Windows®, Microsoft® Excel®, Microsoft® PowerPoint®, Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Word, Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- ㊦は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- Google™, Google ロゴ, Android™, Android ロゴ, Google Play™, Google Play ロゴ, Gmail™, Gmail ロゴ, Google カレンダー™, Google カレンダー ロゴ, Google マップ™, Google マップ ロゴ, Google Chrome™, Google Chrome ロゴ, Chromebook™, Google 音声検索™, Google 音声検索 ロゴ, YouTube™, YouTube ロゴ, Google ドライブ™, Google ドライブ ロゴ, Google™ 検索, Google 検索 ロゴおよびGoogle フォト™は、Google LLC の商標です。
- Instagramは米国およびその他の国におけるInstagram, LLCの商標です。
- TiVo, Gガイド, G-GUIDE, Gガイドモバイル, G-GUIDE MOBILE, およびGガイド関連ロゴは、米国TiVo Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



- 「AQUOS/アクオス」「AQUOS」ロゴ「AQUOS R」ロゴ「AQUOS Home」「AQUOS便利機能」「AQUOS Frosted Cover」「Frost Sign」「スロートーク/Slow Talk」「Bright Keep」「フタタッチシャッター」「おすすめオート」「おすすめプラス」「あとからキャプチャー」「インテリジェントフレーミング」「ロボクル/ROBOQUL」「エモバー/emopa」「エモバーメモ」「エモバーヘルスケア」「エモパーク/emopark」「パーチャルHDR」「エスショイン/S-Shoin」「クリップナウ/Clip Now」「ヒカリエモーション」「ロックフォトシャッフル」「長エネスイッチ」「リラックスビュー/Relax View」「なめらかハイスピード表示」「からだメイト」「LCフォント/LCFont」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の商標または登録商標です。



- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2018 All Rights Reserved. iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2018 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYAサービス株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「システム」→「端末情報」→「法的情報」→「サードパーティ ライセンス」をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

■ License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1, Microsoft® Windows® 8.1 Pro, Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate)の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See <http://www.mpegla.com>. This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegla.com> for additional details.

索引

数字／アルファベット

1 件削除	
指定電話番号削除	106
ユーザー辞書単語一覧画面のメニュー	36
4Gを有効にする	107
12キーボード	94
24時間表示	92
24 時間表示を自動設定	92
Android Beam	76
Android/バージョン	92
AQUOS Home	27
AQUOS便利機能	89
au ICカード／microSDメモ리카ードトレイ	18
au ICカード	19
au ID	86
au Wi-Fi 接続ツール	86
au Wi-Fi接続ツール	79
au位置情報サービス	86
auかんたん設定	86
au国際電話サービス	
au国際電話サービス	39
差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URL	50
au災害対策・緊急速報メール	86
auサポート	86
auショップで故障相談	78
auスマートサポート	78
auスマートパス	78
au世界サービス	107
au設定	86
au設定メニュー	86
au通信品質レポート機能	86
au通話設定	40
Bluetooth	99
Bluetooth送信	100
Bluetooth デザリング	99
Bluetoothヘッドセット	92
CAS情報の初期化	73
Chrome	62
Chromebook	87
Clip Now	90
COCORO BOOKS	80
COCORO MEMBERS設定	89
D絵文字	49
Eメール	46
Eメール作成	50
Eメール情報	54
Eメール設定	54
FCC Notice	114
Gboard	92
Gmail	60
Google Play プロテクト	90
Google音声入力	92
GPS／内蔵アンテナ	18
Gガイド	71
HDR	65
HDR動画設定	88
IMAP/パスのプレフィックス	59
IMEI	92
ISO感度	65
LED	
個別通知設定	54
通知設定	54
フォルダ着信通知	52
microSDメモ리카ード	20
MIDI	96
My au	78
NFC／おサイフケータイ 設定	76
ON／OFF設定	89
PC 版サイト	62
PCメール	59
PHOTOSHOW(Webページ)	65
PINコード	15
Playストア	80
PTP	96
QWERTYキーボード	34
SATCH	79
SDカード	96
SDカードにデータ保存	23
SIM カードロック設定	90
SIMのステータス	92
SIMロック解除	112
SIMロックの状態	92

Smart Lock	90
SMS	57
SMS作成	50
SMTPサーバー	59
TVリンク	72
URLをコピー	50
USB	87
USB デザリング	
USB デザリング機能	99
パソコンなどと接続	96
USBホスト機能	96
Voice Match	92
VPN	86
Wi-Fi®	98
Wi-Fi® / Bluetooth®アンテナ	18
Wi-Fi Direct	98
Wi-Fi®アンテナ	18
Wi-Fiデザリング	99
Wi-Fiデザリングのパスワード	99
Wi-Fiデザリングを自動的にオフにする	99
Wi-Fi を自動的に ON にする	98

あ

アイコン	29
アウトカメラ	18
アカウント	44
アカウントの同期	91
アカウント名	59
アカウントを削除	
アカウント削除	91
アカウント設定変更	59
アカウントを追加	91
明るさの自動調節	88
明るさのレベル	88
新しいシークレット タブ	62
新しいタブ	62
新しいデバイスとペア設定する	
Bluetooth®機器接続	99
接続済み端末の設定	87
新しい連絡先のデフォルト アカウント	44
宛先候補表示	54
アドレスコピー	50
アドレス帳引用	
フォルダモードEメール送信	48
本文入力中	49
アドレス帳グループ引用	48
アドレス帳登録	50
アドレス帳登録外	
受信フィルター設定	58
フォルダ振分条件	53
アドレス帳登録名表示	54
アドレス帳への登録	58
あなたについて	90
アニメーションの削除	91
アプリ使用履歴	31
アプリ初回起動時の確認画面	31
アプリと通知	87
アプリに必要な許可	31
アプリの権限	31
アプリレベルの権限	91
アプリ連携・引用(マッシュルーム)	36
アラーム	83
アラーム設定	73
アラームの音量	
アラーム	83
音の設定	88
歩きスマホ注意アプリ	86
アルバム	66
暗号化と認証情報	90
暗証番号	15
あんしんフィルター for au	79
以前接続されていたデバイス	87
位置検索サポート	78
位置情報	91
位置情報サービス	91
位置情報付加	65
移動	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール個別操作	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	52
イベントに振り分け	66
イベント振り分け	66
イベント名変更	66
イベントを新規作成	
アルバムのメニュー	66
イベントごとに振り分け	66

イヤホンマイク端子	18
色反転	91
色補正	91
インカメラ	18
インカメラ小顔補正	65
インカメラ美肌調整	65
インカメラレンズ補正	65
印刷	
アルバムのメニュー	66
印刷設定	87
インターネットアクセス	99
インテリジェントフレーミング	65
インポート	44
ウィジェット	27
英語ガイド	105
映像／音声／字幕設定	71
エクスポート	44
絵文字	35
エモバー	89
エモバー設定	89
エモバー選択	89
エモバー使い方ガイド	90
エモバーの音量	88
エモバーの記憶	90
エモバーの話題	90
エモバーへの話しかけ方	90
エモバーヘルスケア	90
エモバーメモ	90
遠隔操作サービス	
お留守番サービス	105
着信転送サービス	102
遠隔操作サポート	78
応答時間設定	41
応答内容変更	104
応答メッセージ設定	41
大きなマウスポインタ	91
オープン ネットワークの通知	98
お気に入りからコンテンツを探す	49
お困りのときは	93
おサイフケータイ®	76
押し続ける時間	91
お知らせパネル	30
おすすめオート	65
おすすめ機能の紹介	90
オススメ設定をする	56
オススメの設定はこちら	56
おすすめプラス	65
音	88
音とバイブレーション	40
オフタイマー設定	73
お留守番サービスEX	103
お留守番サービス総合案内	103
音声	38
音声／字幕設定	73
音声出力	92
音声・伝言メモ	40
音声入力	
Gboard設定	92
音声入力	35
音声発信	50
音声メモ	38
音声メモリスト	41
オンラインの音声認識	92
音量UP／DOWNキー	18
音量キーのショートカット	91

か

開始時刻	72
開始日	72
改善情報取得・auアプリサイドメニュー連携設定	54
ガイド線	65
外部画像表示アドレス	54
外部接続端子	18
顔文字	35
拡大	91
画質とデータ量	65
画質モード	88
仮想キーボード	92
画像の表示／非表示	66
画像編集	
アルバムのメニュー	66
画像編集	68
画像保存	53
画像を登録	66
壁紙	
壁紙設定	27

ディスプレイ設定	88
カメラ(静止画)	49
カメラ(動画)	49
画面の明るさを最小にする	82
画面の固定	91
画面の自動回転	
ディスプレイ設定	88
ユーザー補助設定	91
画面の滑らかさを制限する	82
画面ロック	90
画面ロック音	88
からだメイト	83
カレンダー	82
管理	38
キーパッド	38
期間	30
記号	35
機内モード	87
機能紹介	23
基本通知設定	54
基本動作について	89
キャスト	87
ギャラリー(静止画)	49
ギャラリー(動画)	49
強制的に電源を切る	22
共有	
Eメール詳細表示画面のメニュー	52
Eメールのスレッド個別操作	53
電話帳詳細画面のメニュー	44
共有	62
拒否	40
拒否リスト登録	
Eメール個別操作	51
差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URL	50
拒否リストに登録する	56
切り替え	38
切替	46
切り取り	35
緊急時情報	92
近接センサー	18
クイック診断してみる	78
クイック返信	
アカウント設定変更	59
通話に関する設定	40
クイック返信を挿入	60
くっきりトーク	38
クライアント証明書	59
グライド入力	92
くりかえし	72
グローブモード	88
携帯／PHS以外からのメールを拒否する	56
圏外転送	
お留守番サービスEX	104
着信転送サービス	102
言語	
Gboard設定	92
Google音声入力設定	92
使用言語や文字入力設定	92
言語と入力	92
検索	
Eメール一覧画面のメニュー	51
カレンダー画面のメニュー	82
スレッド内容表示画面のメニュー	53
本文入力中	49
件名	53
件名を非表示	53
件名を表示	53
光学式手ブレ補正	65
交換申し込み	78
高校生	79
高校生プラス	79
高コントラストテキスト	91
公衆電話	41
高度なマナーモード	
音の設定	88
高度なマナーモード設定	30
マナーモード	30
声でエモバーを呼び出し	90
国際発信設定	40
故障紛失サポート	78
このイベントからはずす	66
このイベントを削除	66
コピー	
Eメールのスレッド個別操作	53
切り取り／コピーして貼付	35
コピー編集	51
個別通知設定	54
コントローラー表示位置	73

さ

サーバー	59
サーバーからメールを削除	59
サービスTOP	77
再起動	22
最近使ったタブ	62
最近の位置情報リクエスト	91
最近開いたアプリ	87
再振分け	52
削除	
Bluetooth®機器のメニュー	99
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール個別操作	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	52
Eメールのスレッド個別操作	53
アクセスポイント接続設定削除	98
スレッド一覧画面のメニュー	53
スレッド内容表示画面のメニュー	53
伝言メモ/音声メモ再生	41
電話帳詳細画面のメニュー	44
本文入力中	49
差出人名称	54
サブマイク	18
三者通話サービス	105
時刻設定	92
システム	91
システム アップデート	110
下書きを保存	60
視聴中のチャンネル	71
指定番号	
受信フィルター設定	58
着信拒否設定	41
指定番号リスト	58
自動画面点灯	89
自動再送信	54
自動調整バッテリー	87
自動的に ON	
長エネスイッチ	82
マナーモード設定	30
自動転送先の設定へ	55
自動入力サービス	92
字幕	91
指紋	27
指紋センサー	
AQUOS便利機能の設定	89
各部の名称と機能	18
指紋を追加	27
写真サイズ	65
充電開始時	88
充電時の音	88
充電ランプ	18
終了時刻	72
終話時	88
受信済みファイル	87
受信設定	59
受信フィルター	58
受信リストに登録/アドレス帳受信設定をする	56
出荷時リセット	92
手動で予約	72
受話口	18
小学生	79
詳細設定	92
詳細表示	53
証明書のインストール	98
ショートカットを作成	44
署名	
SMS設定	58
アカウント設定変更	59
送信・作成設定	54
署名編集	58
白とび/黒つぶれ表示	65
新規作成	
会話モードEメール送信	48
フォルダモードEメール送信	48
新規登録	
指定電話番号登録	106
ユーザー辞書単語一覧画面のメニュー	36
新着問合せ	50
信頼できるエージェント	91
水準器	65
スキャン	91
スクリーンショット	82
スクリーンセーバー	88
スクロールオート	89
スケジュール	82
ステータスバー通知	54

ステータスバーへの通知	89
ステータスパネル	30
ストップウォッチ	83
ストレージ	
Eメールデータ添付	49
ストレージ確認	96
ストレージへ保存	50
スピーカー	
各部の名称と機能	18
通話中画面の操作	38
スピーカーOFF	41
スピーカーON	41
全ての設定を一括解除する	56
スペルチェック	92
スマートフォンから電話帳データを取り込む	23
スマホカバー設定	89
スマホとタブレットを連携する	86
スライド	26
スライドショー	66
スリープ	88
スロートーク	38
スロー範囲をエクスポート	67
スワイプ	26
製品情報	73
セーフモード	22
セキュリティ	99
セキュリティ アップデート	90
セキュリティと現在地情報	90
セキュリティの種類	59
接続	
Bluetooth®機器のメニュー	99
Wi-Fi®ネットワークに接続	98
接続済みの端末	87
接続の設定	87
接続を解除	99
設定	
Chrome画面のメニュー	62
Gboard設定	92
PCメール作成画面のメニュー	60
SMS設定	58
アカウント設定変更	59
アルバムメニュー	66
カレンダー画面のメニュー	82
再生画面のメニュー	73
設定メニュー表示	86
通話に関する設定	40
通話履歴一覧画面のメニュー	39
テレビ設定	73
電話帳設定	44
設定更新	54
設定項目を検索	93
設定リセット	65
セルフケア設定	86
セルフタイマー	65
セルフチェック	93
全員に返信	51
全検索	
スレッド一覧画面のメニュー	53
スレッド一覧画面のメニューを利用する	51
フォルダー一覧画面のメニュー	52
全件削除	
指定電話番号削除	106
ユーザー辞書単語一覧画面のメニュー	36
センサー感度補正	92
選択して操作	
視聴/録画予約画面のメニュー	72
録画一覧画面のメニュー	73
選択転送	
お留守番サービスEX	104
着信転送サービス	102
操作	91
装飾	49
装飾全解除	49
送信	51
送信・作成設定	54
送信時確認表示	54
送信失敗通知	54
送信失敗理由	51
送信設定	59
送信予約	48
送信予約解除	
Eメール個別操作	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	52
送信予約情報	
Eメール個別操作	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	52
送達確認	58

挿入	
本文装飾	49
本文入力中	49
送話口	18
その他	49
その他の詳細設定をする	56
た	
対象アプリ設定	89
タイトル	72
タイマー	83
タイムゾーンの自動設定	92
タイムゾーンの選択	92
タイムラプス	65
ダイヤルパッドの操作音	88
ダウンロード	62
タッチ操作音	88
タッチパネル	18
タップ	26
タップ操作時のパイプ	88
タップ&ペイ	77
ダブルタップ	26
単語リスト	
Gboard設定	92
使用言語や文字入力設定	92
端末管理アプリ	90
端末情報	92
端末のテーマ	88
端末名	92
端末を探す	90
着信お知らせサービス	102
着信音	
音の設定	88
個別通知設定	54
通知設定	54
フォルダ着信通知	52
着信音とバイブレーション	30
着信音の音量	88
着信音鳴動時間	
個別通知設定	54
通知設定	54
フォルダ着信通知	52
着信音を設定	44
着信音を停止	88
着信拒否設定	41
着信時のパイプパターン	88
着信時もバイブレーションON	88
着信設定	58
着信転送	40
着信転送サービス	102
着信ランプ	18
着信履歴	39
チャンネル設定	71
チャンネルリスト切替	72
チャンネルリスト編集	72
注意事項	90
中学生	79
ちらつき防止	65
通知	
アプリと通知の設定	87
マナーモード設定	30
通知設定	
Eメール設定	54
SMS設定	58
通知ドット	27
通知ドットに件数表示	27
通知不可能	41
通知ポップアップ	
個別通知設定	54
通知設定	54
フォルダ着信通知	52
通知を管理する	59
通話	
通話設定	40
マナーモード設定	30
通話音量	88
通話明細分計サービス	106
通話履歴	39
通話を追加	38
使い方ガイド	90
使いこなしガイド	93
停止	41
停止時間	91
ディスプレイ	
各部の名称と機能	18
ディスプレイ設定	88

データ移行	78
データお預かり設定	86
データ使用量	86
データ転送なし	96
データ取り込み	23
データ引継	23
データ放送	71
データ放送設定	73
データリセット	84
データローミング	107
データを移行する	86
テーマ	92
テーマカラー	58
テーマ設定	54
手鏡	65
テキストの修正	92
テキスト読み上げの出力	
使用言語や文字入力設定	92
ユーザー補助設定	91
テザリング	
テザリング	99
ネットワークとインターネット設定	86
デフォルト アプリ	87
デフォルトのアラーム音	88
デフォルトの通知音	88
手ブレ補正	65
テレビ	
テレビ初期設定	70
テレビ番組視聴	71
テレビ終了	
視聴画面のメニュー	71
録画再生画面のメニュー	73
電源キー	18
電源キー押下による着信音鳴動停止	54
電源ボタンで通話を終了	91
電源を入れる	22
電源を切る	22
伝言お知らせ	104
伝言メモ	40
伝言メモ設定	40
伝言メモリスト	41
転送	
Eメール個別操作	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	52
Eメールのスレッド個別操作	53
電卓	84
電池	87
電池残量	87
電池の最適化	31
電池の状態	92
添付ファイルのダウンロード	59
電話	99
電話アプリについて	40
電話着信中	88
電話着信パターン/カラー	88
電話帳	44
電話帳登録外	41
電話帳について	44
電話に出る	40
電話番号	92
電話番号コピー	50
動画サイズ	65
動画全体をエクスポート	67
同期設定	
スレッド一覧画面のメニュー	53
フォルダ一覧画面のメニュー	52
同期頻度	59
統合	38
特番付加 184	50
特番付加 186	50
特別なアプリアクセス	87
時計	83
ドメイン	53
ドラッグ	26
な	
内蔵アンテナ	18
内部共有ストレージ	96
ナビゲーションバーを隠す	88
名前	59
なめらかハイスピード表示	29
並べ替え	66
日本語ガイダンス	105
入力デバイス	99
入力方式	36
認証	91

ネットワークとインターネット.....	86
ネットワーク評価プロバイダ.....	98
ネットワーク名.....	99
ネットワークを追加.....	98

は

背景画像設定.....	54
背景色.....	49
背景ぼかし.....	65
ハイスピード録画.....	65
バイブ.....	30
バイブレーション	
個別通知設定.....	54
通知設定.....	54
フォルダ着信通知.....	52
ユーザー補助設定.....	91
破棄.....	60
場所設定.....	66
場所未設定一覧.....	66
パスワード.....	59
パスワードを表示.....	90
バックアップ.....	91
バックアップ・復元.....	54
発信者番号通知.....	103
発信番号表示サービス.....	103
発信履歴.....	39
花火撮影.....	65
貼り付け	
切り取り／コピーして貼付.....	35
フォルダモードEメール送信.....	48
番組表.....	71
番号通知リクエストサービス.....	103
番号通知リクエストサービス設定	
番号通知リクエストサービス開始.....	103
番号通知リクエストサービス停止.....	103
ハンスフリー.....	92
ヒカリエモーション.....	88
光センサー.....	18
非通知.....	41
日付設定.....	92
日付と時刻.....	92
日付と時刻の自動設定.....	92
日付変更.....	66
評価のお願い.....	92
表示.....	50
表示・キーボード設定.....	35
表示サイズ	
ディスプレイ設定.....	88
ユーザー補助設定.....	91
表示する連絡先.....	44
表示設定.....	54
開く.....	50
ピンチ.....	26
ファイル管理.....	66
ファイル転送.....	96
ファイルを添付.....	59
フォーカス設定.....	65
フォーマット.....	96
フォルダ削除.....	52
フォルダ作成.....	52
フォルダ表示形式.....	54
フォルダ別設定.....	52
フォルダ編集	
Eメール一覧画面のメニュー.....	51
フォルダ一覧画面のメニュー.....	52
フォルダロック.....	52
フォントサイズ.....	91
複数選択.....	66
不在通知.....	105
不正なメールアドレス.....	53
ブックマーク.....	62
物理キーボード.....	92
不適切な語句をブロック.....	92
プライバシー設定.....	54
プライバシーポリシー.....	54
プライベート DNS.....	86
フラグ	
Eメール一覧画面のメニュー.....	51
Eメール個別操作.....	51
Eメールのスレッド個別操作.....	53
フラグ解除	
Eメール個別操作.....	51
Eメールのスレッド個別操作.....	53
フリック.....	26
フリック設定・入力補助.....	36
振分け条件追加.....	53

振分け条件に追加.....	50
フルセグ.....	70
フル転送	
お留守番サービスEX.....	104
着信転送サービス.....	102
フルマニュアル項目選択.....	65
プロキシ設定.....	86
ブロックした番号.....	44
プロパティ.....	66
プロフィールアイコン色のリセット.....	54
プロフィールアイコンを表示.....	54
プロフィール引用	
フォルダモードEメール送信.....	48
本文入力中.....	49
分割画面.....	31
ページ内検索.....	62
ヘルプ.....	65
ヘルプとフィードバック	
Chrome画面のメニュー.....	62
カレンダー画面のメニュー.....	82
編集	
Eメール個別操作.....	51
ユーザー辞書単語一覧画面のメニュー.....	36
返信.....	51
返信先アドレス.....	54
返信メール引用.....	54
便利な機能.....	78
ボイスメール	
通話に関する設定.....	40
ボイスメール録音.....	104
ポインタの速度.....	92
放送局名.....	72
法的情報	
au設定メニュー.....	86
端末情報設定.....	92
冒頭文.....	54
ポート.....	59
ホーム画面にアイコンを追加.....	27
ホーム画面に追加.....	62
ホーム画面の回転を許可.....	27
ホームの設定.....	27
他のイベントに移動.....	66
保護	
Eメール個別操作.....	51
Eメールのスレッド個別操作.....	53
SMS保護／保護解除.....	57
保護／解除	
Eメール一覧画面のメニュー.....	51
伝言メモ／音声メモ再生.....	41
保護解除	
Eメール個別操作.....	51
Eメールのスレッド個別操作.....	53
SMS保護／保護解除.....	57
保存先設定.....	65
保留.....	38
ホワイトバランス.....	65
本文選択.....	52

ま

マイク.....	18
マイク設定.....	65
マガジンビュー.....	54
待ちうた.....	88
まるごと復元.....	55
マルチオートフォーカス表示.....	65
ミュート	
通話中画面の操作.....	38
マナーモード.....	30
無応答転送	
お留守番サービスEX.....	103
着信転送サービス.....	102
迷惑電話撃退サービス.....	106
迷惑メールフィルターの設定／確認へ.....	56
迷惑メール報告	
Eメール一覧画面のメニュー.....	51
Eメール個別操作.....	51
Eメール詳細表示画面のメニュー.....	52
差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URL.....	50
メールアドレス.....	53
メールアドレスの変更へ.....	55
メール受信時の画面点灯	
個別通知設定.....	54
通知設定.....	54
フォルダ着信通知.....	52
メール受信履歴引用.....	48
メール送信履歴引用.....	48

メールデータ復元.....	55
メッセージ、予定、リマインダー.....	30
メディアの音声.....	99
メディアの音量.....	88
メニュー.....	38
メニューリストから探す.....	49
メモリ残量	
視聴／録画予約画面のメニュー.....	72
番組表画面のメニュー.....	71
録画一覧画面のメニュー.....	73
文字位置／効果.....	49
文字コード	
Eメール詳細表示画面のメニュー.....	52
Eメールのスレッド個別操作.....	53
文字サイズ	
SMS設定.....	58
本文装飾.....	49
文字色.....	49
文字スーパー設定.....	73
文字フォント設定.....	88
持つと画面点灯.....	22
モデルとハードウェア.....	92
モノクロ.....	65
モノラル音声.....	91
モバイル ネットワーク.....	86
モバイルライト.....	18

や

ユーザー 辞書.....	36
ユーザー 情報	
電話帳設定.....	44
ユーザー 情報変更.....	84
ユーザー 補助.....	91
ユーザー 名.....	59
用語の説明.....	84
よくあるご質問.....	93
よくある質問 (FAQ).....	90
よく使う連絡先のクリア.....	39
読取カメラ.....	65
予約一覧.....	72
予約の種類.....	72

ら

ライト.....	82
リセット オプション.....	91
リラクスキュー.....	88
履歴.....	62
リンク	
電話帳詳細画面のメニュー.....	44
連絡先リンク.....	44
リンクを解除.....	44
留守伝言再生.....	104
レシーバー.....	18
レンズ部	
アウトカメラ.....	18
インカメラ.....	18
連絡先の共有.....	99
ログインが必要.....	59
録画一覧.....	73
録画設定.....	73
録画番組詳細.....	73
ロックNo.初期化.....	76
ロックNo.変更.....	76
ロック解除時.....	88
ロック画面の設定.....	90
ロックフォトシャッフル.....	88
ロボクル設定.....	89
ロングタッチ.....	26

わ

話中転送	
お留守番サービスEX.....	104
着信転送サービス.....	102
割込通話	
割込通話開始.....	106
割込通話停止.....	106
割込通話サービス.....	106
割込通話設定.....	106
ワンセグ.....	70
ワンセグフルセグ切替.....	71
ワンセグ／フルセグ受信設定.....	73
ワンタッチシャッター.....	65

auのお客さまサポート

料金・操作・設定などのご確認や各種お手続きができます。
スマートフォンをご利用ならアプリが便利です。

My au	パソコン・スマートフォン	3G ケータイ
WEB 版	https://www.au.com/support/	EZ ボタン>トップメニューまたは auポータルトップ>My au
アプリ版	au Market もしくは App Store から 「My au」で検索	—

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話(スマホ/ケータイ)	au携帯電話以外/一般電話	左記番号がつかない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし 157	 0077-7-111	 0120-977-033 〔沖縄の方は〕  0120-977-699
盗難・紛失（24 時間受付）	局番なし 113	 0077-7-113	 0120-925-314

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。

※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話(スマートフォン/ケータイ) / 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	 0120-925-919

※ 上記の電話番号がつかない場合があります。



やめましょう、
歩きスマホ。



有害サイトから
子供を守る！



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず  マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



キケン！
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



あぶない！
電池への衝撃

衝撃や過度な外圧を加えると、電池
の破損・変形等により発煙・発火等
の原因となり大変危険です。